

平成29年度

# 事業報告書



# 目 次

事業の総括	1
事業実施概要	
基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう	3
基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう	8
基本目標Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	13
組織体制の強化・常設委員会	17
事業別実施内容	
総務部関連	
会務運営	18
賛助会員の加入促進	20
民間社会福祉施設整備資金貸付事業	20
民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業	20
広報紙の発行事業	21
寄贈品の提供事業	21
助成金の情報提供等事業	21
収益事業	22
平成29年7月九州北部豪雨に関する支援活動	23
施設部関連	
ウエルとばた運営事業	24
地域福祉部関連	
住民による地域づくり事業	28
地域相談支援事業	39
北九州市社会福祉大会	43
生活福祉資金	44
民間社会福祉事業従事者共済事業	45
各施設協議会等との連携	47
民生委員互助共励事業	48
生活困窮者自立相談支援事業	49
福祉人材バンク運営事業	54
潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業	57
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	58
介護サービス相談員派遣事業	59
認知症サポーターキャラバン事業	63
高齢者見守りサポーター派遣事業	66
高齢者地域交流支援通所事業	69
健康マイレージ事業	74
利権・市民後見部関連	
地域福祉権利擁護事業	79
法人後見事業	84
社会貢献型市民後見人養成事業	86
ボランティア・市民活動部関連	
ボランティア振興事業	89
社会福祉ボランティア大学校事業	100
北九州シニアネットワーク部関連	
北九州シニアネットワークアカデミー事業	105

1	周望学舎事業	105
2	穴生学舎・穴生ドーム事業	115
3	地域活動情報支援センター	126
全部署共通	常設委員会	128

## 事業の総括

本会は、北九州市地域福祉活動第五次計画「住民ふくしの元気プラン 2016～2020」に基づき、住民一人ひとりが安心して生き生きと暮らすまちづくりを目指し、さまざまな福祉課題の解決に取り組んでいます。2年次にあたる平成29年度は、総合企画委員会等において初年度の総括及び3年次の取り組みについて協議しました。

平成5年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」においては、地域の特性に合わせて事業を実施することで、地域課題の把握や解決に向けて校(地)区社協活動の充実・強化に努めました。それによって、今年度は、117の校(地)区社協が「高齢者のサロン事業」を、35の校(地)区社協が「次世代地域福祉活動者育成事業」を、また、15の校(地)区社協が「小地域福祉活動計画づくり」を実施し、生活・福祉課題の解決に向けた関係機関・団体や福祉施設とのネットワークをより一層充実しました。

平成27年度北九州市から委託を受けて3年目となる「生活困窮者自立相談支援事業」と「地域相談支援事業」においては、ニーズの把握や地域資源の把握に努め、地域の関係機関・団体と連携しながら地域の多様化する生活・福祉課題の解決に取り組みました。

また、社会福祉法人の地域貢献として「地域における公益的な取組」を推進することが期待される中で、市内の高齢者福祉施設と連携し福祉専門職が地域福祉活動に参画し、地域福祉課題の解決に向けた取り組みを7校(地)区で推進しました。

平成29年7月九州北部豪雨の際には、現地の災害ボランティアセンター運営支援のために、本会職員延べ50名を派遣した他にも、災害義援金の募集やボランティアバスの運行等、被災地のニーズに沿った継続的な支援を実施しました。あわせて、市内で災害が発生した際に、災害ボランティア活動や被災者支援を効率的かつ効果的に行うことができるよう、小倉南区で「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」を実施し、被災者支援の技術の蓄積に努めました。

本会を取り巻く環境は、福祉課題の多様化や緊縮する財政事情など、依然として厳しい状況にありますが、今後も多くの関係機関・団体と緊密に連携するとともに、地域福祉活動の充実強化を図り、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の推進に努めてまいります。

## 北九州市地域福祉活動第五次計画 「基本目標」と「実施項目」

### 基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう

- 1 広報・啓発の強化
- 2 福祉教育の推進
- 3 地域福祉人材の育成

### 基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう

- 1 小地域福祉活動の活性化
- 2 ボランティア・市民活動の支援
- 3 災害時の福祉救援体制づくり
- 4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり
- 5 小地域福祉活動計画の推進

### 基本目標Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

- 1 権利の擁護と相談体制の充実
- 2 社会参加・自立の支援
- 3 調査・研究、提言

### 組織体制の強化

### 常設委員会

# 事業実施概要





# 平成29年度 事業報告

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

## 基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう

住民一人ひとりが、同じ地域に暮らす人たちが持つ多様な生活・福祉課題を、地域の課題として共感し、地域には色々な人がいてあたりまえという風景にしていくことで、お互いを思いやり支え合う活動が自然と広がっていくことが望めます。

そのため、私たちのまちに福祉の風土を広げ、福祉を身近なこととして感じてもらうための福祉教育の推進により、地域福祉への関心を高めていきます。

## 目標達成のための取り組み

### 1 広報・啓発の強化

#### (1) 地域福祉推進のための広報・啓発物の作成・活用

- ・テレビや新聞等のマスメディアの積極的な活用 <全部署>
- ・市社協事業紹介リーフレットの活用 <全部署>
- ・広報紙の発行 <総務課・施設部・研修課・周望・穴生>
  - 「北九州市社協だより」・「ひと&ひと」各4回(172,000部)
  - 「ウエル新聞」12回
  - 「周望新聞」1回、「周望かわら版」3回
  - 「穴生学舎新聞」3回
- ・ウエルとばたの福祉文化の拠点化 <施設部>
- ・校(地)区社協活動の各種活動手引き・先進事例集・DVDの活用 <地域支援課>
- ・啓発物品(オリジナルポロシャツ・エプロン等)の販売(オリジナルポロシャツ98枚、エプロン59枚、プチボTシャツ441枚) <地域支援課>
- ・北九州市社協だよりを活用した「企業の社会貢献活動」の紹介(4回) <活動推進課>
- ・ボランティア・市民活動センター啓発冊子の作成・活用(1,500部) <活動推進課>
- ・社会福祉ボランティア大学校「研修事業のご案内」の作成(4,500部) <研修課>
- ・短期講座の広報紙への掲載 <周望・穴生>

#### (2) インターネットを活用した地域福祉関連情報の収集・発信

- ・ホームページを活用した社協・福祉情報の提供(アクセス数:99,933件) <総務課>

- ・ホームページの内容分析とタイムリーな情報更新（アクセス報告会：4回開催）  
＜総務課＞
- ・ウェルとばたホームページ、Facebookを活用した情報発信  
＜施設部＞
- ・校(地)区社協ホームページの充実による社協活動の理解促進  
＜地域支援課＞
- ・「らいと」ホームページ活用による地域福祉権利擁護事業、成年後見制度、法人後見事業、市民後見人支援事業の周知及び広報  
＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・周望学舎ブログ「周望の丘から」、穴生学舎ブログ「つれづれ日記」による情報発信（周望：23回、穴生：31回）  
＜周望・穴生＞
- ・インターネット（メール）経由での短期講座申込システムの作成  
＜周望・穴生＞

### （３）啓発イベント等の実施

- ・社会福祉大会の開催及び市民参加の促進（1回 534人）  
＜全部署＞
- ・ボランティア週間の実施（10月17～22日）  
＜活動推進課・研修課＞
- ・市民ふれあいフェスティバルの開催（1回 3,321人）  
＜活動推進課＞
- ・社協活動イメージキャラクター「プチボザウルス」の活用促進（17回）  
＜総務課＞
- ・ウェルとばたにおける映画上映を通じた福祉課題の情報発信（1回 115人）  
＜施設部＞
- ・視察等の積極的な受け入れによる地域福祉活動拠点施設のPR（2回 31人）  
＜施設部＞
- ・大学祭・作品展による地域への情報発信（大学祭：周望1回・穴生1回、作品展：周望1回・穴生1回・合同1回）  
＜周望・穴生＞
- ・一日体験講座の開催（周望：1回、穴生：2回）  
＜周望・穴生＞
- ・穴生ドームフェスタの開催（1回）  
＜穴生＞

### （４）出前講演活動の実施

- ・関係機関・団体と連携した出前講演活動の充実  
＜全部署＞
  - 社会福祉制度や生活・福祉課題に対応した取り組みへの対応（92回 延べ3,452人）  
＜地域支援課＞
  - 判断能力が不十分な高齢者や障害者を地域福祉権利擁護事業や成年後見制度へつなぐための、校(地)区社協等の機能を活用した住民への周知（校(地)区社協等への出前講演：20回 748人）  
＜権利擁護・市民後見センター＞
  - ボランティア・市民活動啓発のための出前講演（19回 703人）  
＜活動推進課＞
- ・健康づくり・介護予防のためのニュースポーツ出前事業（56回 1,191人）  
＜穴生＞

### （５）共同募金運動への協力

- ・市民への共同募金運動の理解促進と募金への協力促進  
＜全部署＞
- ・社協の主催事業及び広報紙等を活用した広報啓発  
＜財務企画課＞
- ・共同募金啓発パネル展の開催  
＜財務企画課＞
- ・市民への共同募金運動の理解促進と資金への協力促進  
＜財務企画課＞

- ・共同募金自動販売機の設置促進 <財務企画課>
- ・小地域福祉活動における効果的な啓発活動の促進 <地域支援課>

## 2 福祉教育の推進

### (1) 住民啓発講座等による福祉教育

- ・関係機関・団体が実施する個別テーマ（障害者・生活困窮者支援等）の住民啓発講座の開催支援 <地域支援課>
- ・認知症サポーター養成講座を活用した福祉課題の市民への啓発 <生活福祉課>
  - 認知症サポーター養成数（7,901人）
  - 校(地)区社協及び学生向け講座の実施(校(地)区社協:18回・744人、学生向け:16回・819人)
- ・年間コースの共通科目としての福祉教育・人権学習の充実（30コース） <周望・穴生>

### (2) 社会福祉施設と連携した福祉教育

- ・夏ボランティア体験学習の実施（参加者数：439人、受入施設等：133箇所） <活動推進課>
- ・校(地)区社協及び社会福祉施設等での交流・活動体験による社会参加の促進(周望:57回・1,004人、穴生:4回・83人) <周望・穴生>

### (3) 次世代地域福祉活動者の育成

- <地域支援課>
- ・校(地)区社協を中心とした次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の推進（35校(地)区 参加児童：1,457人）
- ・新規取り組み校(地)区の拡大に向けた支援
- ・活動を通じた子ども、校(地)区社協、小学校、社会福祉施設との連携強化（施設での体験学習 20校(地)区）

### (4) 学校等教育機関と連携した福祉教育

- ・小地域を基盤とした福祉体験・ボランティア学習への支援及び福祉教育の推進 <活動推進課>
- ・学校教育機関（大学・専門学校）との地域福祉人材育成のための共同カリキュラムの実施（2校 4回 111人） <周望>

## 3 地域福祉人材の育成

### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- ・新たなボランティア・市民活動の担い手の養成のための講座の開催
  - まちづくりセミナーの開催（1回 5日 163人） <研修課>

○ふくしのまちづくり講座の開催 (12校(地)区 11回 3~4日 1,045人)

<地域支援課・活動推進課・研修課>

- ・校(地)区社協を中心とした地域福祉活動等における活動機会の確保、参加促進  
<地域支援課>
- ・地域活動情報支援センターでのボランティア養成講座の開催 (1回 17人) <穴生>

## (2) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

- ・校(地)区社協及び地区民児協と連携した研修事業の実施 <地域支援課・研修課>
- ・新任者の育成 <研修課>
  - 新任福祉協力員等研修の開催 (8回 1日 407人)
- ・現任者の育成 <研修課>
  - 現任福祉協力員研修の開催 (7回 1日 357人)
  - 地域福祉活動専門研修の開催 (1回 1日 118人)
- ・役員の育成 <研修課>
  - 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」の開催 (1回 1日 175人)
  - 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修の開催 (1回 1日 79人)
  - まちづくりゼミナールの開催 (1回 3日 49人)
- ・小地域福祉活動者を育成するコースの開催 (周望:2コース・74人、穴生:2コース・43人) <周望・穴生>

## (3) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

- ・入門者の育成 <研修課>
  - 福祉有償運送運転協力者研修の開催 (3回 2日 61人)
  - 傾聴ボランティア養成講座の開催 (1回 2日 70人)
  - 私にもできる災害ボランティア入門講座の開催 (1回 1日 33人)
  - 災害ボランティア養成講座の開催(福岡県との共同開催) (1回 1日 66人)
- ・活動者のフォローアップ <研修課>
  - 送迎ボランティア・フォローアップ研修の開催(実技:1回 1日 19人、座学:2回 1日 58人)
  - 傾聴ボランティア・フォローアップ研修の開催 (1回 1日 38人)
  - 災害ボランティア・フォローアップ研修の開催 (1回 1日 26人)
- ・リーダーの育成 <研修課>
  - ボランティア・リーダー研修の開催 (2回 1日 35人)
- ・災害ボランティアの育成と活動支援(登録ボランティア:124人) <活動推進課>
- ・シルバーひまわりサービスボランティアの育成と活動支援(登録ボランティア:1,071人) <活動推進課>
- ・腕自慢おまかせサービスボランティアの育成と活動支援(登録ボランティア:308人) <活動推進課>

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の育成

- ・企業従事者等の育成 <研修課>
  - 企業の社会貢献活動セミナーの開催 (1回 1日 25人)
  - 社会福祉法人の社会貢献活動セミナーの開催 (1回 1日 44人)
- ・北九州市社協だよりを活用した「企業の社会貢献活動」紹介 (4回) 【再掲】  
<活動推進課>
- ・企業等の新任職員研修における福祉教育・ボランティア体験への支援  
<活動推進課>
- ・民間社会福祉事業従事者研修会の開催 (1回 1日 47人)  
<地域支援課・福祉人材バンク>
- ・校(地)区社協を中心とした地域福祉活動等における活動機会の確保、参加促進【再掲】  
<地域支援課>

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

<研修課>

- ・実務者の育成
  - ボランティア・コーディネーター研修の開催 (1回 1日 32人)
- ・区社協ボランティア・市民活動センターの支援
  - 研修・講座等の企画支援

## 基本目標 II 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう

地域社会の福祉課題の解決のためには、それぞれの地域において住民と関係機関・団体とのネットワークの充実を図り、一人でも多くの住民が、自分たちの住むまちの地域づくりに参加することが必要です。

そのため、小地域福祉活動の推進やボランティア・市民活動の振興に努め、誰もが参加しやすい環境づくりを図るとともに、連携や協働を通じて支援を必要としている人の課題を解決していけるように、住民主体の福祉活動を推進していきます。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 小地域福祉活動の活性化

##### (1) 「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化

＜地域支援課＞

- 重** ・地域の関係機関・団体との連携・協働による小地域福祉活動の充実・強化（155校(地区)）
  - ・地域支援コーディネート機能の強化による校(地区)区社協活動の充実・強化
  - ・ふれあいネットワーク活動推進事業「基本事業」の実施
    - 見守りのしくみ  
近隣圏域の設定と対象世帯数に応じた適切な福祉協力員の配置と人材確保
    - 助け合いのしくみ  
ニーズ対応員（チーム）による対象世帯のニーズ把握と生活支援活動の促進
    - 話し合いのしくみ
- 新** 校(地区)区社協連絡調整会議における校区の作戦会議（協議体）モデル事業の実施（7校(地区)）  
校(地区)区社協連絡調整会議の定例化及び活性化の支援（全市延1,325回）  
校(地区)区社協と福祉関係者（民生委員・児童委員、いのちをつなぐネットワーク担当係長等行政職員、社会福祉施設職員等）やNPO・市民活動団体との連携強化・情報の共有
- ・ふれあいネットワーク活動推進事業「メニュー事業」の実施
  - 重点実施事業であるメニュー事業Ⅰの実施（高齢者のサロン事業、次世代地域福祉活動者育成事業、校(地区)区単位の小地域福祉活動計画づくり）
  - 地域課題に対応したメニュー事業Ⅱの実施
- 新** ・各種別社会福祉施設協議会等と連携した地域における公益的取組の推進
  - 各区1校(地区)区、計7校(地区)区
- ・実績報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした地域支援
- ・福祉のまちづくりモデル事業の実施（2校(地区)区）
- ・校(地区)区社協と連携した受託事業の推進による小地域福祉活動の活性化

(2) 地域支援コーディネート機能の充実・強化 <地域支援課>

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた地域福祉活動者間の連携促進
- ・地域相談支援事業の実施（地域支援コーディネーター16人配置）
- ・地域支援コーディネート機能の強化による小地域福祉活動の充実・強化
- ・地域支援部門と相談支援部門の一体的な支援によるニーズ発見や相談・生活支援体制の充実

(3) 校(地)区社会福祉協議会会長会議等の開催 <地域支援課>

- ・校(地)区社協会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の定期的な開催支援のための情報提供

(4) テーマ型ボランティア・市民活動団体との協働 <活動推進課>

- ・中間支援組織連絡会合同研修会の開催（1回 30人）
- ・市民ふれあいフェスティバルの参加（1回 3,321人）【再掲】
- ・ボランティア週間の実施（10月17～22日）【再掲】

## 2 ボランティア・市民活動の支援

### (1) ボランティア・市民活動への支援

- ・コーディネーション、相談援助、情報提供機能の強化 <活動推進課>
- ・ボランティア活動保険加入助成（24,692人） <活動推進課>
- ・全国規模の研修会への参加助成（応募なし） <活動推進課>
- ・福祉用具の貸出（市域615件） <活動推進課>
- ・ウェルとばたの管理運営事業を活用したボランティア・市民活動の場の提供（随時） <施設部>
- ・施設を有効活用した市民参加型のにぎわい創出事業の実施（随時） <施設部>
- ・行政と連携した市民のエコ活動の啓発と推進（随時） <施設部>
- ・地域支援コーディネート機能の強化による個別ニーズに対する相談・支援の充実（個別相談：338件、互助活動に関する相談：877件） <地域支援課>
- ・シルバーバンク及びボランティアグループの活動支援（周望：10,637人、穴生：6,329人） <周望・穴生>
- ・地域開放事業等の実施（図書館利用者：2,970人、大会議室等利用者：7,314人） <穴生>

### (2) ボランティア・市民活動ネットワークの構築

- ・中間支援組織連絡会合同研修会の開催（1回）【再掲】 <活動推進課>
- ・市民ふれあいフェスティバルの開催（1回）【再掲】 <活動推進課>
- ・ボランティア週間の実施（10月17～22日）【再掲】 <活動推進課>
- ・NPO・市民活動団体等とのネットワークの構築 <周望・穴生>

### 3 災害時の福祉救援体制づくり

#### (1) 災害時の福祉救援体制づくり

<地域支援課>

- ・校(地)区社協と関係団体との連携による災害時の福祉救援体制づくりの推進 (37校(地)区)
- ・民生委員・児童委員と連携した災害時要援護者支援活動への参画

#### (2) 災害復興に対応するための体制づくり

**重** ・災害時相互協力協定締結団体との連携強化 <活動推進課>

・災害ボランティアセンター設置に向けた行政・関係団体との調整 <活動推進課>

・被災者支援にかかる活動や訓練等に対する相談支援 <活動推進課>

・関係機関・団体、大学と連携した被災者支援活動の推進 <活動推進課>

・市総合防災訓練への参画 (31人) <活動推進課>

・災害ボランティアセンター設置・運営訓練 (1回 52人 小倉南区) <活動推進課>

・校(地)区社協機能を活用した災害時の効果的な支援体制の構築 <地域支援課>

・災害ボランティアの活動支援

○私にもできる災害ボランティア入門講座の開催 (1回 1日 33人) 【再掲】

<研修課>

○災害ボランティア養成講座の開催(福岡県との共同開催)(1回 1日 66人) 【再掲】

<研修課>

○災害ボランティア・フォローアップ研修の開催 (1回 1日 26人) 【再掲】

<研修課>

○災害及び被災地情報の逐次提供 <活動推進課>

○被災地支援のためのボランティアバスの運行 (7回 延194人) <活動推進課>

・災害ボランティアセンターとの連携及び支援 <周望・穴生>

・指定緊急避難場所・指定避難所としての活用 (周望学舎宿泊施設、穴生ドーム)

<周望・穴生>

・防災意識の啓発 <周望・穴生>

・普通救命講習の実施 (1回) <周望>

#### (3) 非常時の危機管理強化

<施設部>

・戸畑駅前地区防災相互応援協定に基づく帰宅困難者への支援体制づくり

・ウェルとばた入居者との災害時支援体制づくりの推進

### 4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり

#### (1) 民生委員・児童委員との連携

<地域支援課>

・市民生委員児童委員協議会事務局の運営 (会議: 31回、研修会: 5回、大会: 1回)

・各区民生委員児童委員協議会との連携



- ・民生委員・児童委員と福祉協力員の連携強化によるふれあいネットワーク活動の充実
- ・民生委員互助共励事業の実施による民生委員・児童委員活動の充実と推進（弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業：2 地区）

**新** ・民生委員制度創設 100 周年記念事業市民講演会の支援（7 区 2,185 人）

## （2）専門職の参加による連絡調整会議の充実・強化

・社会福祉施設や行政等関係機関・団体との連携促進による地域包括ケアシステムの構築に向けた協力体制づくり <地域支援課>

・校(地)区社協連絡調整会議の定例化及び活性化の支援（全市延べ1,325 回）【再掲】 <地域支援課>

・地域包括（統括）支援センター派遣職員の連絡調整会議、地区民児協会議等への参加（122 回） <総務課>

## （3）社会福祉施設等の地域活動への参画とその専門性を活かした地域の課題解決

<地域支援課>

・社会福祉施設協議会連絡会の開催（3 回）

- 重**
- ・各種別社会福祉施設協議会等と連携した地域における公益的な取組の促進
  - ・連絡調整会議や小地域福祉活動計画策定委員会等への社会福祉施設の参画促進
  - ・大都市社会福祉施設協議会大会（横浜市）への参加（10 人）

## （4）福祉の職場の人材確保

<福祉人材バンク>

・福祉人材無料職業紹介事業の実施

・「就労支援セミナー」の開催（2 回 22 人）

・「福祉の職場合同就職面談会」の開催（2 回 152 人）

・社会福祉施設等との情報交換による求人の開拓

・求職登録者への定期的な求人情報の提供（延べ937 人）

・求人登録事業所への求職者情報の提供

・他の関係窓口や雇用対策事業と連携した就労支援や就労準備支援

・福祉のしごとへの理解や関心を高めるための広報活動

・福祉系の大学、高等学校、専門学校等との連携

**新** ・ハローワーク小倉への出張相談実施（10 回）

## （5）社会福祉施設・団体への支援

・民間社会福祉事業者共済事業の実施 <地域支援課>

・民間社会福祉事業者のやりがいをもつ福利厚生事業の充実 <地域支援課>

・民間社会福祉事業者共済事業担当者研修会の開催（1 回 1 日 47 人）

<地域支援課>

・各種別社会福祉施設協議会等への福祉情報提供や行事への参加（北九州市児童養護施設協議会施設長会：8 回、北九州高齢者福祉事業協会施設長会：1 回、保育所連盟等行

- 事への参加) <地域支援課>
- ・介護サービス相談員による地域密着型サービス事業所の運営推進会議への参画 <生活福祉課>
  - ・潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業の実施 <地域支援課>
  - ・各種社会福祉助成事業の情報提供、寄贈物品等の提供 <財務企画課>
  - ・民間社会福祉施設整備資金貸付事業の実施 <財務企画課>
  - ・社会福祉施設・団体への地域福祉権利擁護事業及び成年後見制度の広報、周知 <権利擁護・市民後見センター>
  - ・地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加 <権利擁護・市民後見センター>

## 5 小地域福祉活動計画の推進

- (1) 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進 <地域支援課>
- ・地域支援コーディネート機能の強化による策定校(地)区の拡大(策定:8校(地)区)
  - ・小地域福祉活動計画策定研修(ふくしプランニング工房)の開催(2回 延べ82人)
  - ・校(地)区単位の小地域福祉活動計画の策定及び推進支援(策定済み:40校(地)区)
  - ・計画策定委員会への社会福祉施設の参画促進

## 基本目標 Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

誰もが地域とのつながりを持ち続け、いつまでも安心して健やかに暮らすことができるよう、高齢者、障害者、子どもたちが居場所や役割を認識でき、地域の一員として社会参加できる環境づくりが重要です。

そのため、住民の日常生活上のさまざまなニーズを早期に把握するための相談支援体制の充実を図り、支援を必要とする人に応じたサービス情報の提供、社会参加、自立支援につながる福祉活動を展開しました。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 権利の擁護と相談体制の充実

##### (1) 地域福祉権利擁護・法人後見事業の充実

＜権利擁護・市民後見センター＞

(地域福祉権利擁護事業：実契約者数 320人)

(法人後見事業：成年後見人等受任数 47人)

・判断能力が不十分な高齢者や障害者を地域福祉権利擁護事業や成年後見制度へつなぐための、校(地)区社協等の機能を活用した住民への周知(校(地)区社協等への出前講演：20回・参加者748人)【再掲】

・成年後見センター「みと」と連携した総合相談の実施

・地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応

・関係団体(行政、介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等)との連携による効果的かつ効率的なサービスの実施(金銭管理サービス総回数：5,147回、生活支援サービス総回数：9,354回、財産保管サービス総回数：55回)

・専門機関との連携による法人後見事業の円滑な遂行(家庭裁判所、北九州成年後見センター「みと」、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等)(法人後見事業活動総回数：1,363回)

・地域福祉権利擁護事業利用者の成年後見制度への移行支援(移行件数：4件)

**新** ・地域福祉権利擁護事業利用料改定についての検討

##### (2) 成年後見制度の担い手の育成とその活用の検討・実施 <権利擁護・市民後見センター>

**新** ・市民後見人支援事業の実施(市民後見人が選任された事案がなかったため実績なし)

(市民後見人の個人受任に向けた検討会：13回)

・市民後見人養成研修の実施

##### (3) 要支援者への情報提供や相談機関等の紹介

・校(地)区社協機能を活用した支援が必要な人への情報提供の充実(生活情報の提供：236,072回) <地域支援課>

・民生委員・児童委員と連携した校(地)区社協における相談支援機能の充実

<地域支援課>

- ・地域福祉権利擁護事業利用者への生活支援サービスによる情報提供や苦情申し立て支援（生活支援サービス総回数：9,354回） <権利擁護・市民後見センター>

#### （４）社会福祉施設等と連携したサービスの質の向上のための相談体制の充実

- ・介護サービス相談員派遣事業を活用した高齢者福祉施設サービスの質の向上（107事業所 延べ1,316回派遣） <生活福祉課>
- ・地域密着型サービス事業所の運営推進会議への参画 <生活福祉課>
- ・社会福祉施設・団体への地域福祉権利擁護事業及び成年後見制度の広報、周知  
【再掲】 <権利擁護・市民後見センター>
- ・地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加【再掲】 <権利擁護・市民後見センター>

## 2 社会参加・自立の支援

### （１）相談窓口や福祉サービスの利用支援 <地域支援課>

- 重 相談・生活支援機能の拡充と地域との連携に向けた体制づくり
- ・民生委員・児童委員と連携した高齢者・障害者・ひとり親家庭への支援

### （２）生活困窮者の相談支援 <地域支援課>

- ・生活困窮者自立支援制度における自立相談支援事業の実施
- ・生活困窮者支援に関する住民理解の促進（出前講座：7回、参加者247人）
- ・地域支援部門と相談支援部門の一体的な支援によるニーズ発見や相談・生活支援体制の充実【再掲】
- ・生活福祉資金貸付制度（教育支援資金等）の説明会の実施（1回）
- ・社会福祉施設等と連携した困窮者支援のための社会資源開発の検討

### （３）サロン事業の推進

- ・サロン活動セミナーの開催（参加者212人） <地域支援課>
- ・サロン事業実態調査結果をふまえたサロン活動の推進支援 <地域支援課>
- ・地域支援コーディネート機能の強化による、校(地)区社協を中心とした、地域団体や社会福祉施設等が連携した地域のつながりづくりの促進 <地域支援課>

### （４）高齢者、障害のある人、ひとり親家庭等への支援

- ・介護予防・日常生活支援総合事業における効果的な高齢者地域交流支援通所事業の実施及び利用促進 <生活福祉課>  
○地域団体・地域包括支援センターとの連携による利用者増（登録者数690人）
- ・健康マイレージ事業を活用した地域での健康づくり（応募者20,573人） <生活福祉課>
- ・介護支援ボランティアの育成と活動支援（新規登録218人） <活動推進課>

- ・年長者研修大学の新人研修生の確保（周望:91人、穴生:90人） <周望・穴生>
- ・出前講演や校（地）区社協の住民啓発講座を通じた地域共生社会への理解促進（92回  
延べ3,423人） <地域支援課>
- ・地域で支え合うための相談・支援体制の充実 <地域支援課>
- 新** ・ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施 <地域支援課>

**（5）年長者研修大学校による社会参加の支援** <周望・穴生>

- ・年間研修コースでの高齢者の社会参加の支援
  - 周望学舎（15コース 519人）
  - 穴生学舎（15コース 415人）
- ・小地域福祉活動者を育成するコースの開催（周望:2コース・74人、穴生:2コース・  
47人）【再掲】
- ・年間コースの共通科目としての福祉教育・人権学習の充実（30コース）【再掲】
- ・短期自主講座の開催
  - 周望学舎（シニアカレッジ:3回・122人、パソコン:14回・230人、英会話:1  
回・14人、陶芸:1回・8人、年長者と孫の集い:1回・35人、一日体験講座:1回・  
16人）
  - 穴生学舎（シニアカレッジ:2回・109人、パソコン:7回・91人、シニアと孫の  
夏休み:1回・22人、一日体験講座:2回・29人、公開講座:1回・70人）
- ・年長者研修大学校・穴生ドームにおけるボランティア活動機会の提供（2,140人）
- ・地域活動情報支援センターによるボランティアコーディネート（192件）
- ・年長者研修大学校を拠点とするボランティアグループの育成と支援（周望:21グル  
ープ、8,360人、穴生:24グループ、6,329人）
- ・穴生ドームでの健康・体づくり事業
  - 健康づくり・介護予防プログラムづくり
  - ニュースポーツ出前体験（56回 1,191人）
  - 早朝開放やニュースポーツ無料開放デー（早朝開放:11,013人、ニュースポーツ  
無料開放デー:12回・436人）
- ・シニア世代の社会貢献を行う生涯現役夢追塾事業及び同窓会活動への実施支援

**（6）障害のある人の社会参加・自立の支援**

- ・障害者就労支援施設商品等の活用促進のための実態把握 <財務企画課>
- ・ウェルとばた・年長者研修大学校での障害者の就労支援 <施設部・周望・穴生>
- ・障害者優先調達推進法に基づく障害者の製作品のイベントなどでの紹介及びウェル新  
聞等の媒体を活用した広報 <施設部>
- ・特別支援学校、作業所と協力した福祉市場の開催 <施設部>
- ・業務委託先への障害者雇用推進の働きかけ <施設部>
- ・市社協主催事業における福祉関係入居団体との連携 <施設部>
- ・出前講演や校（地）区社協の住民啓発講座を通じた地域共生社会への理解促進（92回  
延べ3,423人）【再掲】 <地域支援課>

- ・地域支援コーディネートによる地域資源の提供・活用の促進 <地域支援課>

#### (7) 地域住民、ボランティアによる生活支援

- ・シルバーひまわりサービスの実施・ボランティアの養成 (7,642 件) <活動推進課>
- ・腕自慢おまかせサービスの実施、ボランティアの養成 (52 件) <活動推進課>
- 重** ・地域の生活支援力の向上 (ふくしのまちづくり講座の開催) <活動推進課>
- ・在宅高齢者サービスにかかる行政、労働組合、企業との連絡調整 <活動推進課>
- ・ニーズ対応員 (チーム) による対象世帯のニーズ把握と生活支援活動の促進  
【再掲】 <地域支援課>
- ・高齢者見守りサポーター派遣事業を通じた認知症高齢者及び介護者への支援及び利用者の拡大 (延べ 134 回派遣) <生活福祉課>

### 3 調査・研究、提言

#### (1) 地域福祉活動のあり方に関する委員会の開催 <地域支援課>

- 重** ・総合企画委員会の開催及び行政や関係機関・団体、企業等との連携による地域福祉活動第五次計画の推進、点検・評価  
・北九州市地域福祉計画、高齢者支援計画、健康づくり推進プラン、障害者支援計画、自殺対策計画との連携

#### (2) 小地域福祉活動の実態把握及び調査・研究、提言 <地域支援課>

- ・ふれあいネットワーク活動推進事業第三者評価委員会の開催 (1 回)
- ・地域支援コーディネート機能の強化による校(地)区社協の活動上の課題の整理
- ・ふれあいネットワーク活動中間報告、実績報告等を活用した校(地)区社協の活動状況の把握・分析による課題整理
- ・行政、他市町村社協等の関係機関との連携による先進的小地域福祉活動事例の情報収集

#### (3) ボランティア・市民活動実態調査

- ・ボランティア・市民活動の活動実態調査の実施及び冊子の発行 (対象 760 団体 1,000 部発行) <活動推進課>
- ・高齢者の学習ニーズ、ボランティア活動への関心等の調査、研究 (1 回) <周望・穴生>
- ・年長者研修大学校修了後の地域活動の追跡調査 (1 回) <周望・穴生>

## 組織体制の強化

地域福祉活動第五次計画及び本事業計画に沿って事業を効果的に推進するために、社会福祉法人制度改革に的確に対応するとともに、自主財源の確保、職員の人材育成等を行い、組織体制の一層の強化に努めました。

- |   |                                |         |
|---|--------------------------------|---------|
| 重 | ・社会福祉法人制度改革への的確な対応             | <総務課>   |
|   | ・賛助会員増強運動の推進                   | <全部署>   |
|   | ・無期雇用嘱託職員の採用（8人）               | <総務課>   |
|   | ・研修等を通じた職員の人材育成（初任者研修、人権研修の実施） | <総務課>   |
|   | ・自主財源確保のための収益事業の実施             | <財務企画課> |

## 常設委員会

本会業務の円滑な運営を図るため、常設委員会にて協議を行いました。

- |                                |                 |
|--------------------------------|-----------------|
| ・生活福祉資金調査委員会（申請0件のため開催なし）      | <地域支援課>         |
| ・民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（開催なし）     | <財務企画課>         |
| ・民間社会福祉事業従事者共済制度運営委員会（1回）      | <地域支援課>         |
| ・ボランティア・市民活動センター運営委員会（2回）      | <活動推進課・研修課>     |
| ・北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会（2回） | <周望・穴生>         |
| ・総合企画委員会（2回）                   | <地域支援課>         |
| ・権利擁護・市民後見センター運用委員会（10回）       | <権利擁護・市民後見センター> |
| ・表彰審査委員会（1回）                   | <総務課>           |
| ・北九州市福祉人材バンク運営委員会（1回）          | <福祉人材バンク>       |

# 事業実施内容





## ◇会務運営

本会では平成 28 年度から 5 ヶ年の新たな活動指針となる「北九州市地域福祉活動第五次計画」を策定し、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向けた体制を一層整えてまいりました。

財務面においては、限られた財源を有効に活用するため、様々な経費削減を図ることに加え、賛助会員の増強運動や自主財源確保に努め、運営基盤の強化にも努めてまいりました。

また、関係法令に沿った適正な機関運営事務の他、税務及び労務事務についても適正な処理を行いました。

### 1 理事会開催

回	実施日	出席者数 /定数	議題
第 253 回	H29. 4. 1	14/17	1 会長の選任について 2 副会長の選任について 3 常務理事の選任について
第 254 回	H29. 5. 30	15/17	1 平成 28 年度事業報告について 2 平成 28 年度収支決算について 3 定款の一部改正について 4 定款施行細則の一部改正について 5 経理規程の一部改正について 6 評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程について 7 第 202 回評議員会の日時及び場所並びに議案の決定について
第 255 回	H29. 6. 20	15/17	1 会長の選任について 2 副会長の選任について 3 常務理事の選任について 4 評議員選任・解任委員会委員の選任について
第 256 回	H30. 3. 6	17/17	1 平成 30 年度事業計画について 2 平成 30 年度収支予算について 3 7 区社会福祉協議会との合併契約の締結及び許可申請について 4 定款の一部改正について 5 評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 6 評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について 7 職員の育児休業等に関する規程等の一部改正について 8 個人情報保護規程の一部改正について 9 事務局処務規程の一部改正について 10 嘱託職員等の報酬等に関する規程等の一部改正について 11 嘱託職員等の報酬等に関する規程及び経理規程の一部改正について 12 評議員選任候補者の推薦について 13 第 203 回評議員会の日時及び場所並びに議案の決定について

## 2 評議員会開催

回	実施日	出席者数 /定数	議題
第202回	H29. 6. 20	19/31	1 平成28年度事業報告について 2 平成28年度収支決算について 3 定款の一部改正について 4 評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程について 5～21 理事の選任について 22～24 監事の選任について
第203回	H30. 3. 28	24/31	1 平成30年度事業計画について 2 平成30年度収支予算について 3 7区社会福祉協議会との合併契約の承認について 4 定款の一部改正について 5 定款の一部改正について 6 評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 7 理事の補充選任について 8 監事の補充選任について

## 3 監事監査

実施日	実施監事名	監査の内容
H29. 5. 12	西村 時代 宗像 正博 武田 信一	平成28年度理事の職務執行状況 (事業報告及び計算関係書類等の検討)

## 4 市社協正副会長・区社協会長合同会議

実施日	出席者数	議題
H29. 5. 16	10	1 第254回理事会の議題について 2 第202回評議員会の議題について 3 第255回理事会の議題について
H30. 2. 13	10	1 第256回理事会の議題について 2 第203回評議員会の議題について

## ◇賛助会員の加入促進

本会活動への賛同者の増加及び地域福祉事業推進のための財政基盤強化を目的として、市内企業等を中心に賛助会員の加入促進に取り組みました。

年度	法人・団体会員		個人会員		計	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
H25 年度	202	5,440,000	308	1,158,000	510	6,598,000
H26 年度	254	5,800,000	346	1,181,000	600	6,981,000
H27 年度	228	5,310,000	271	923,000	499	6,233,000
H28 年度	228	4,330,000	194	631,000	422	4,961,000
H29 年度	246	4,790,000	152	486,000	398	5,276,000

## ◇民間社会福祉施設整備資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設の振興を図ることを目的に、施設の新設、修理、改築、拡張、土地の購入、備品整備等に要する整備資金の貸付事業を実施しました。

### 【貸付状況の推移】

年度	件数	貸付金額
H25 年度	0 件	0 円
H26 年度	4 件	57,000,000 円
H27 年度	0 件	0 円
H28 年度	2 件	14,700,000 円
H29 年度	0 件	0 円

### 【平成 29 年度末貸付件数及び貸付残高】

13 施設 94,524,000 円

## ◇民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設を対象に、施設職員の賞与等の支給原資として資金の貸付を予定していましたが、新規申込はありませんでした。

なお、平成 7 年度以降、新規の貸付申請はありません。

## ◇広報紙の発行事業

社協活動を多くの市民に知らせるとともに、福祉に関する正しい理解を広げるため、市社協だよりを年4回発行しました。

発行にあたっては、魅力的な広報紙にするため特集記事や紙面構成などを工夫し、社協活動についての理解促進と、読者の興味を引くような紙面づくりに努めました。

広報紙名	発行回数	1回あたりの発行部数	年間発行部数
北九州市社協だより	年4回	43,000部	172,000部

## ◇寄贈品の提供事業

市内の障害者、高齢者及び児童養護施設の利用者等を対象に、各企業様からご提供いただいたプロ野球観戦等の招待チケットなどの提供を行いました。

項目	提供企業名	施設数	招待者数
プロ野球公式戦招待	㈱ソフトバンクホークス	216施設	1,697人
プロレス観戦招待	㈱ドラゴンゲート	22施設	172人
プロレスラー施設慰問	NPO法人九州プロレス	10施設	—
ポップサーカス招待	㈱ポップサーカス	*市内522事業所へ周知	

## ◇助成金の情報提供等事業

民間公益団体が実施する、障害者、高齢者、児童福祉及び地域福祉等を対象とする各種助成金について、情報提供及び申請に係る推薦等の支援を行いました。

平成29年度は、34件の助成事業の情報提供を行ないました。

## ◇収益事業

ふれあいネットワーク活動推進事業をはじめとした社協活動の安定的な財源確保のため、収益確保の取り組みに努めました。

### 1 駐車場管理

北九州市交通局から遊休地を借用し、駐車場管理事業を実施しました。

平成 29 年度から北九州市の遊休地 17 箇所の借用ができなくなり、収益額も大幅に減少する結果となりました。

年度	収益額（円）	箇所数	延べ契約台数	有効駐車台数	稼働率
H25 年度	7,852,572	24	4,325	4,884	88%
H26 年度	8,593,978	24	4,281	4,884	87%
H27 年度	6,610,257	19	3,785	4,248	89%
H28 年度	6,961,857	19	4,017	4,654	86%
H29 年度	449,698	2	304	408	75%

### 2 北九州市社協だよりへの広告掲載

年 4 回発行する広報紙北九州市社協だよりの紙面を活用して、福祉・保健分野などの事業所や企業・団体の広告を掲載し、収益確保に努めました。

年度	収益額（円）	掲載件数（件）
H25 年度	504,000	14
H26 年度	518,400	11
H27 年度	518,400	13
H28 年度	518,400	15
H29 年度	518,400	15

### 3 「まちづくりクッキー」の販売

障害者施設との連携強化及び社協活動の周知を目的に、区社協など関係機関、団体の協力を得て「まちづくりクッキー」を販売しました。

年度	収益額（円）	売上数量（個）
H25 年度	44,600	446
H26 年度	39,300	393
H27 年度	69,200	692
H28 年度	32,000	320
H29 年度	37,700	377

# ◇平成29年7月九州北部豪雨に関する 支援活動

## 1 職員の派遣

九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、東峰村社協、朝倉市社協の災害ボランティアセンターの運営支援のため職員の派遣を行いました。

- (1) 派遣期間 平成29年7月11日～平成29年10月29日
- (2) 派遣者数 延べ50人

## 2 平成29年7月九州北部豪雨における被災者支援（本会絆プロジェクト）

平成29年7月九州北部豪雨災害に係る北九州市内への長期避難世帯に対して、北九州市の要請に基づき本会の絆プロジェクト基金から見舞金原資の拠出を行いました。

区分	見舞金	世帯数	見舞金支給額
1人の世帯	30,000円	3	90,000円
2人及び3人の世帯	45,000円	2	90,000円
4人以上の世帯	60,000円	1	60,000円
計		6	240,000円

## 3 ボランティアバスの運行

被災地のニーズに沿った継続的な支援を実施するため、被災地社協と連携を取りながら、以下のとおり市内在住、在勤・在学の方々による、バスを利用した支援活動を行いました。

- (1) 実施回数 全8回（内1回は悪天候のため中止）
- (2) 参加者数 194人（ボランティア182人 随員職員12人）
- (3) 活動場所 朝倉市災害ボランティアセンター杷木サテライト

## 4 義援金の募集・受付

平成29年7月九州北部豪雨で被害を受けられた方々に対する義援金の募集・受付を行いました。

- (1) 募集期間 平成29年7月10日～平成30年9月28日
- (2) 受付場所 ウェルとばた・穴生、周望学舎（募金箱）
- (3) 義援金額 955,619円（平成30年3月末現在）

## 5 その他の活動

北九州市ボランティア・市民活動センターでの、災害ボランティアに関する問合せに対応するための臨時開所、ボランティア相談支援及び支援調整など行いました。

## ◇ウエルとばた運営事業

第三期指定管理期間の4年目にあたり、市民サービスの向上と、ウエルとばたの複合施設としての特徴を最大限に活かし、市民会館まつり、花火観賞会、映画上映会等の実施を通じ、地域の活性化と福祉文化の発信に努めました。

また、「北九州市障害者芸術祭」及び「ふれあいフェスタ」に実行委員として参画し、福祉文化事業の下支えを行いました。

なお、第三期指定管理の提案内容については、指定管理期間で着実に実施できるよう努めていきます。

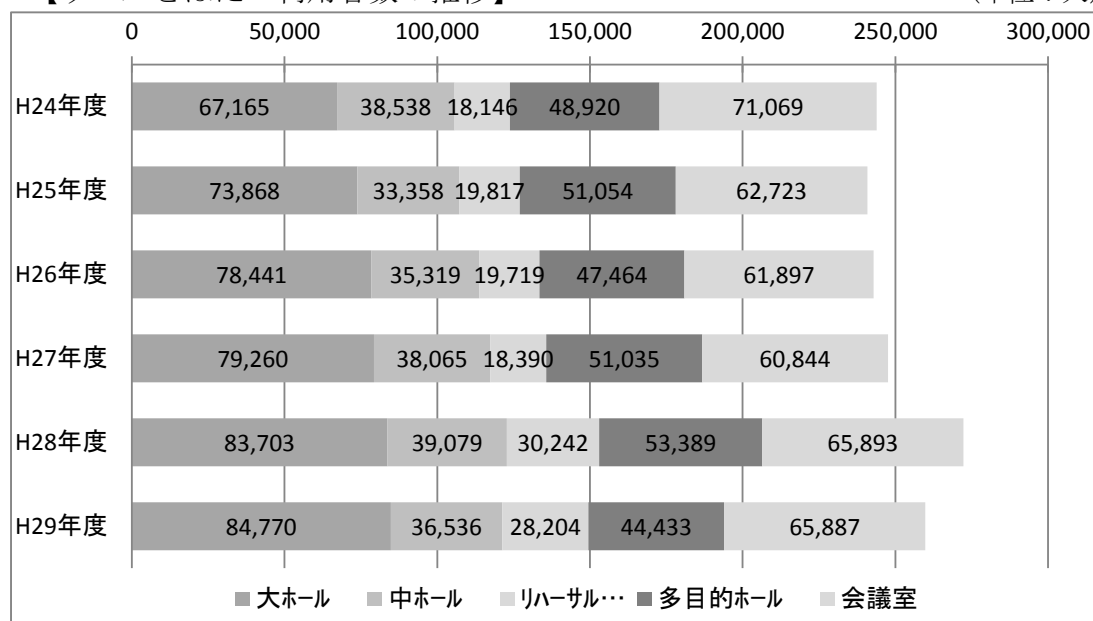
### 1 会議室等利用状況

(単位：人)

区分	貸館利用者数					合計
	大ホール	中ホール	リハ-サル・練習室	多目的ホール	会議室	
H25年度	73,868	33,358	19,817	51,054	62,723	240,820
H26年度	78,441	35,319	19,719	47,464	61,897	242,840
H27年度	79,260	38,065	18,390	51,035	60,844	247,594
H28年度	83,703	39,079	30,242	53,389	65,893	272,306
H29年度	84,770	36,536	28,204	44,433	65,887	259,830

【ウエルとばた 利用者数の推移】

(単位：人)



福祉会館の利用者数について、会議室は前年度とほぼ同数、多目的ホールは昨年比マイナス17%となりました。また、稼働率は福祉会館全体で83.3%、昨年の82.4%から0.9%増となっています。一方、市民会館大・中ホール及びリハ-サル・練習室の利用者数は昨年比で97.7%、稼働率は88.8%で、昨年の83.8%から5.0%増となりました。

ウエルとばた全体として見ると、利用者は前年比で若干減少しましたが、稼働率は上がっています。



## 2 にぎわい創出事業

行事名	実施日	人員	内容	
～幸せの風薫る～ 染色 布の花展	H29. 5. 10 ～5. 28	延べ 12,000	ウエルとばた開館15周年記念事業の第1弾として、永年、四季折々の花に題材をとった布の花をご提供いただいている小長布実さんの作品を一堂に展示。その繊細さと華やかさで来館者を魅了した。	
初夏のをどり	H29. 6. 11	567	主に戸畑区内で活動する日本舞踊の団体と女性和太鼓グループの発表会。市民会館大ホールで毎年開催。幅広い年代の出演者が熱演を繰り広げた。	
くきのうみ 花火の祭典観賞会	H29. 7. 29	284	ウエルとばた 6 階屋上庭園を市民に開放して、花火観賞会を開催。家族連れ、車いすの方などにゆっくりと楽しんでいただいた。	
サマーコンサート	H29. 7. 30	110	市環境局とタイアップした地球温暖化対策を呼びかけるコンサート。街なか避暑地であるウエルとばた交流プラザで、クラシック音楽を楽しんでいただいた。	
ステージで スタインウェイを 弾いてみませんか	H29. 8. 23	33	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないスタインウェイを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館中ホールで開催。	
秋 まつり	富永裕輔 10周年スペシャル ライブ	H29. 11. 3	650	ウエルとばた開館15周年の記念事業として、本市出身でデビュー10周年を迎えた富永裕輔氏のコンサートを開催。幅広い年代のお客様が詰めかけて大いに盛り上がった。
	ステージイベント ウエルまるしえ	H29. 11. 18	500	青春座の公演にあわせ、交流プラザで戸畑区内の街づくりに熱心な商業者によるバザーを開催。また特設ステージでは楽器演奏や子どもたちや中高年のダンスイベントに来場者も参加し、楽しんでいただいた。
	劇団青春座「戸畑 祇園ヨイトサ！」	H29. 11. 18 ～11. 19	延べ 1,640	戸畑祇園に題材をとった劇団青春座の作品を上演。市長が初めて出演し、大いに盛り上がった。
ステージで ベーゼンドルファー を弾いてみませんか	H30. 1. 6	52	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないベーゼンドルファーを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館大ホールで開催。	
歌まつり	H30. 1. 14	420	戸畑区内で活動するカラオケ団体の練習成果を発表する場として、市民会館大ホールで毎年開催。	
映画上映会	H30. 2. 4	115	毎年福祉文化の発信と豊かな土壌づくりを目的に開催。平成29年度は、いのちに向き合う家族を描いた作品「うまれる」「ずっと、いっしょ」を中ホールで上映。	

ウェルカムコンサート	奇数月第2木曜日	延 600	北九州市内で活躍している音楽家に依頼し、隔月第2木曜日の昼休みに交流プラザ特設ステージで様々なジャンルの演奏会を開催。今ではファンが定着し、毎回多くの方にご来場いただいている。
七夕飾り	H29. 6. 25 ～7. 8	-	交流プラザのにぎわいづくりとして企画。ボランティアの協力で七夕飾りを設け、来館者に願いごとを書いた短冊の飾りつけを開放。幅広い年代に楽しんでいただいた。
イルミネーションツリー関連行事	H29. 11. 21 ～12. 26	-	交流プラザに高さ3mを超す巨大なイルミネーションツリーを展示し、多くの来館者に楽しんでいただいた。 12/23には、海外で活躍している北九州市文化大使 森野由みさんをゲストに迎え、コンサートも開催した。
雛飾り	H30. 2. 5 ～3. 27	-	交流プラザに雛飾りを展示し、多くの方楽しんでいただくとともに、季節感を感じていただいた。

上記事業以外にも、北九州市障害者芸術文化応援センターと北九州市人権推進センターが共同で開催する「北九州市障害者芸術祭」、「ふれあいフェスタ」に実行委員として参画しました。

### 3 水道光熱費削減の取り組み

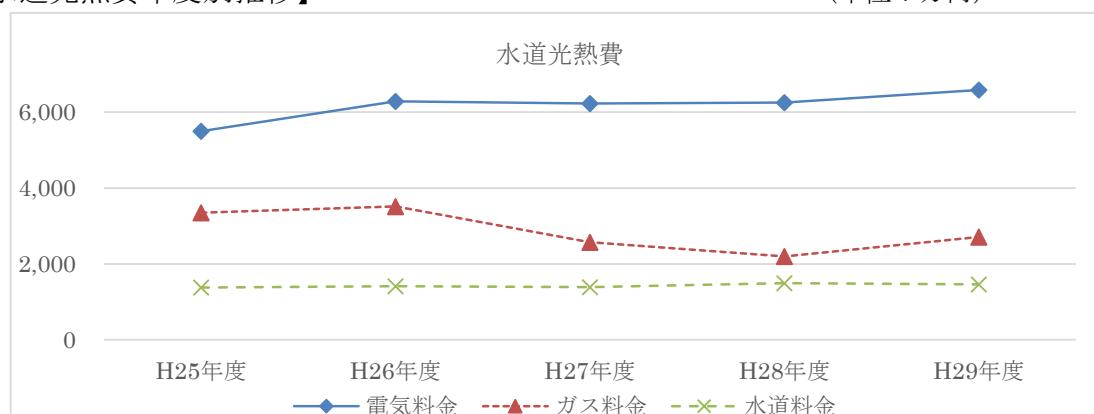
燃料需給契約は、常に最適化を図っており、日毎、月毎に電気、ガス、水道の各使用量を監視するなど節減に努めています。

ライフライン各社とは使用量などをもとに臨機応変に契約変更を行う等、徹底した運用管理を行いましたが、光熱水費の価格変動や猛暑寒波の影響などもあり、昨年比で約8.2%の増額となりました。

平成30年度も継続して省エネに取り組むとともに、入居団体等に「ウェルとばたエコ・オフィスプラン」への協力を呼びかける等、環境保護の啓発に努めます。

#### 【水道光熱費年度別推移】

(単位：万円)



(単位:円)

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
電気料金	54,992,565	62,796,307	62,208,526	62,462,522	65,774,466
ガス料金	33,480,503	35,142,082	25,741,417	21,973,429	27,097,756
水道料金	13,775,976	14,090,811	13,923,570	14,936,325	14,614,890

#### 4 広報・情報発信状況

北九州市社協だより、ホームページ等の広報に加えて、ウェルとばた Facebook を開設し積極的な情報発信を行いました。事業ごとには、マスコミ、コミュニティFM各社の協力により、一定の成果がありました。

また昨年度リニューアルしたホームページは、ユーザー数・アクセス数が大幅に増加し、利用者より好評を得ています。(ユーザー数:63,539人、アクセス数:84,015件、ページ閲覧数:280,602ページ)

#### 5 安全・安心な施設管理の取り組み

安全を維持するため、毎年実施している建築設備点検を3月に実施、また、消防設備点検及び防火対象物点検を2回実施するとともに、防火管理上の観点から防火対象物点検資格者講習に参加するなど、防火への取り組み強化に努めています。

館内での事故等に備え加入している施設賠償責任保険については、平成28年度に契約内容(1事故最高賠償金額1億円)の見直しを行い、1事故最高賠償金額5億円へと増額しています。また、救命体制の強化を図るため、AED(自動体外式除細動器)を1階防災センターと2階総合案内に加え、新たに3階市民会館側ホールロビーと福祉会館8階エレベーターホール横にも設置しました。これによりウェルとばた内のAEDの設置箇所が4箇所となったことから、北九州市の「おたすけAED事業」に沿ったところで、より多くの市民・利用者を救命できる体制を構築していきます。

#### 6 駅隣接公共スペースとしてのおもてなしの環境づくり

ウェルとばたにお越しになる方に心と癒しをいただけるよう、

- ・1階正面階段脇の花壇に花を植栽(年2回植え替え)
- ・2階交流プラザ総合案内前にアートフラワー作家による「布の花」を展示(年5回入れ替え)
- ・2階交流プラザで心和むBGMを放送
- ・2階ペデストリアンデッキの国旗掲揚ポールに鯉のぼりを掲揚(4月中旬から5月上旬までの間)
- ・2階国旗掲揚場周辺を戸畑あやめの植栽スペースとして整備(4月下旬から5月上旬にかけて)

# ◇住民による地域づくり事業

## 1 地域福祉活動計画推進事業

「北九州市地域福祉活動第五次計画」（平成 28 年度～平成 32 年度）の 2 年次にあたる平成 29 年度は、第五次計画が円滑に推進されるよう総合企画委員会、第三者評価委員会等において進捗状況の点検・評価を行いながら協議を重ねてきました。

社会福祉協議会が推進役となり地域福祉活動に取り組むことで、活動計画の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現を目指し、市民に対する広報・啓発活動の強化や、子どもから大人までの福祉教育の推進、活動の担い手となる人材の育成・確保、生活・福祉課題の解決に向けた関係機関・団体や福祉施設とのネットワークづくりを推進しました。

### (1) 北九州市地域福祉活動第五次計画 基本理念・基本目標等

基本理念	基本目標	目標達成のための基本項目
みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり	基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう	1 広報・啓発の強化
		2 福祉教育の推進
		3 地域福祉人材の育成
	基本目標 II 住民、関係機関・団体のネットワークで、身近な福祉活動を進めよう	1 小地域福祉活動の活性化
		2 ボランティア・市民活動の支援
		3 災害時の福祉救援体制づくり
		4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり
	基本目標 III 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	5 小地域福祉活動計画の推進
		1 権利の擁護と相談体制の充実
2 社会参加・自立の支援		
		3 調査・研究、提言

## 2 住民福祉活動促進事業

本年度も、平成 5 年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化に努めました。

基本事業としては、連絡調整会議の活性化を図るとともに、福祉協力員等による見守り活動により地域の支援が必要な世帯を見つけ、課題解決のために関係機関・団体等につなぎました。

メニュー事業としては、地域の高齢者の居場所づくりとして「高齢者のサロン事業」、次代へ地域福祉活動をつないでいくために「次世代地域福祉活動者育成事業」、地域課題の把握と解決のための中長期の指針として「小地域福祉活動計画づくり」を重点事業として実施するなど、地域の特性に合わせた校(地)区社協活動を展開しました。

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業（基本事業・メニュー事業）の推進  
ア 各区福祉協力員・ニーズ対応員数と活動状況

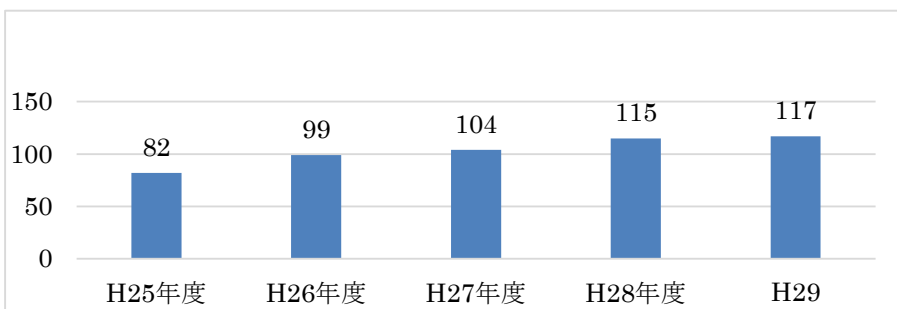
事業別 区名	実施地区	見守り活動			助け合い活動		
		福祉協力員数	見守り対象世帯		ニーズ対応チーム人数	対応件数	
			世帯数	内訳		対応数	対応内容内訳
門司	21	787	11,720	高齢者世帯 (昼間高齢者 だけを含む) 111,763	864	53,018	話し相手 344,604
小倉北	25	1,210	26,464		1,607	150,675	買い物支援 25,137
小倉南	27	1,232	17,509	障害のある人の世帯 3,742	420	99,969	生活情報の提供 236,072
若松	14	490	7,998	ひとり親で子育て中の世帯 2,343	550	34,279	薬とり 2,559
八幡東	21	594	14,238	その他の世帯 1,985	1,812	130,513	庭掃除 1,943
八幡西	33	1,953	29,990		1,952	172,556	布団干し・入れ 481
戸畑	14	626	11,914		656	40,244	洗濯 2,230
							ゴミ出し 44,752
							その他 23,476
全市	155	6,892	119,833		7,861	681,254	

イ メニュー事業Ⅰ 実施状況  
 メニューⅠ-①「高齢者のサロン事業」

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
西門司 藤松 大里南 大里柳 大里東 小森江西 小森江東 庄司 古城 門司 清見 田野浦 白野江 大積 伊川 松ヶ江南	藍島 足原 足立 泉台 到津 井堀 今町 貴船 清水 小倉中央校区米町 小倉中央校区堺町 小倉中央校区天神島 桜丘 三郎丸 寿山 城野第一 富野 中井 中島 西小倉 日明 南丘 南小倉	北方 東谷 貫 曾根 葛原 吉田 長行 若園 企救丘 湯川 城野 沼 守恒 志井 長尾 東朽網 広徳	浜町 深町 修多羅 古前 藤ノ木 二島 鴨生田 江川 高須 青葉台 ひびきの	高見 槻田第三 高槻 枝光第一 枝光第二 枝光北 尾倉第四 前田北 前田第三 前田第四	木屋瀬 陣原 穴生 陣山 折尾東 則松 熊西 上津役 本城 浅川 八兒 鳴水 引野 中尾 塔野 永犬丸 筒井 青山 医生丘 光貞 楠橋 千代 池田 竹末・若葉 黒畑 永犬丸西 赤坂 八枝 黒崎 星ヶ丘	東戸畑 鞆ヶ谷 大谷第一 浅生 天籟寺 一枝 三六 中原 西戸畑 牧山東	
16	23	17	11	10	30	10	117

メニューⅠ－①「高齢者のサロン事業」  
 サロン活動取り組み校(地)区社協数の推移



サロン活動セミナーの開催

実施日	人員	内容
H30. 2. 20	212 人	<p><b>【報告】</b>            「地域包括ケアシステムとサロン活動への期待            報告者 北九州市保健福祉局 認知症支援・介護            予防センター 所長 宮永 敬市</p> <p><b>【基調講演】</b>            「社協活動におけるサロン活動の意義と地域での連携」            講師 福岡県立大学 人間社会学部            准教授 村山 浩一郎</p> <p><b>【実技紹介】</b>            「サロンで健康づくり」            講師 北九州市認知症支援・介護予防センター            地域活動支援担当係長 高橋 都子</p> <p><b>【パネルディスカッション】</b>            「サロンを活性化する創意工夫」            コーディネーター            福岡県立大学 人間社会学部            准教授 村山 浩一郎</p> <p>パネリスト            前田地区社協 事務局長 和才 健治            (公社)北九州高齢者福祉事業協会 理事            (福)いわき福祉会 常務理事 二文字 正勝            若松区社会福祉協議会            地域支援コーディネーター 久保 順子</p> <p>オブザーバー            北九州市社会福祉協議会、北九州市保健福祉局</p>

メニューⅠ－②「次世代地域福祉活動者育成事業」

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
藤松 田野浦 柄杓田 松ヶ江北	泉台 今町 北小倉 富野	曾根 朽網 合馬 山本 徳力 曾根東 東朽網	小石赤崎 古前	高見 高槻 大蔵第一 大蔵第三 枝光北 中央第一	折尾西 永犬丸西 赤坂	大谷第二 天籟寺	
4	4	7	2	6	3	2	28

※基本事業等としてウェルクラブ活動を実施した校(地)区社協

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
大里南 大里柳 清見 伊川	貴船	道原	—	—	竹末・若葉	—	
4	1	1	—	—	1	—	7



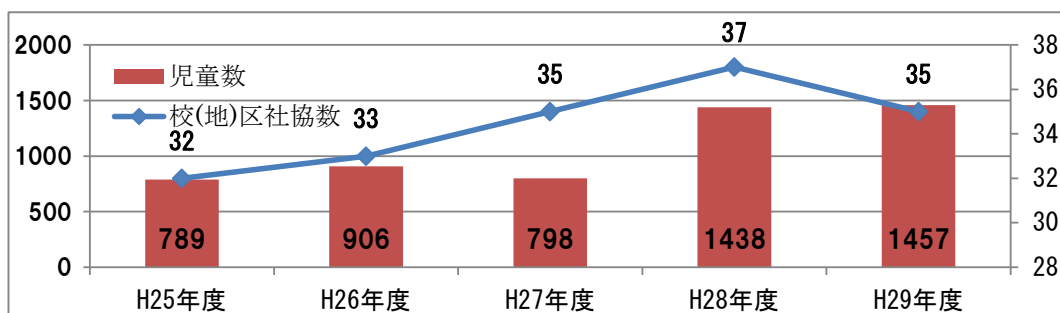
次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施状況

	校（地）区社協	小学校	参加児童数	活動内容								特徴等	
				見守り（訪問）活動	助け合い活動	疑似体験	共同募金活動	施設訪問・交流	認知症を学ぶ講座	サロン訪問	地域交流・行事		活動報告会
1	藤松	藤松	7	○							○	○	バザー、敬老会、文化祭、餅つき、ひな祭り
2	大里南	大里南	150	○	○		○	○			○	○	敬老会、歩こう会、グラウンドゴルフ、餅つき、どんど焼き
3	大里柳	大里柳	496	○	○						○	○	敬老会、ふれあい昼食会、グラウンドゴルフ、クリスマス会
4	清見	港が丘	16	○		○	○	○			○	○	買い物支援朝市、敬老会、高齢者昼食会
5	田野浦	田野浦	99	○							○	○	敬老会、体育会、年賀はがき作成
6	柄杓田	柄杓田	14	○				○				○	
7	伊川	伊川	18								○	○	盲導犬体験研修、給食会
8	松ヶ江北	松ヶ江北	25	○	○	○		○	○		○	○	清掃活動、ふうせんバレー大会、敬老会
9	泉台	泉台	10	○	○	○		○			○	○	朝市・サロン、夏祭り、どんど焼き等
10	今町	今町	5	○							○		夏祭り、敬老会、朝市・サロン等
11	北小倉	北小倉	27	○		○		○			○	○	バス研修、境川清掃活動、桜交流会等
12	貴船	貴船	19				○	○			○		敬老会、地域清掃等
13	富野	富野	15	○	○						○	○	交流会、ふれあい昼食会等
14	曾根	曾根	15	○				○			○	○	市民センター文化祭、バスハイク、一人暮らし高齢者・身障者の集い
15	朽網	朽網	30	○				○			○	○	まち美化運動、敬老会、夏まつり、文化祭、乳幼児と交流、バスハイク
16	合馬	合馬	27	○	○			○	○		○	○	校区敬老会、もちつき大会、慰霊祭、登山
17	山本	すがお	74								○	○	校区敬老会、もちつき大会、バスハイク
18	道原												
19	徳力	徳力	20	○			○	○			○	○	バス研修、もちつき大会
20	曾根東	曾根東	14	○		○		○			○	○	地域祭事、まち美化活動、市民センター行事
21	東朽網	東朽網	19	○									
22	小石赤崎	小石・赤崎	69	○		○						○	
23	古前	古前	55	○							○		そうめん流し、親子縁日、敬老ふれあい給食会、伝承遊び
24	高見	高見	12	○	○	○		○			○	○	敬老会・年末餅つき
25	高槻	高槻	25	○	○	○					○	○	敬老行事、まち美化、ほたるまつり、地域内伝承行事
26	大蔵第一	大蔵	9	○	○	○		○			○	○	まち美化、ふれあい昼食交流会、市民とボランティアのつどい
27	大蔵第三												

28	枝光北	枝光	15	○	○	○		○		○	○	○	敬老行事、文化祭、市民とボランティアのつどい
29	中央第一	八幡	23	○	○	○		○		○	○	○	まち美化、敬老会、市民とボランティアのつどい
30	折尾西	折尾西	23	○				○				○	自助具づくりを実施
31	竹末・若葉	竹末	47	○				○			○		
32	永犬丸西	永犬丸西	28	○	○	○		○		○	○	○	分校として中学生も参加
33	赤坂	赤坂	14	○	○	○		○	○	○	○	○	サロン参加者とボランティア講座受講
34	大谷第二	大谷	14	○									そば打ち体験
35	天籟寺	天籟寺	23	○						○	○		敬老訪問、サロン交流、給食交流会、昔あそび体験
全市計		35校(地)区 1,457人											

メニューⅠ-②「次世代地域福祉活動者育成事業」

ウェルクラブ活動 取り組み校(地)区社協数及び参加児童数の推移



メニューⅠ-③「校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくり」

小地域福祉活動計画策定校(地)区と重点実施項目

※第一次計画（平成30～34年度）

校(地)区社協名		重点実施項目として継続的・段階的に取り組んでいくもの
門司	大里東	「藤松校区 小地域福祉活動第一次計画」 ①みんなで福祉の風土を広げよう ②住民、関係機関・団体のネットワークで、身近な福祉活動を進めよう ③一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう
	錦町	「錦町校区社協 小地域福祉活動第一次計画」 ①本当に役立つ災害対策 ②地域の井戸端会議～港がみえる丘サロンの開催～
	松ヶ江北	「住民発！マッキーとつくる未来の松北計画」 ①気軽に生きがい作りの出来る居場所づくり ②松ヶ江北校区の歴史再発見
若松	青葉台	「青葉台地区の福祉プラン」 ①見守り活動の充実 ②組織づくりの見直し・充実

八幡東	枝光第二	「枝光第二地区の元気プラン！」 ①福祉の基本を学ぶ ②サロン活動 ③助け合い活動
	中央第一	「中央第一地区の元気プラン」 ①安心して暮らせる町づくり ②ふれあい交流の場所づくり ③次世代へとつなぐ育成活動
戸畑	鞆ヶ谷	「鞆ヶ谷校区の元気プラン」 ①心をかよわせるまち鞆ヶ谷 ②いのちをまもるまち鞆ヶ谷 ③いのちをはぐくむまち鞆ヶ谷
	南沢見	「南沢見地区のつながりプラン」 ①お助け隊の立ち上げ ②三世代交流を通じた人材発掘
計		8校(地)区

※第二次計画（平成30～34年度）

校(地)区社協名		重点実施項目として継続的・段階的に取り組んでいくもの
門司	藤松	「藤松校区 小地域福祉活動第二次計画」 ①災害弱者対策 ②買い物困難者の支援 ③世代間交流の推進
小倉北	足立	「足立校区の元気プラン」 ①次世代地域福祉活動者の育成 ②生活支援活動（助け合い）の充実・発展
小倉南	企救丘	「企救丘校区の元気プラン」 ①安心な地域へ／防災チーム設立と防災ネットワーク ②広報の充実・強化
	北方	「北方校区の元気プラン」 ①一人暮らし高齢者の見守りの強化 ②ラジオ体操の実施
若松	修多羅	「第二次！！修多羅校区の元気プラン」 ①みんなのサロン活動 ②ご近所見守り隊による「見守り活動」の推進
八幡東	槻田第一	「つきだでずう～っと暮らしたい ～向こう三軒両隣目配り気配り思いやり～」 ①ふれあいネットワーク活動の充実 ②サロン活動の充実

		③災害時福祉救援体制づくり
八幡西	八枝	「八枝校区の元気プラン」 ①オープンスペース（サロン活動） ②助け合い活動（ボランティアグループ）
計		7校(地)区

小地域福祉活動計画策定研修（ふくしプランニング工房）の開催

- ① 講師 福岡県立大学人間社会学部 准教授 村山 浩一郎  
② 会場 ウェルとばた多目的ホール

回	実施日	人員	内容
1	H29. 6. 19	45人	第1回小地域福祉活動計画策定研修 【講義】①小地域福祉活動計画策定の意義 ②基本計画（計画の体系図） ③地域の福祉課題の抽出 ④基本計画（計画の体系図）と重点実施項目 ⑤実施計画の作成 【演習】①課題を視覚的に抽出・整理するカードワーク ②重点実施項目の選択と段階的な取り組み
2	H30. 3. 23	37人	第2回小地域福祉活動計画策定研修 【発表】①各校(地)区社協の計画書(最終案)発表 【講義】①計画の推進・広報について
計		82人	

ウ メニュー事業Ⅱ実施状況

(単位：校(地)区)

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
① 地域交流活動 世代間交流、健康づくり等	8	22	26	13	17	26	4	116
② 生活支援活動 買い物支援、子育て支援等	1	9	11	4	6	10	0	41
③ 研修・学習活動 住民啓発講座、視察研修等	2	2	15	8	12	15	2	56
④ 広報・調査活動 広報紙発行、障害理解等	2	3	22	6	12	23	0	68
⑤ 福祉救援体制づくり 要援護者マップ、避難訓練等	6	5	4	3	11	5	2	36
⑥ 年末年始ふれあい活動 見守強化、年末年始行事等	2	16	25	7	12	29	0	91
⑦ その他の活動	0	0	0	2	0	0	0	2
計	21	57	103	43	70	108	8	410

(2) 各種別社会福祉施設協議会等と連携した地域における公益的取組の推進

①社会福祉施設参画状況(区別)

(単位:回)

区	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
校(地)区	大里柳	今町	若園	高須	枝光北	楠橋	西戸畑	7
施設数	2	2	2	2	2	2	2	14
参画回数	12	12	3	6	7	6	14	60
連絡調整会議	12	12	2	4	4	3	6	43
サロン活動			1		2		8	11
個別支援				2	1	3		6

※複数施設が同時に参画した場合は重複計上

②社会福祉施設による校(地)区社協支援状況(全市)

(単位:件)

連絡調整会議	52	見守り活動に関する助言	8
		介護、福祉制度等に関する助言	11
		認知症・多問題世帯等の困難ケースに関する助言	2
		生活支援活動に関する助言	0
		地域福祉活動の拠点に関する相談	1
		その他	30
サロン活動	11	介護予防に関する実技指導	6
		サロンプログラムに関する助言	1
		介護、福祉制度等に関する助言	0
		保健・健康に関する助言	0
		地域福祉活動の拠点に関する相談	0
		その他	4
その他	6	介護・福祉制度の利用に関する支援・対応	0
		認知症・多問題世帯等の困難ケースへの支援・対応	1
		生活支援活動に関する支援・対応	0
		地域福祉活動者の養成に関する支援・対応	0
		地域福祉活動の拠点の提供等	0
		その他	5

(3) 出前講演活動の実施

項目	主な内容	回数(回)	受講者数(人)
1	住民の支えあい「ふれあいネットワーク活動」	17	873
2	誰もが自分らしく生きられる地域づくり～生活困窮者の支援～	7	247
3	災害にも強い福祉のまちづくり	2	70
4	あなたにもできるボランティア	18	699
5	あんしんな暮らしのお手伝い	20	748
6	“認知症”について正しく学ぶ	0	0
7	“ともに生きる”障害のある人にもやさしいまちづくり	22	640
8	ご存知ですか?“ひきこもり”のこと	5	146
9	その他	1	29
計		92	3,452

(4) 社協PR用オリジナルTシャツ・エプロン・ポロシャツの頒布 (単位:枚)

Tシャツ大人用	Tシャツ児童用	エプロン	ポロシャツ	計
173	268	59	98	598

(5) 他都市からの照会・視察受入れ

相手先	対応	内容
佐賀県みやき町社協	照会	ウェルクラブ活動について
仙台市社協	照会	生活支援コーディネーター配置状況等について
広島市中区社協	視察	実施日：H29.9.22～23 テーマ：他都市における地区社協の活動について 視察者：21名 対応校区社協：小倉北区清水校区社協

(6) その他会議への参画

- ・北九州市障害者差別解消支援地域協議会
- ・北九州市障害者支援計画のあり方懇話会
- ・地域包括支援に関する会議
- ・北九州市居住支援協議会 幹事会
- ・北九州市自殺対策連絡会議
- ・北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議
- ・障害福祉団体連絡協議会定期総会
- ・北九州市保健所運営協議会
- ・北九州市防災会議
- ・北九州市国土強靱化有識者会議
- ・北九州市国民保護協議会
- ・北九州市民生委員推薦会
- ・北九州市障害者自立支援協議会 地域ネットワーク部会
- ・北九州市ホームレス自立支援推進協議会
- ・次期北九州市高齢者支援計画策定に向けた関係団体の意見を聞く会

## ◇地域相談支援事業

平成 27 年度より、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の見守り・支え合いを強化するために、各区に地域支援コーディネーターを配置し、福祉協力員等の身近な地域での支え手の発掘や互助活動を支援しました。平成 29 年度は 3 名の地域支援コーディネーターを新たに配置し、地域の互助活動を高めるための支援を充実しました。

地域の多様化する生活・福祉課題に対応するためには、地域の見守り・支え合いを強化する必要があり、地域の関係機関・団体、社会福祉施設等との連携を図り、地域の話し合いの場を活性化するとともに、地域の互助活動の強化を行いました。また、地域資源や地域資源に関する情報を地域福祉活動者や区役所関係各課に情報提供を行うとともに、ホームページ等を活用して情報発信しました。

### 1 地域資源の発掘・組織化業務

#### (1) 地域課題の把握

校(地)区社協、民生委員児童委員協議会、まちづくり協議会等の地域の会合に参加し、地域の状況を情報収集し、地域プロフィールシート（地区カルテ）を作成・更新しました。

①地域の会議等への参加実績 2,285 回、69,825 人（全市）

②地域プロフィールシート作成状況

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計(件)
整備数		21	25	27	14	21	33	14	155
更新	1 回目	21	25	27	12	21	33	14	153
	2 回目			5	5				10

#### (2) 地域資源の把握

市、区ボランティア・市民活動センターや地域関係者等から情報収集し、地域資源（サービス）情報シートを作成しました。

①地域資源（サービス）情報シート作成状況

地域資源種別	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計(件)
生活支援活動（小計）	9	9	26	9	17	22	1	93
①買い物支援	3	3	5	1	6	8	1	27
②配食サービス			1			3		4
③調理	1	1	3	1	1	2		9
④掃除・洗濯	1	1	3	1	1	2		9
⑤外出介助	1	1	3	1	1	2		9
⑥貸室		1	1		1	1		4
⑦その他	3	2	10	5	7	4		31
互助活動（小計）	2	1	6	3	2	5	0	19
⑧ゴミ出し								
⑨話し相手								
⑩見守り・安否確認活動								
⑪サロンなどの交流会		1	6	2	2			11
⑫その他	2			1		5		8

合計	11	10	32	12	19	27	1	112
----	----	----	----	----	----	----	---	-----

(3) 地域資源を増やすための啓発活動

地域福祉活動者の確保やサロン活動等の参加者を増やすための、チラシや広報紙の作成などの広報活動の支援や、各種会合等での啓発活動、出前講演等を実施しました。

内容	件数
チラシの作成支援	27 件
広報紙等による支援	2 件
出前講演の実施	23 回
新規福祉協力員等の確保	75 人
サロン拠点開設カ所数	18 カ所

(4) 協議体の移行支援・運営支援

地域だけでは、解決の難しい課題について、北九州高齢者福祉事業協会との地域における公益的取組の推進に関する協定等を活用し、社会福祉施設等地域の関係団体との連携を図りながら、地域の話し合いの場の充実への支援を行いました。

① 協議体への運営支援 35 回、延べ 804 人

(5) 地域資源の組織化・継続的な活動支援

校(地)区社協の連絡調整会議や地区民生委員児童委員協議会の会合等に参画し、サロン活動の立ち上げ支援及び校(地)区社協等と社会福祉施設との協働の促進、地域の福祉課題に対する継続的な支援及び相談対応を実施しました。

① 相談件数

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
個別相談に関する相談件数	41	102	31	33	46	65	20	338
互助活動に関する相談件数	37	226	253	162	89	24	86	877

② 社会福祉施設との連携状況

内容	件数
相談件数（施設から）	18 件
相談件数（その他から）	5 件
コーディネート件数（連絡調整会議等へ）	15 件
コーディネート件数（サロン活動等へ）	7 件
コーディネート件数（その他へ）	10 件

## 2 地域における見守り活動の支援

活動の中で、見守りが必要な人や介護保険サービスが必要な人等に関する情報を得た場合は、地域ケア個別会議等の区役所関係課との会合や、いのちをつなぐネットワーク担当係長や地域包括支援センター、区役所関係課に情報提供を行いました。



### 3 区役所関係課との連携業務

配置場所の区役所保健福祉課（いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター及び統括支援センター、地域保健係）をはじめとした関係各課及び市民センター館長等の関係者と連携、情報共有し、地域の互助活動等を支援するためのネットワークづくりを行いました。

### 4 研修会等への参加

地域支援コーディネーター養成研修をはじめとした、コーディネーターとしての資質向上を図るため下記の研修を実施または参加しました。

実施日	人員・会場	内容
H29. 4. 6 ～ H29. 4. 13	8人 ウェルとばた	「地域支援コーディネーター養成研修」 ①北九州市の地域福祉活動、ふれあいネットワーク活動の現状 ②北九州市の保健福祉施策 ③地域包括ケアシステムの推進、地域支援コーディネーターの業務・役割 ④地域福祉課題の把握・分析、小地域福祉活動計画策定技法 他
H29. 10. 5	2人 ウェルとばた	「地域支援コーディネーター養成研修」 ①北九州市の地域福祉活動、ふれあいネットワーク活動の現状 ②北九州市の保健福祉施策 ③地域包括ケアシステムの推進、地域支援コーディネーターの業務・役割 他
H29. 8. 7 ～ H29. 9. 6	10人 福岡県吉塚合同庁舎	「福岡県生活支援コーディネーター養成研修」 ①生活支援コーディネーター及び協議体とは ②生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割 ③高齢者の生活支援ニーズと生活支援サービス ④サービス開発の方法 他
H29. 9. 21 ～ H29. 9. 22	3人 タイム24ビル	「地域生活支援ワーカーリーダー研修会」 ①地域福祉をめぐる動向と地域生活支援ワーカーへの期待 ②地域生活支援ワーカーの役割 他
H29. 10. 18 ～ H29. 10. 19	1人 灘尾ホール	「生活支援コーディネーター研究協議会」 「支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム」 ①地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会の実現に向けて期待されるコーディネーターの役割 ②『我が事・丸ごと』の地域づくりと新たな地域支援事業の推進に向けて 他

H29. 11. 30 ～ H29. 12. 1	2人 日光市藤原 総合文化会館	「全国校区・小地域福祉活動サミット」 「地域の身近な拠点づくり推進セミナー」 ①地域おこしに学ぶ地域の支え合いの場づくりと 継続支援のポイント ②地域活動拠点の立ち上げと継続支援～地域の困 りごとを見逃さないために～ 他
H30. 3. 22	3人 東京ファッショ ンタウンビル	「地域の身近な拠点づくり推進セミナー」 ①農山村の地域づくりに学ぶサポート人材の活用 とプロセス支援 ②地域活動拠点の立ち上げと継続支援 ～地域の困りごとを見逃さないために～ 他

## 5 地域支援コーディネーター連絡会

地域支援コーディネーター業務の充実及び行政等関係機関・団体との連携を図るため、地域支援コーディネーター連絡会を定例開催しました。

実施日	4/19	5/11	6/21	7/19	8/18	9/21	10/18	11/15	12/20	1/17	2/21	3/20
人員	25	15	13	12	14	18	11	15	14	20	13	11
主要 議題	1 事業進捗状況及び推進方法等について 2 行政からの連絡事項等 3 連絡事項・情報提供 4 報告、その他											

## ◇北九州市社会福祉大会

昨今の急速な少子高齢化の進展のなかで、国は、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を推進しており、地域においては、住民の皆さんが参画し、複合的な生活課題の解決に取り組んでいく「地域共生社会」の実現が求められています。

また、民生委員制度創設 100 周年の節目の年にあたることから、本会においても、これまで以上に民生委員・児童委員などの地域関係者や、専門職・団体と連携した住民の助け合い活動を推進しています。

本大会では、社会福祉の発展に貢献された方々に感謝の意を表するとともに、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向けて、市民及び福祉関係者が一堂に会し、今後の地域福祉活動のあるべき姿への決意を新たにすることを目的として開催しました。

実施日	人員・会場	内容
H29. 10. 22	534 人 ウェルとばた	<b>【記念式典】</b> 北九州市社会福祉協議会会長表彰 他 <b>【記念講演会】</b> 「塀の中から見た福祉 ～誰にでもやさしい地域へ～」 作家・福祉活動者 山本 譲司 <b>【アトラクション】</b> 「踊りの発表」 聖幻会

# ◇生活福祉資金

生活福祉資金貸付制度は、低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと民生委員を通じた必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

資金の相談の中では、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、効果的、効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立の促進を図りました。

## 1 生活福祉資金貸付状況

(上段：件数、下段：金額、単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合支援資金	生活支援費	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0	3	8
		0	345	0	0	366	0	0	285	369	115	0	1,224	2,704
	住宅入居費	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		0	0	0	0	169	0	0	0	0	0	0	0	169
	一時生活再費	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
	0	149	0	0	138	0	0	0	0	0	0	54	341	
福祉費	住宅増改築経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉用具購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者自動車購入経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	住居の移転・給排水設備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	425	0	425
	日常生活上一時的経費	0	0	1	6	8	2	0	2	0	0	0	1	20
		0	0	48	533	605	200	0	151	0	0	0	84	1,621
緊急小口資金	5	6	11	5	7	10	7	7	7	1	4	3	7	73
	500	550	1,100	500	700	918	700	647	100	400	300	700	7,115	
教育支援資金	教育支援費	0	0	0	0	0	0	4	6	4	7	22	5	48
		0	0	0	0	0	0	6,072	6,843	3,306	9,024	16,153	1,602	43,000
	就学支度費	0	0	0	0	0	0	4	7	4	11	30	8	64
	0	0	0	0	0	0	940	1,556	859	2,396	8,449	1,236	15,436	
不動産担保生活資金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5	8	12	11	18	12	15	23	10	23	56	25	218
		500	1,044	1,148	1,033	1,978	1,118	7,712	9,482	4,634	11,935	25,327	4,900	70,811
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0	100

注1) 申請(承認)の件数、金額

注2) 福祉資金の、生業費、技能習得費、住宅増改築経費、福祉用具購入費、障害者自動車購入費、療養費、就職・技能習得支度費、災害援護資金、不動産担保型生活資金は本年度申請なし

# ◇民間社会福祉事業従事者共済事業

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、福祉年金、脱退一時金、遺族一時金の支給等の共済事業と、福利厚生事業として、給付事業、貸付事業のほか、様々なスポーツ観戦、演劇鑑賞、音楽鑑賞、宿泊事業等を実施しました。

また、加入者数は、年々増加傾向にあり、多くの方々が利用され、従事者とその家族の福利の充実に資することができました。

## 1 共済加入状況の推移

年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
加入施設・団体	204	209	213	217	215
加入人員（人）	4,506	4,539	4,674	4,739	4,785

## 2 福利厚生事業実施状況

### (1) 給付事業

結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金、香華料、災害見舞金  
(計 408 件、3,928,000 円)

### (2) 貸付事業

厚生貸付、結婚貸付、入学貸付 (0 件)

### (3) スポーツ観戦事業 (1 組 2 席)

ソフトバンクホークス公式戦 40 組  
(個人負担額 300,000 円、助成金額 200,000 円)  
ギラヴァンツ北九州ホーム戦 16 組  
(個人負担額 33,600 円、助成金額 22,400 円)

### (4) 演劇鑑賞事業 (1 組 2 席)

北九州芸術劇場等 6 演目 57 組 (個人負担額 352,050 円、助成金額 232,550 円)

### (5) 音楽鑑賞事業 (1 組 2 席)

北九州ソレイユホール等 2 演目 20 組  
(個人負担額 141,000 円、助成金額 95,000 円)

### (6) 宿泊事業 (1 組 2 枚)

ハイツ&いこいの村及び九州内旅館 11 施設 64 組  
(個人負担額 704,000 円、助成金額 448,000 円)

(7) 家庭用常備薬斡旋事業

1回目(4月) 申込施設数 66 施設、申込件数 258 件、申込金額 995,720 円

2回目(9月) 申込施設数 69 施設、申込件数 279 件、申込金額 973,930 円

3 共済事業事務担当者会議・研修会

実施日	人員・会場	内容
H29.9.5	47 人 ウェルとばた	<b>【講義】</b> 『「怒り」の感情コントロール ～アンガーマネジメントのすすめ～』 <b>【講師】</b> 一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメントファシリテーター 白石 裕子

## ◇各施設協議会等との連携

種別を超えた社会福祉施設協議会間の連携体制づくりや、情報交換、共通理解を深める目的で、市内の各社会福祉施設協議会等の連絡会を開催しました。

今年度は、社会福祉法人制度改革をみすえ、社会福祉法人・施設をとりまく現状等を共有し、地域における公益的な活動についての地域との関わりや、福祉の職場の人材確保等、地域福祉を推進するための連携のあり方について協議しました。

### 1 社会福祉施設協議会連絡会の開催

#### (1) 実務者会議

実施日	人員・会場	内容
H29. 8. 1	5人 ウェルとばた	<b>【議題】</b> 1 災害時における相互協力協定について 2 要支援者等を支える「地域づくり」について 3 地域における公益的な取組みの促進について 4 大都市社会福祉施設協議会の開催時期について
H30. 2. 2	5人 ウェルとばた	<b>【議題】</b> 1 ボランティア体験学習について 2 地域における公益的な取組みの現状について 3 第61回大都市社会福祉施設協議会（福岡市大会）について

#### (2) 代表者会議

実施日	人員・会場	内容
H30. 2. 20	4人 ウェルとばた	<b>【報告】</b> 1 第60回大都市社会福祉施設協議会横浜市大会について 2 社会福祉施設協議会連絡会（第9・10回）について <b>【議題】</b> 1 北九州市社会福祉協議会 社会福祉施設協議会 代表の選任について 2 第61回大都市社会福祉施設協議会福岡市大会について 3 地域における公益的な取組みの現状について

### 2 第60回大都市社会福祉施設協議会横浜市大会への参加

実施日	人員・会場	内容
H29. 7. 20 ～ H29. 7. 21	10人 横浜ベイシェ トラン ホテル & タワーズ (横浜市西区)	<b>【基調講演】</b> 「地域共生社会の実現に向けて社会福祉施設に求められる役割」 厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室長 本後 健 <b>【種別研究会】</b> <b>【交流会】</b> <b>【特別講演】</b> 「夢の実現 ツキの10カ条」 横浜ブリキのおもちゃ博物館館長 北原 照久

## ◇民生委員互助共励事業

全国の民生委員・児童委員が、民生委員活動の充実を図り、地域福祉活動の発展に資することを目的として、弔慰金、見舞金、退任慰労金等を支給する互助事業を実施しました。

また、共励事業として、地区民生委員児童委員協議会活動の活性化を図るため、「指定地区民児協事業」について、2地区を指定し事業を実施しました。

### 1 民生委員互助共励事業給付金支給状況（全社協委託事業）

	公務 死亡	公務 傷病	一般 死亡	配偶者 死亡	一般 傷病	退任 慰労	災害	合計
支給 件数	0	3	9	7	30	11	0	60
金額 (千円)	0	110	270	105	290	45	0	820

### 2 指定地区民児協事業

- (1) 指定期間 平成29年度～平成30年度の2年間
- (2) 指定地区 小倉南区：田原地区民生委員児童委員協議会  
若松区：青葉地区民生委員児童委員協議会



# ◇生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者の自立支援を目的に、市内全7区の相談窓口「いのちをつなぐネットワークコーナー」で、制度の中核・必須である自立相談支援事業を実施しました。

地域の多様な専門機関や福祉活動等と連携して、対象者への相談支援に取り組むとともに、生活困窮者支援を行っている関係機関等とのネットワークづくりや生活困窮者の支援に関する社会資源の開発にも、地域福祉の視点で取り組みました。

## 1 自立相談支援事業の周知と関係機関とのネットワークに関わる業務

### (1) 事業の周知及び広報

#### ①区社協広報紙への掲載

掲載物	掲載回数（掲載号）	備考
小倉北区社協広報紙	2回（4/15、1/15）	区内全戸配布等
小倉南区社協広報紙	4回（4/15、7/15、10/15、1/15）	
若松区社協広報紙	1回（2/15）	
八幡東区社協広報紙	2回（4/15、1/15）	
八幡西区社協広報紙	1回（4/15）	

### (2) 関係機関とのネットワークづくりに関わる業務

支援調整会議その他の既存の合議体の活用の他に、他の関係機関が行う会議等にも参加し、生活困窮者支援を行っている関係機関等とネットワークづくりに取り組み、支援の際にスムーズに連携できるよう努めました。

#### 【ネットワークづくりを行った主な関係機関・団体】

- ①市及び各区の行政関係機関 6 団体
- ②社協関係（市：1、区：7、校(地)区：155)
- ③民児協関係（地区民児協：133)
- ④その他の関係機関 20 団体

### (3) 職員の研修

国の研修を受講した職員等が講師役となり、従事予定者研修や定期的な相談支援員連絡会を行って、他法他施策の理解、相談援助技術の向上に努めました。

また、生活福祉資金貸付コーナー、福祉人材バンクの職員その他、任意事業受託団体の職員にも参加を呼びかけ、実施しました。

#### ①相談・就労支援員連絡会

実施日	人員	会場	内容
H29. 4. 18	30 人	ウェルとばた	相談援助技術向上のための研修、事例検討、情報交換・共有等
H29. 5. 16	12 人		
H29. 6. 20	10 人		
H29. 7. 19	40 人		
H29. 8. 21	10 人		

H29. 9. 19	13 人		
H29. 10. 17	11 人		
H29. 11. 21	10 人		
H30. 1. 16	10 人		
H30. 2. 20	11 人		
H30. 3. 20	10 人		
計	167 人	11 回	

② 自立相談支援事業従事者研修

実施日	人員・会場	内容
H29. 7. 31 ～H29. 8. 2	相談支援員 1 人 全国社会福祉協議会灘尾ホール	【前期】相談支援員養成研修
H29. 12. 6 ～H29. 12. 8	相談支援員 1 人 全国社会福祉協議会中央福祉学院	【後期】相談支援員養成研修

③ 自立支援事業従事者研修【講師として派遣】

実施日	人員・会場	内容
H30. 1. 26	相談支援員 1 人（講師） 福岡西総合庁舎	生活困窮者自立支援従事者研修

④ 担当者会議

実施日	人員・会場	内容
H30. 2. 23	相談支援員 1 人 全国社会福祉協議会	平成29年度 都道府県・指定都市社会福祉協議会 生活困窮者自立支援事業担当者会議

## 2 自立相談支援機関の運営に関わる業務

### (1) 相談支援業務

「生活困窮者自立相談支援事業実施要綱」に基づき相談支援業務を行いました。

### (2) 業務の進捗状況の報告及び打ち合わせ

主任相談員（行政のいのちをつなぐネットワーク担当係長）と、業務の進捗状況や業務内容等を報告し、連携を深めました。

### (3) 支援調整会議

支援調整会議設置運営要項に則して実施される支援調整会議に参画し、作成した支援計画の適切性等について協議し、関係機関と支援内容を共有しました。

区	参加回数	人員（延べ数）	協議件数
小倉北	5 回	57 人	62 件
小倉南	11 回	126 人	212 件
八幡東	1 回	13 人	7 件

### 3 成果

#### (1) 生活困窮者の自立と尊厳の確保

本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活や社会生活の自立など本人の状態に応じた自立を支援するよう努めました。

また、他の制度で対応可能と思われるものについては、適切につなぎ、必要に応じてフォローしました。

#### (2) 困窮者支援を通じた地域づくり

困窮者の早期把握や見守りのため、以下のような場を活用し、地域の関係機関・団体との連携に努めました。

- 市社協課長・区社協事務局長会議（毎月）
- 市・区社協地域福祉活動担当国会議（1回）
- 校(地)区社会福祉協議会連絡調整会議（適宜）
- 地域支援コーディネーター養成研修（2回）
- 新任福祉協力員等研修（各区1回）
- 市・区・地区民生委員児童委員協議会定例会（適宜）
- 民生委員・児童委員研修（適宜）

#### 4 相談受付支援状況

【相談受付総数と性別、年齢、相談経路（本人特定のみ、本人同意なしを含む）】

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	年間計		
受付総数（人）		86	262	249	57	136	303	45	1,138		
（%）		7.6	23.0	21.9	5.0	11.9	26.6	4.0	100.0		
内訳	性	男性	44	145	111	30	77	169	16	592	52.0%
		女性	42	117	131	26	59	133	27	535	47.0%
		不明	0	0	7	1	0	1	2	11	1.0%
	年齢	10代	3	1	2	0	1	4	0	11	1.0%
		20代	10	27	28	6	7	29	3	110	9.7%
		30代	14	34	45	7	15	62	3	180	15.8%
		40代	11	55	45	10	30	66	12	229	20.1%
		50代	18	47	35	17	22	50	12	201	17.6%
		60～64歳	6	21	12	3	15	32	2	91	8.0%
		65歳～	15	77	55	9	44	57	9	266	23.4%
		不明	9	0	27	5	2	3	4	50	4.4%
	計	86	262	249	57	136	303	45	1,138	100.0%	
	相談経路	本人/来所	28	204	91	35	79	151	18	606	47.0%
		本人/電話・メール	7	4	19	4	0	29	2	65	5.1%
		家族・知人/来所	3	7	9	2	10	9	2	42	3.3%
家族・知人/電話・メール		2	3	4	0	2	1	1	13	1.0%	
いのちネットコーナーが把握※		0	0	0	0	1	2	0	3	0.2%	
関係機関・関係者紹介		31	91	124	11	45	121	16	439	34.1%	
その他		1	1	0	1	0	48	4	55	4.3%	
不明		17	0	8	4	1	29	6	65	5.0%	
計	89	310	255	57	138	390	49	1,288	100.0%		

※「いのちネットコーナーが把握」は、いのちをつなぐネットワークコーナーがアウトリーチして把握した件数

【スクリーニング（支援の継続性についての判断）の状況】

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	年間計	
スクリーニング 実施ケース数		73	262	202	55	135	295	40	1,062	
内訳	情報提供・相談対応のみで終了	15	127	46	37	58	90	12	385	36.2%
	他制度・他機関等へのつなぎ	21	75	22	9	35	57	7	226	21.3%
	本人未同意、同意に向けて取り組む	0	1	0	0	6	2	2	11	1.0%
	継続支援し、プラン策定	37	59	134	9	35	145	13	432	40.7%
	スクリーニング判断前に 中断・終了	0	0	0	0	1	1	6	8	0.8%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	計	73	262	202	55	135	295	40	1,062	100.0%

## 5 共同事業体の運営

平成 28 年度より、グリーンコープ生活協同組合ふくおかと共同事業体として生活困窮者支援を行っています。業務上の課題解決や、円滑な業務運営を目的とし、会議や状況共有の場を設けています。

実施日	人員・会場	内容
H29. 5. 18	グリーンコープ 3 人 市社協 4 人 ウェルとばた	第 1 回運営委員会
H30. 2. 21	グリーンコープ 4 人 市社協 4 人 ウェルとばた	第 1 回業務会議

## ◇福祉人材バンク運営事業

福祉人材バンクでは、求人事業所と求職者とを結びつけるため、関係機関と連携を図りながら、福祉の仕事に関する相談や無料の職業紹介を実施しています。

求人及び求職状況は、前年度に比べ求人数は増加の一方、求職者数は減少しており、平成 19 年度から実施している「福祉のしごと合同面談会」においても来場者数が減少しています。現在の雇用情勢における人材確保の難しさや、多様化・複雑化してきた福祉ニーズへの人材のマッチングが課題となっています。

また、介護福祉士やホームヘルパー等の資格を有しながら、介護職に就労していない潜在的な介護有資格者や、他分野からの離職等で介護現場への就労を希望する方を対象とした「介護のしごと就労支援セミナー」を行い、実技を中心に即戦力としての福祉人材の掘り起こしや育成に努めました。

### 1 求人・求職等取扱状況

求人件数	求人数	求人相談件数 *1	求職者数	求職相談件数 *1	紹介数	応募数	採用数	採用率 *2
999	2,675	3,625	328	1,495	61	5	25	37.9%

\*1: 相談件数には、情報提供数を含む。 \*2: 採用率=採用数/紹介数と応募数の和。

有効求人件数	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率*3
2,901	7,919	1,100	7.20

\*3: 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数

#### 【求人・求職等取扱状況の推移】

年度	求人件数	求人数	求人相談件数 *1	求職者数	求職相談件数 *1	紹介数	応募数	採用数
H25 年度	741	2,165	5,375	647	4,151	162	194	52
H26 年度	863	2,384	3,848	503	1,160	64	62	36
H27 年度	902	2,284	4,594	395	728	69	74	24
H28 年度	934	2,586	3,636	372	2,031	80	32	49
H29 年度	999	2,675	3,625	328	1,495	61	5	25

### 2 「福祉のしごと 合同就職面談会 in 北九州」の開催

実施日	人員・会場	内容
H29. 8. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求職者 67 人</li> <li>・求人施設等 65 法人</li> <li>・採用数 8 人</li> </ul> ウェルとばた	求人事業所と求職者との面談 求職相談・登録 福祉の資格相談 京築地区福祉人材バンク 求職登録受付 (8 月のみ)
H29. 11. 17 ～ H29. 11. 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求職者 85 人</li> <li>・求人施設等 74 法人</li> <li>・採用数 6 人</li> </ul> 西日本総合展示場	
計 (2 回)	求職者 152 人、求人施設等 139 施設、採用数 14 人	

【福祉のしごと 合同就職面談会 in 北九州 実績の推移】

年度	参加施設	求人件数	求人数	来場者数	紹介数	採用数
H25 年度	100	373	1,151	309	97	19
H26 年度	101	358	1,043	175	36	16
H27 年度	101	356	917	161	44	16
H28 年度	122	441	1,203	156	56	24
H29 年度	140	524	1,334	152	39	14

### 3 行政・関係機関との連携

- ・厚生労働省（事業の後援）
- ・中央福祉人材センター（事業支援、システム研修等）
- ・福岡県内福祉人材センター・バンク（事業の共催、県合同就職面談会への職員派遣等）
- ・北九州市（事業の共催・協力：合同就職面談会、介護の職場出前授業等）
- ・高齢者就業支援センター、シティハローワーク（情報提供）
- ・福岡労働局（事業報告等）
- ・北九州地域ハローワーク（求人情報の提供、面談会の後援と相談員の派遣）
- ・北九州商工会議所（面談会の後援）
- ・ハローワーク小倉（毎月第2火曜日 福祉人材バンク出張相談窓口開設）

### 4 労働環境の整備の推進

民間社会福祉事業従事者を対象とした職場のメンタルヘルス研修会の開催【再掲】

実施日	人員・会場	内容
H29. 9. 5	47 人 ウェルとばた	<p>【テーマ】 『「怒り」の感情コントロール～アンガーマネジメントのすすめ～』</p> <p>【講師】 一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメントファシリテーター 白石 裕子</p>

### 5 広報・啓発活動

#### (1) 定期的な情報提供

- ・求職者へ求人情報を送付（毎月1回）
- ・各団体及び求職者へ各種イベント等の案内を送付

- (2) 福祉資格等の取得促進支援
- ・福祉資格取得及び研修受講について情報収集し、相談者に提供
- (3) 求人事業者・求職者の開拓
- ・福岡県内福祉系学校、普通科校、総合大学への案内
  - ・北九州市内社会福祉事業者への案内
- (4) 各種媒体の積極的活用
- ・広報紙への掲載（市政だより、市社協だより等）
  - ・市社協ホームページへの掲載
  - ・市社協 F a c e b o o k への掲載
  - ・福祉人材情報システム「福祉のお仕事」
  - ・新聞広告掲載（読売新聞、毎日新聞：908,000部）
  - ・求人情報紙「パコラ」広告掲載（216,170部）
  - ・FMラジオ出演
    - クロスFM「イブニングライン北九州」 8/22、11/10 放送
  - ・デイリーニュース（J-COM） 8/29 放送
  - ・サンデー北九州 10/21 掲載
  - ・60歳以上の人向け しごと・ボランティア合同説明会でのブース出展、求職登録受付
- (5) 印刷発行物
- ・合同就職面談会（チラシ 13,000部、ポスター800枚）
  - ・就労支援セミナー（チラシ 8,000部、ポスター600枚）

## 6 潜在的有資格者等就労支援事業「介護のしごと就労支援セミナー」の開催

実施日	人員・会場	就職者数	内容
H29. 7. 5 ～ H29. 7. 7 H29. 7. 14	11人 ウエルとばた	2人	【講義：3日間】 介護保険制度の概要、労働法令の基礎知識、介護技術実技実習、介護現場に求められる人材、認知症高齢者について、好感度アップの面接マナー等  【施設見学：1日間】 1人2カ所の介護事業所を見学
H30. 2. 7 ～ H30. 2. 9 H30. 2. 16	11人 ウエルとばた	2人	
計（2回）	22人	4人	



# ◇潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業

平成28年4月から、保育士の安定的な人材の確保を図るため、「保育士資格を持ち、かつ、現在保育士として勤務していない方」、「1年以上保育士として働いていない方」を対象に、保育士としての再就職を支援する資金貸付事業を開始しました。

福祉人材の確保に資する取組みとして、福祉人材バンクに貸付相談窓口を設け、事業実施しました。

## 1 貸付の内容と実施状況

### (1) 潜在保育士の再就職支援資金の貸付

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することとなった場合に、就職準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
23件	7,710,768円

### (2) 未就学児をもつ潜在保育士の保育所復帰支援資金の貸付

未就学児をもつ潜在保育士が保育所等に勤務することとなった場合に、当該未就学児に係る保育所等の保育料の一部の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
45件	9,077,275円

# ◇ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

平成 29 年 7 月から、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的に、高等職業訓練促進資金貸付事業を開始しました。

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学する方で、将来取得する資格が必要な業務に従事しようとする方に対して資金を貸し付け、その就学を容易にすることにより資格取得の促進を図っています。

## 1 貸付の内容と実施状況

### (1) 入学準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、資格の取得のために養成機関へ入学することになった場合に、入学準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
52 件	25,758,000 円

### (2) 就職準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、養成機関の課程を修了し、取得した資格が必要な業務に従事する場合、その就職に必要な準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
9 件	1,800,000 円

# ◇介護サービス相談員派遣事業

介護サービスの質の向上を図ることを目的として、介護サービス相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービス等に関する相談を受け、相談者に代わり事業者へサービス向上、改善に結びつく提案などを行いました。

平成29年度は、新規に22カ所の事業所へ派遣を行い、合計107カ所へ相談員を派遣しました。

この拡大に伴い、介護サービス相談員（有償ボランティア）の対応力の向上、利用者の生活の向上を支援するため、相談員の連絡会を4回開催しました。第3回連絡会では、介護サービス事業所の視察研修を行いました。

平成28年度より地域密着型デイサービスの運営推進会議に介護サービス相談員が参加することになりました。今年度は市から委託された139事業所中参加依頼のあった168件のうち150件の運営推進会議に参加しました。

また、介護サービス相談員派遣事業事務局担当者が市町村介護相談員等事業事務局担当者研修に参加し、介護保険最新情報や不適切ケアや身体拘束などについて学びました。

## 1 訪問・相談等実施状況

施設種別	訪問		話を聞いた		相談件数						気づき 伝えた 事業所 件数に
					事業所に伝えた 件数			相談者の希望に より伝えなかった 件数			
	回数	時間	人数	件数	つ い に 利 用 者	つ 施 い 設 て に	そ の 他	つ い に 利 用 者	つ 施 い 設 て に	そ の 他	
介護老人福祉施設	469	966:43	5,766	13,688	15	23	2	0	2	0	50
介護老人保健施設	49	104:30	789	2,052	14	20	2	0	0	1	9
認知症対応型共同生活介護	562	1007:30	4,068	12,848	13	8	0	0	1	0	46
介護療養型医療施設	36	66:20	177	983	0	1	0	0	0	0	6
小規模多機能型居宅介護	200	204:30	1,292	3,497	2	0	1	0	0	0	8
計	1,316	2349:33	12,092	33,068	44	52	5	0	3	1	119

## 2 過年度派遣事業の推移

実施年度	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	通所介護	通所リハビリテーション	認知症対応型共同生活介護	介護療養型医療施設	小規模多機能型居宅介護	合計 (カ所)	相談員数 (人)
H25年度	30	7	39	3	42	2	7	130	91
H26年度	39	6	20	3	50	2	10	130	92
H27年度	42	7	8	0	46	4	13	120	88
H28年度	44	6	0	0	51	3	17	121	94
H29年度	36	5	0	0	48	3	15	107	84

### 3 新規派遣開始事業所

施設種別	新規派遣開始	継続派遣中	合計（カ所）
	H29. 9～	(H29. 4)	(H30. 3)
介護老人福祉施設	4	32	36
介護老人保健施設	2	3	5
認知症対応型共同生活介護	12	36	48
介護療養型医療施設	0	3	3
小規模多機能型居宅介護	4	11	15
計	22	85	107

### 4 派遣終了事業所

施設名称	派遣終了事業所数	派遣年数	派遣期間
介護老人福祉施設	3	5年	H24. 9 ～ H30. 3
認知症対応型共同生活介護	12	3年	H26. 9 ～ H30. 3
小規模多機能型居宅介護	3	3年	H26. 9 ～ H30. 3
合計	18カ所		

### 5 介護サービス相談員構成

(単位：人)

内訳	男性	女性	合計
支援員（市社協非常勤職員）	0	7	7
見守りサポーター	0	18	18
北九州市社会福祉協議会 退職職員	1	4	5
一般公募者（平成20年度より）	2	29	31
権利擁護・市民後見センター支援員	2	8	10
その他	0	13	13
計（平成29年3月末現在）	5	79	84

## 6 介護サービス相談員連絡会

実施日	人員・会場	内容
H29. 5. 22	64 人 ウェルとばた 12 階 121・122 会議室	(1) 講義 「地域包括ケアシステムについて」 北九州市保健福祉局 地域福祉推進課 地域支援係長 糸井 治子 (2) 運営推進会議について 北九州市保健福祉局 介護保険課 地域密着型サービス係長 日高 里恵 (3) 連絡事項
H29. 8. 9	58 人 ウェルとばた 2 階 多目的ホール	(1) 講義・グループワーク 「認知症高齢者への対応について」 講師 医療法人(財団)小倉蒲生病院 リハビリテーション医療部医療福祉課 伊藤 哲 (2) 講評 北九州市保健福祉局介護保険課 事業者支援係長 江口 毅 (3) 連絡事項
H29. 11. 13 H29. 11. 14 H29. 11. 16	51 人 社会福祉法人 アイユウの苑	視察内容 ・施設の概要について ・施設内の見学 ・施設担当者との意見交換
H30. 2. 22	54 人 ウェルとばた 2 階 多目的ホール	(1) 平成 29 年度永年活動功労者表彰 (2) グループ討議 (3) 運営推進会議について 北九州市保健福祉局介護保険課 地域密着型サービス係 (4) 連絡事項
計	4 回 (227 人)	

## 7 研修・報告会

実施日	人員・会場	内容
H29. 7. 12	1 人 私学学館 アルカディア市ヶ谷	平成 29 年度 市町村介護相談員派遣等事業事務局担当者研修 【研修内容】 (1) 介護保険最新情報 (2) 介護相談員派遣等事業について (3) 介護の質-不適切ケアが身体拘束を生む-

		(4)平成 28 年度「身体拘束及び高齢者虐待の未然防止に向けた介護相談員の活用に関する調査研究」事業報告 (5)相談記録票と活動報告書の作成 (6)質疑応答
H29. 11. 10	1 人 砂防会館 別館 1 階 シェーンバッハ・サボー	平成 29 年度 全国介護相談活動事例報告会 (1)介護相談員永年活動功労者表彰 (2)介護相談員派遣等事業の現状報告 (3)「認知症のご本人に聴く ～認知症パートナーとともに～」 (4)記念講演 「平穏な最後 ～特養で看取る～」

#### 8 運営推進会議の参加状況

実施年度	事業所数	運営推進会議 参加依頼件数	運営推進会議 出席件数	参加率
H28 年度	143 箇所	76 件	68 件	90%
H29 年度	139 箇所	168 件	150 件	89%

## ◇認知症サポーターキャラバン事業

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーター養成講座の開催や講座の講師役となるキャラバン・メイトの新規養成等を行い、認知症になってもみんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくりを目指すとともに、地域・職域においてのサポーター活動の支援を行いました。

平成29年度は、認知症サポーター養成講座受講者7,380人、認知症サポーターステップアップ研修受講者521人、合計受講者7,901人、平成29年度末現在の認知症サポーターの累計が80,581人となりました。

### 1 認知症サポーター養成講座実施状況

受講団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校(地)区社協	18回	744人
	社協関係	33回	1,038人
	その他	79回	1,841人
企業		58回	1,972人
学校		16回	819人
行政		36回	966人
計		240回	7,380人

### 2 認知症サポーターステップアップ研修実施状況

団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校(地)区社協	1回	45人
	社協関係	3回	96人
	その他	6回	237人
企業		3回	51人
学校		0回	0人
行政		4回	92人
計		17回	521人

### 3 認知症サポーター養成講座の広報

紹介資料・メディア等
北九州市ホームページ
社会福祉協議会のふくし出前講演「パンフレット掲載」
市社協ホームページ事業概要
市・区社協各部署
市政だより
北九州市社協だより
認知症啓発月間 街頭啓発
コムシティ入居団体
メール配信システム

#### 4 キャラバン・メイトフォローアップ研修の実施

実施日	人員・会場	内容
H29. 8. 5	58人 総合保健福祉センター	1 基調説明「本市の現状と認知症施策等について」 (講師) 認知症支援・介護予防センター 2 事業説明 「認知症サポーター養成講座の開催について」 (講師) 認知症支援・介護予防センター 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 3 事例紹介 「小学生向け認知症サポーター養成講座の実例」 (講師) キャラバン・メイト 相島 佐智子 4 説明・グループ討議 「認知症を学ぶハンドブックの改定について」他 (講師) 認知症支援・介護予防センター
H29. 12. 8	13人 ウエルとばた	・講義1「本市の現状と認知症施策等について」 「認知症サポーターキャラバン事業について」 (講師) 認知症支援・介護予防センター ・講義2「申込書の受付から開催・報告まで」 (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 ・講義3・グループワーク 「認知症サポーター養成講座の進め方」 「カリキュラムの作り方」 (講師) キャラバン・メイト 石井 朱實
H30. 3. 14	18人 ウエルとばた	・講義1「子ども向け認知症サポーター養成講座について」 (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 ・講義2「小学生向け認知症サポーター養成講座の実例」 (講師) キャラバン・メイト 荒木 美奈 キャラバン・メイト 奥水 薫 ・講義3「子ども＝未来の大人への思いを届けましよう -言葉を紡いで… -」 (講師) 北九州市社会福祉研修所 副所長 藤瀬 宗子

#### 5 一般市民向け認知症サポーター養成講座の開催

開催日	会場	キャラバン・メイト	受講人数
H29. 6. 15	ウエルとばた	基礎編：猪熊 和仁	49人
		応用編：福嶋 万里子	49人
H29. 9. 30	総合保健福祉センター	基礎編：梅田 茂	21人
		応用編：白木 千代子	20人
H29. 12. 10	八幡西生涯学習総合センター	基礎編：野村 美代子	26人
		応用編：内野 宏二	27人
H30. 2. 15	ウエルとばた	基礎編：伊藤 哲	15人



## 6 チラシの作成

名称	発行部数(計)
認知症について学ぶ講座（基礎編・応用編）チラシ	5,000 部

## 7 メール配信サービス状況

登録者数				配信回数		
男性	女性	計	前年度 より増加	行方不明者 情報	認知症関連 イベント情報	計
1,998 人	2,560 人	4,558 人	743 人	11 回	12 回	23 回

## ◇高齢者見守りサポーター派遣事業

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、住民参加型在宅福祉サービスとして「見守りサポーター」（有償ボランティア）を派遣しています。高齢者に寄り添い、見守りや話し相手などを行うことにより、高齢者と家族が安心して地域のなかで生活できるように支援しています。

見守りサポーターの活動上の課題を探るため、研修・連絡会を開催し、サポーターの不安解消と対応技量の向上に努めました。

本年度は事業の充実のために、新たにサポーター17名を加え、延べ7日の養成研修を行いました。

### 1 派遣状況等

実施年度	新規利用申請	新規利用登録数	利用登録取消	派遣延べ回数
H27年度	14	10	19	394
H28年度	9	7	15	176
H29年度	15	13	24	134

### 2 関係機関等との連絡調整

相手先	内容	申請方法	利用内容 活動内容	その他	合計
家族		5	5	0	10
サポーター		4	4	4	4
ケアマネジャー		20	20	20	60
地域包括等		12	12	12	36
その他（市民等）		2	2	1	5
計		42	42	36	120

### 3 過年度利用状況の推移

実施年度	利用登録者数	延べ利用者数	サポーター数	派遣延べ回数
H25年度	58人	119人	40人	370回
H26年度	60人	114人	50人	385回
H27年度	51人	124人	47人	394回
H28年度	46人	59人	53人	176回
H29年度	35人	55人	55人	134回

#### 4 高齢者見守りサポーターへの研修

実施日	人員・会場	内容
H29. 6. 13	21人 ウエルとばた	(講義)「ありのままに寄り添い“いま”を心で聴く」 講師：傾聴ボランティア「ひだまりの樹」 代表 毛利 暁子 ・見守りの基本である「傾聴」についての講義とロールプレイを行った。
H30. 3. 15	22人 ウエルとばた	(講義)「ユマニチュードを学び認知症高齢者への対応を学ぶ」 講師：有限会社 ふれあい家族 代表 野村 美代子 ・認知症ケアの一つである「ユマニチュード」を介護職という立場から、講義とロールプレイを行った。

#### 5 高齢者見守りサポーター養成研修

実施日	人員・会場	内容
H29. 11. 30	24人 認知症支援・介護予防センター研修室	(講義)「北九州市の現状と認知症施策について」 講師：認知症支援・介護予防センター 認知症支援担当係長 角田 貞子 (講義)「認知症の基礎知識と認知症高齢者への対応方法」 講師：いきいき良花居 代表 花田 辰江
H29. 12. 5 ～ H29. 12. 14	21人 各施設6カ所	(講義)「見守りサポーターの現状について」 講師：北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 グループホームでの施設実習(1人1回2時間)を通して、認知症高齢者への対応やコミュニケーションの取り方を学んだ。
H29. 12. 21	19人 ウエルとばた	(講義)「緊急時の対応方法」 講師：戸畑消防署 (講義)「グループワーク・施設研修発表」 講師：認知症支援・介護予防センター (連絡事項)「見守りサポーター登録説明」

## 6 事業説明・紹介

内容	回数	人員
年長者研修大学校	5回	204人
校(地)区社協関連会議	8回	470人
居宅・医療・施設	6回	6人
家族の会等	1回	20人
民生委員児童委員	6回	1,149人
住民	13回	391人
企業	3回	62人
市・区社協各部署	2回	650人
地域包括(統括)支援センター	7回	560人
その他	5回	375人
区社協だより掲載	4回	
合計	64回	3,894人

## 7 チラシ・報告書等の作成

名称	発行部数	発行日等
高齢者見守りサポーター派遣事業(リーフレット)	4,000	H29. 5. 11

## 8 利用登録者意向確認調査

実施日	対象者	回答数(電話回答含む)	未回答数	回答率
H30. 2. 2	33	27	6	82%
(調査結果概要) 今回は登録者(平成29年度新規登録者と現在利用中の方を除く)を対象にアンケートを実施した。 1. 未利用の理由として、①介護保険で対応7人(26%) ②家族の介護で対応3人(11%) ③状態が落ち着いている2人(7%) ④施設入所8人(30%) ⑤その他7人(26%) 2. 今後の利用については、①すぐに利用再開1人(4%) ②しばらくして利用0人(0%) ③いまのところ利用の予定なし15人(55%) ④取消希望 11人(41%) 利用希望があった利用者に対して4月15日より利用再開。				

## 9 サポーター意向確認調査

実施日	人員	更新	辞退
H30. 1. 30	63人 (H30. 3. 31 現在)	55人 (H30. 4. 1 現在)	8人

## ◇高齢者地域交流支援通所事業

高齢者地域交流支援通所事業は、平成 12 年から北九州市より受託し実施している事業です。市内に居住する在宅の 65 歳以上の高齢者のうち、要介護状態等となる恐れの高い状態にあると認められる方に対し、介護予防や自立支援のためのプログラムを提供することを目的に、市内 50 ヶ所の市民センターにおいて実施しました。

特徴的な取り組みは、運動指導士による「運動器の機能向上」、管理栄養士による「栄養改善」、歯科衛生士による「口腔機能向上」を複合的に行う介護予防プログラムで、月 2 回実施し、平均年齢 81.6 歳、約 700 人の高齢者、延べ 13,511 人の利用者が参加して体力年齢の維持向上に努めました。

プログラムについては、今年度から利用者が企画・立案を行い実施する自主企画というプログラムを実施することで、より主体的に利用者が参加できるよう努めました。各市民センターのプログラムの実施状況等は毎月のミーティングで担当指導員が把握し、適切な助言・指導を行うとともに、危機管理等の各市民センターの課題では、ミーティングや支援員会議、年 2 回の現任研修等を通じて留意事項や適切な対応策を確認し、共通認識の醸成等を図りました。

また、支援員や指導員が普段から利用者の認知機能の低下予防やうつ予防の観点から利用者の状況把握に努め、きめ細かい見守りや助言を行うことで、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進しました。

### 1 年間利用状況

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
門司区 ⑦	小森江西	93	16	1,307	0	1,307	14.1
	清見	93	8	752	0	752	8.1
	白野江	91	14	1,022	0	1,022	11.2
	錦町	92	11	867	0	867	9.4
	萩ヶ丘	93	14	1,067	114	953	11.5
	松ヶ江北	94	17	1,323	173	1,150	14.1
	丸山	92	9	687	0	687	7.5
小倉北区 ⑨	足原	93	8	725	0	725	7.8
	足立	93	18	1,253	0	1,253	13.5
	今町	90	20	1,329	108	1,221	14.8
	清水	94	21	1,727	85	1,642	18.4
	寿山	93	15	1,236	0	1,236	13.3
	中島	93	12	995	0	995	10.7
	西小倉	90	10	843	0	843	9.4
	南小倉	94	10	589	48	541	6.3
	井堀	94	9	951	0	951	10.1
小倉南区 ⑨	長行	93	12	982	79	903	10.6
	葛原	93	14	1,192	338	854	12.8
	曾根	93	22	1,861	159	1,702	20.0

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
小倉南区 ⑨	長尾	93	15	894	209	685	9.6
	貫	94	8	697	0	697	7.4
	東朽網	92	14	1,140	232	908	12.4
	守恒	92	11	748	14	734	8.1
	湯川	92	13	1,047	184	863	11.4
	若園	92	15	1,225	260	965	13.3
若松区 ⑤	赤崎	94	13	889	0	889	9.5
	高須	91	9	640	0	640	7.0
	深町	94	13	927	79	848	9.9
	二島	94	10	821	0	821	8.7
	若松中央	93	10	772	54	718	8.3
八幡東区 ⑤	枝光	89	13	897	63	834	10.1
	枝光南	92	9	707	140	567	7.7
	尾倉	92	12	928	0	928	10.1
	槻田	89	15	983	190	793	11.0
	前田	93	17	1,384	0	1,384	14.9
八幡西区 ⑪	青山	94	21	1,552	163	1,389	16.5
	赤坂	89	12	728	0	728	8.2
	浅川	94	18	1,127	0	1,127	12.0
	池田	91	12	1,007	0	1,007	11.1
	永犬丸	92	21	1,432	0	1,432	15.6
	大原	92	18	1,200	0	1,200	13.0
	楠橋	92	30	2,375	174	2,201	25.8
	木屋瀬	89	15	1,106	85	1,021	12.4
	塔野	91	18	1,342	95	1,247	14.7
	鳴水	91	13	931	0	931	10.2
	本城	94	10	796	52	744	8.5
戸畑区 ④	大谷	92	14	864	0	864	9.4
	浅生	93	7	751	0	751	8.1
	中原	93	12	997	0	997	10.7
	牧山東	92	12	983	0	983	10.7
計 (50 館)		4,616	690	52,598	3,098	49,500	11.4

## 2 過年度利用状況の推移

実施年度	実施館数	登録者数	延実施日数	延利用者数	平均 利用数
H25 年度	50	682	4,696	51,406	10.9
H26 年度	50	703	4,649	52,262	11.2
H27 年度	50	714	4,688	53,765	11.5
H28 年度	50	703	4,583	53,046	11.6
H29 年度	50	690	4,616	52,598	11.4

## 3 介護予防プログラム

内容	1館あたりの 年間回数	延実施回数	延参加者数
運動器の機能向上プログラム	20	1,000	11,292
栄養改善プログラム	2	100	1,125
口腔機能向上プログラム	2	100	1,094
計	24	1,200	13,511

## 4 研修会

実施日	人員・会場	内容
H29. 4. 7 ～H30. 3. 22 の間で延べ 26回	29人 (対象：新採職員) 市民センター	平成29年度支援員新任者研修 (1) 北九州市社会福祉協議会について (2) 市民センターについて (3) 高齢者地域交流支援通所事業について (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
H30. 2. 13 H30. 2. 14	148人 ウェルとばた	平成29年度支援員現任研修 ・講義1 「高齢者地域交流支援通所事業利用者への支援 - 認知症機能や運動機能低下への配慮 -」 (講師) 福岡教育大学 教授 中村 貴志 ・講義2 「応急処置と救急要請の見極めについて」 (講師) 戸畑消防署
計 (28回)	177人	

## 5 会議

会議名	実施回数	内容
生活福祉課定例会	12回	概ね毎月1回、事務局、指導員による事業運営に関する連絡調整、事例検討、情報交換・共有等

支援員会議 (会議形式)	2回	50センターをブロックに分けての、事務局、指導員、支援員による情報交換、連絡調整等
ミーティング	600回	指導員と支援員による業務調整の月例ミーティング(各市民センター月1回、2時間程度)
計	614回	

## 6 全体行事

### 「年長者作品展」

区	実施日	会場	内容
門司	H29. 10. 12 ～H29. 10. 14	旧大連航路上屋 多目的スペース	高齢者地域交流支援通所事業のプログラムの中で、利用者が製作した様々な作品を、各区社協主催の「年長者作品展」に出展
小倉南	H29. 8. 29 ～H29. 9. 2	小倉南生涯学習センター 2階 展示コーナー	
若松	H29. 10. 30 ～H29. 11. 1	若松区役所 1階ロビー・3階特別会議室	
八幡東	H29. 9. 4 ～H29. 9. 8	八幡東区社会福祉センター 3階 研修室	
八幡西	H29. 9. 19 ～H29. 9. 23	コムシティ3階 北九州市立美術館黒崎市民 ギャラリー	
戸畑	H29. 9. 23 ～H29. 9. 28	戸畑生涯学習センター 1階 市民ギャラリー	
計		6回	

## 7 指導員による業務支援

種別	回数	内容
指導員の話	178回	指導員による共通テーマの出前講演プログラム 〔主なテーマ〕介護予防、共同募金、高齢者のための 便利なサービス等
プログラム運営支援	245回	臨時的事業や介護予防プログラム等の支援及び補助、 定期的な巡回による相談対応、助言等
訪問指導	2,480回	庶務・経理事務指導、事故処理、情報伝達等の事業 運営に必要な事務連絡及び調整
代替業務	84回	支援員の休務の際のバックアップ
計	2,987回	



## 8 各種交流事業

種別	回数	人員	内容
世代間交流	8回	105人	そうめん流し、レクリエーション、誕生会、かるた取り 他
地域・団体との交流	213回	2,846人	センターまつり、文化祭、避難訓練、クリスマス会、ペタンク大会 他
ふれあい昼食交流会	119回	1,192人	食生活改善推進員の実施する「ふれあい昼食交流会」に参加し、地域の高齢者との交流を図る。
計	340回	4,143人	

## 9 実習生の受け入れ

実施日	人員・会場	内容
H29. 5. 26 H29. 5. 29 H29. 7. 3 H29. 7. 13 H29. 7. 14	九州歯科大学学生 25人 市民センター	九州歯科大学実習生の受入 ・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加
H29. 7. 6 H29. 7. 6	小倉南看護専門学校生12人 市民センター	小倉南看護専門学校実習生の受入 ・実習「高齢者地域交流支援通所授業」への参加
H29. 9. 1 H29. 9. 6	大学生12人 ウェルとばた 市民センター	平成29年度相談援助実習 ・講義「生活福祉課事業概要」について ・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加 (県内の7大学より受け入れ)
計	49人	

## 10 支援員面接選考

実施日	会場	内容
H29. 6. 20 ～H30. 3. 7 の間で延べ9回	各市民センター	一般公募により応募のあった候補者に対し、選考委員会（市民センター館長、まちづくり協議会、市社協で構成）を設けて面接選考試験を実施

## 11 広報・啓発

内容	実施回数
市民センターだより掲載、各種交流事業等での事業紹介	16回
市民センターだより掲載、各種交流事業等でのPRによる利用者募	11回
市民センターだより掲載、チラシ配布、ポスター掲示による支援員	14回
計	41回

# ◇健康マイレージ事業

健康マイレージ事業は、生涯を通じた健康づくりを推進するため、40歳以上の市民を対象に、介護予防・生活習慣改善等の取り組みや各種健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを健康グッズと交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進することを目的としています。

この事業は、平成21年度から始まりましたが、当初3年間は市が直接実施し、平成24年度から社協が受託しました。本年度については、応募ポイントの変更などがありましたが20,573人の方のご応募をいただきました。

その具体的な取り組みとして、ポスター等の広報啓発物を用いたPRや職員による出前形式の事業説明を延べ2,045回実施するとともに、ホームページでのブログの更新、社協だよりや市民センターだよりなど広報紙への掲載、本会賛助会員企業を主体とした民間企業へのPRなど、社協の組織力を十分に活用した幅広い活動を行いました。

また、校(地)区社協の福祉協力員等を主体に、見守り対象者への健康づくり活動等への参加の呼びかけを行い、「ふれあいネットワーク活動」の充実強化に努めました。

## 1 実施状況

### (1) 実施期間

- ① 準備期間：平成29年4月1日～平成29年5月31日
- ② ポイント配付期間：平成29年6月1日～平成30年3月5日
- ③ 対象事業期間：平成29年6月1日～平成30年3月5日
- ④ 応募受付期間：平成29年10月1日～平成30年3月5日

### (2) 広報・啓発活動等実施実績

#### ① 事業説明・パンフレット等配布実績

項目	H29年度	H28年度	増減
事業説明回数	2,045回	1,727回	318回
パンフレット配布数	221,092部	254,869部	▲33,777部
ポイントシール配付数	484,781部	533,929部	▲49,148部
対象事業一覧表配布数	3,189部	7,758部	▲4,569部

#### ② 広報紙等への掲載回数実績

掲載紙の種別	H29年度	H28年度
市政だより・区役所の発行する広報紙	9回	7回
市民センターだより	341回	328回
市社協・区社協・校(地)区社協の発行する広報紙	24回	47回
その他の地域団体、企業が発行する広報紙	4回	7回
新聞・フリーペーパー	0回	0回
計	378回	389回

- ③ ホームページへの掲載（対象事業一覧表、活動報告等） 72 回  
 ④ ブログ『マイレージ通信』への掲載 42 回  
 ⑤ ブログ『マイレージ通信』へのアクセス回数 2,011 回  
 ⑥ のぼり（大）作成 70 枚  
 ⑦ コーディネーター等によるイベント・事業でのPR活動

実施日	会場	人員	イベント・事業名
H29.10.22	ウェルとばた	10 人	社会福祉大会・市民ふれあいフェスティバル
H29.11.23	西日本総合展示場	4 人	第7回健康フェア
計	2 回	14 人	

(3) 対象事業登録実績

区分（事業登録者）	H29 年度	H28 年度	増減
行政	150	173	▲23
保健福祉局	40	44	▲4
健康推進課	20	22	▲2
長寿社会対策課	3	4	▲1
障害福祉課	0	0	0
介護保険課	0	0	0
その他	17	18	▲1
門司区役所	8	10	▲2
小倉北区役所	6	10	▲2
小倉南区役所	4	5	▲1
若松区役所	9	15	▲6
八幡東区役所	17	28	▲11
八幡西区役所	2	6	▲4
戸畑区役所	10	8	2
その他の市関係局	54	47	7
関係団体等	129	120	9
体育協会・レクリエーション協会	47	44	3
三師会	9	8	1
各種講座・教室（カルチャーセンター等）	73	68	5
スポーツクラブ	4	5	▲1
市社協	60	59	1
企業	16	35	▲19
地域住民事業（区・校区社協含む）	4,139	4,220	▲81
門司区	439	428	11
小倉北区	541	562	▲21
小倉南区	917	835	82
若松区	384	408	▲24
八幡東区	355	347	8

	八幡西区	1,176	1,272	▲96
	戸畑区	327	368	▲41
市民センター		2,538	3,181	▲643
	門司区 (19)	429	445	▲16
	小倉北区 (22)	350	450	▲100
	小倉南区 (24)	447	605	▲158
	若松区 (10)	206	231	▲25
	八幡東区 (13)	244	322	▲78
	八幡西区 (33)	685	893	▲208
	戸畑区 (12)	177	235	▲58
計		7,036	7,793	▲757

※市民センターの（ ）内は、サブセンターを含むセンター数

#### (4) 校(地)区社協による啓発活動実績

活動期間：平成29年6月1日～平成30年2月28日

区社協	校(地)区社協数	啓発活動回数合計(回)					活動費交付額(円)
		事業登録	連絡調整	広報	参加促進	計	
門司	21	720	341	459	2,386	3,906	1,050,000
小倉北	25	539	563	593	2,801	4,496	1,250,000
小倉南	27	847	623	455	3,104	5,029	1,334,500
若松	14	212	251	271	1,314	2,048	750,000
八幡東	21	262	327	211	7,508	8,308	1,050,000
八幡西	33	951	953	1,345	4,163	7,412	1,650,000
戸畑	14	193	266	211	1,575	2,245	700,000
計	155	3,724	3,324	3,545	22,851	33,444	7,734,500

## 2 応募者実績

### (1) 応募件数推移

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
応募総数	21,050	25,166	27,751	22,236	20,959
有効件数	20,560	24,579	27,104	21,750	20,573
無効件数	490	587	647	486	386
前年比 (有効件数)	132%	120%	110%	80%	94.6%
目標達成率	103%	123%	108%	72.5%	68.5%

※無効件数は、年齢非対象、重複応募等、内容未記入等のもの。

※達成率の応募者目標は、平成21～26年度は20,000人を分母とする。平成27年度は25,000人を分母とする。平成28～29年度は30,000人を分母とする。

ア 性別応募者実績

性別	H29 年度	H28 年度	増減	前年比
男性	6,497	6,976	▲479	93%
女性	14,076	14,774	▲698	95%
計	20,573	21,750	▲1,177	95%

イ 区別応募者実績

区等	H29 年度				H28 年度 (計)	増減	前年比
	男	女	計	割合			
門司	728	1,629	2,357	12%	2,465	▲108	96%
小倉北	888	2,153	3,041	15%	3,077	▲36	99%
小倉南	1,411	2,764	4,175	20%	4,318	▲143	97%
若松	491	1,179	1,670	8%	1,788	▲118	93%
八幡東	572	1,168	1,740	9%	2,030	▲290	86%
八幡西	1,873	3,955	5,828	28%	6,293	▲465	93%
戸畑	509	1,214	1,723	8%	1,754	▲31	98%
市外	25	14	39	0%	25	14	156%
計	6,497	14,076	20,573	100%	21,750	▲1,177	95%

※市外の応募者は、市内在勤の本人確認をした人数を計上。

ウ 年齢別応募者実績

年齢	H29 年度			
	男	女	計	割合
40～49 歳	548	1,139	1,687	8%
50～59 歳	569	1,139	1,708	8%
60～64 歳	367	971	1,338	7%
65～69 歳	973	2,402	3,375	16%
70～74 歳	1,388	3,133	4,521	22%
75～79 歳	1,500	2,844	4,344	21%
80 歳～	1,152	2,448	3,600	18%
計	6,497	14,076	20,573	100%

エ 健診別応募者実績

種別	H29 年度	H28 年度	増減	前年比
特定健診	6,460	7,316	▲856	88%
その他の検診	21,802	23,104	▲1,302	94%
計	28,262	30,420	▲2,158	93%

※その他は、職場の健診、後期高齢者健診、肝炎ウイルス検査、  
脳ドック、骨粗しょう症検診、歯周病(歯周疾患)検診、人間ドック、がん検診、  
P E T健診、被爆者検診

オ 景品別応募者実績

ポイント	景品名	発送数(件)	割合
10	健康飲料4種セット	4,042	20%
	シャボン玉石けんオリジナル詰め合せセット	1,933	9%
	調味料3本セット	2,903	14%
	DHC薬用ハンドクリーム	1,231	6%
	フリースブランケット	349	2%
	福岡県産米ひのひかり	6,479	31%
	くろがね羊羹2本セット	1,552	8%
	LEDライト付ルーペ	2,084	10%
計		20,573	100%

(2) 応募者アンケートの実施

アンケート数	回収数	回収率
1,500 件	855 件	57%

3 コーディネーター等業務連絡会議の開催実績

実施日	人員	会場	内容
H29. 4. 11	19 人	ウェルとばた	効果的な事業運営のための調整、課題協議、企画検討、業務報告、情報交換・共有等
H29. 5. 9	19 人		
H29. 6. 6	19 人		
H29. 7. 11	19 人		
H29. 8. 8	19 人		
H29. 9. 5	17 人		
H29.10.10	19 人		
H29.11. 7	18 人		
H29.12. 5	19 人		
H30. 1. 9	19 人		
H30. 2. 6	19 人		
H30. 3.26	19 人		
計	225 人		

## ◇地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業は、判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利と財産を守る事業として平成 11 年 10 月にスタートして以来、これまでに 1,000 人を超える方々の支援を行ってきました。利用者の預金通帳をお預かりして金銭管理を支援することで、その方が、地域で自立し、安心して生活が送れるようになることを目指しています。

平成 29 年度は、支援を必要とする対象者をこの事業へ繋げていくために出前講演を積極的に行ったところ、平成 29 年度末の実契約者数は市内全域では 320 件で、昨年比 10 件増でした。

その一方で、判断能力の著しい低下により、本事業で支えることが困難となった利用者については、親族、関係者に対して、成年後見制度への移行支援を行っています。今年度は、4 人の利用者が成年後見制度へ移行し、成年後見人等の支援のもと、安心した生活を送っています。

### 1 事業運営の適正化

- (1) 運用委員会の開催 (10 回)
- (2) 会計監査の実施 (1 回) (対象者 112 人)
- (3) 金銭管理・財産保管サービス管理状況報告書の発行 (全利用者)
- (4) 福岡県運営適正化委員会への定期報告 (1 回)
- (5) 福岡県運営適正化委員会による現地調査 (1 回)

### 2

#### 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) 北九州成年後見センター理事会への参加 (12 回)
- (2) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加 (6 回)
- (3) 北九州市障害者自立支援協議会権利擁護部会への参加 (1 回)

### 3 職員資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催 (2 回)  
第 2 回目は、「北九州市市民後見候補人」フォローアップ研修を聴講し、専門員・支援員合同研修会に充てた。
- (2) 専門員・支援員ブロック会議の開催 (1 回)
- (3) 専門性を高めるための研修会への参加 (7 回)

### 4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」(20 回 参加者 748 人)
- (2) 他団体が開催する研修会等への講師等派遣 (1 回 研修参加者 9 人)
- (3) らいとホームページの活用 (更新 3 回)

## 5 サービス内容

### (1) 相談

#### ア 内容 (件数)

相談内容	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	支ホーム 援ムレ ス	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
金 銭 管 理	11	13	3	13	48	16	69	0	4	19	29	1	6	232
財 産 保 全 ・ 財 産 侵 害	2	3	1	0	4	1	2	0	1	0	0	0	2	16
相 続 ・ 遺 言	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
福 祉 サ ー ビ ス へ の 苦 情	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
日 常 生 活 の 問 題	2	4	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	9
福 祉 サ ー ビ ス の 手 続 き	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	5
親 族 ・ 家 族 関 係	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5
成 年 後 見 制 度	1	11	0	1	3	0	1	0	0	2	1	0	1	21
その他 (本事業の問い合わせ)	15	38	4	13	54	17	68	0	1	25	32	2	22	291
合 計	37	75	8	27	112	34	141	0	6	47	62	3	34	586

#### イ 対象者 (件数)

相談の対象者	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	支ホーム 援ムレ ス	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
認 知 症 高 齢 者	9	38	4	24	31	1	93	0	1	31	23	0	8	263
障 害 者	身 体	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
	知 的	1	4	1	0	8	11	2	0	2	6	1	3	41
	精 神	11	7	2	0	42	19	5	0	0	10	0	4	101
難 病 患 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	4	7	2	0	6	2	4	0	0	4	9	0	10	48
合 計	25	57	9	24	87	34	104	0	3	38	48	2	25	456

#### (2) 調査および調整

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
		知的	精神		
調 査	707	100	200	87	1,094
調 整	4,689	2,368	3,953	257	11,267

#### (3) 他機関紹介

弁護士会	司 法 書士会	社会福 祉士会	消費生活 センター	行政 機関	介護支援 事業者	施 設	医療機関	その他	合 計
1	0	0	0	1	0	0	0	20	22



## (4) 契約

## ア 契約締結件数及び人数

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
		知 的	精 神		
前年度までの契約締結件数(A)	228	102	66	12	408
契約締結者数	178	72	52	8	310
財産保管	53	38	18	4	113
金銭管理・生活支援	175	64	48	8	295
本年度の契約締結件数(B)	65	9	15	3	92
契約締結者数	49	7	11	3	70
財産保管	16	4	4	0	24
金銭管理・生活支援	49	5	11	3	68
本年度の契約解除件数(C)	60	6	9	0	75
契約解除者数	46	6	8	0	60
財産保管	14	1	2	0	17
金銭管理・生活支援	46	5	7	0	58
本年度末の契約締結(A+B-C)	233	105	72	15	425
契約締結者数	181	73	55	11	320
財産保管	55	41	20	4	120
金銭管理・生活支援	178	64	52	11	305

## イ 契約者の居住区

門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	合 計
32	101	61	25	27	50	24	320

## ウ 解約理由

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
		知的障害者	精神障害者		
死 亡	28	2	3	0	33
市外へ転居	8	1	1	0	10
入院・入所	0	0	0	0	0
本人の意思	6	2	4	0	12
能力の喪失	0	0	0	0	0
管理の移管	3	1	0	0	4
合 計	45	6	8	0	59

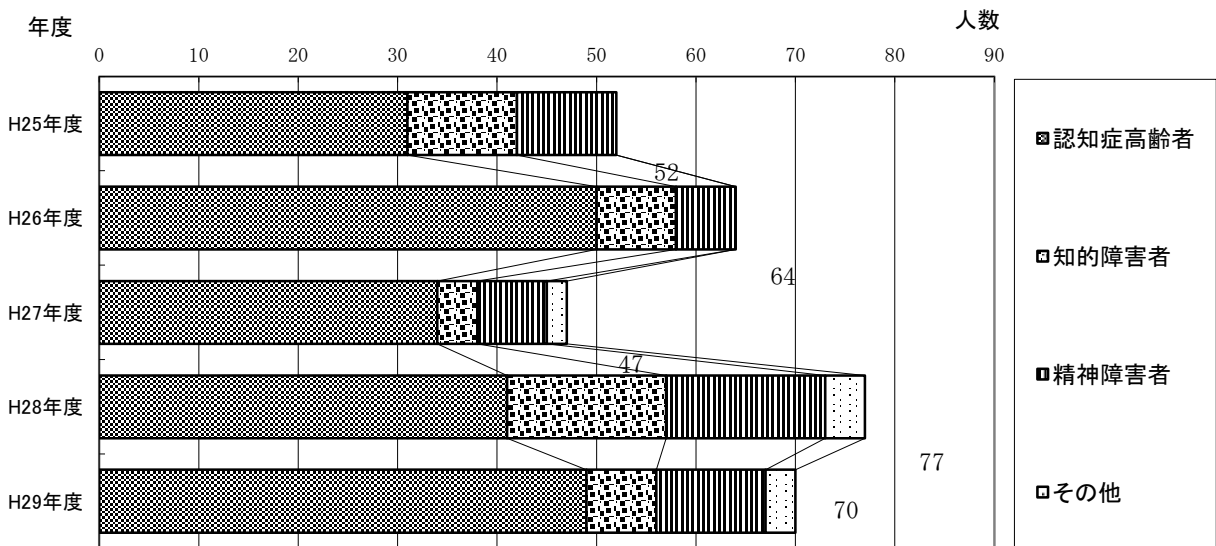
(5) サービスの実施状況

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計	
		知 的	精 神			
財 産 保 管 サ ー ビ ス	26	18	10	1	55	
金 銭 管 理 サ ー ビ ス	2,612	1,362	1,007	166	5,147	
生活支援サービス	定期訪問による見守り	2,537	1,346	1,003	166	5,052
	福祉サービスの利用状況の確認・情報提供	2,471	753	796	141	4,161
	福祉サービスの利用手続きに関すること	19	7	2	1	29
	諸手続きの同行・代行	60	31	20	0	111
	権利侵害等の問題を関係機関につなぐ	1	0	0	0	1
そ の 他	0	0	0	0	0	
合 計	7,726	3,517	2,838	475	14,556	

6 利用者の推移

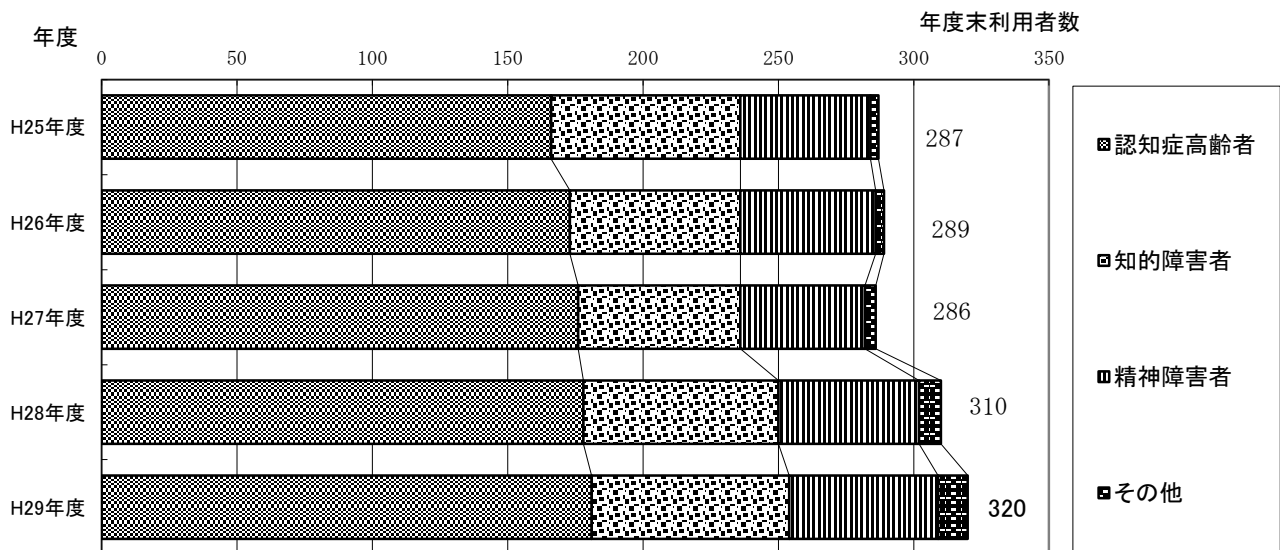
(1) 年度別契約成立者数の推移

	認知症 高齢者	知 的 障害者	精 神 障害者	その他	計	前年度比
H25年度	31	11	10	0	52	0
H26年度	50	8	6	0	64	12 (23%増)
H27年度	34	4	7	2	47	▲ 17 (27%減)
H28年度	41	16	16	4	77	30 (64%増)
H29年度	49	7	11	3	70	▲ 7 (9%減)



(2) 各年度末利用者実数の推移

	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	計	前年度比
H25年度	166	70	48	3	287	0
H26年度	173	63	50	3	289	2 (1%増)
H27年度	176	60	46	4	286	▲ 3 (1%減)
H28年度	178	72	52	8	310	24 (8%増)
H29年度	181	73	55	11	320	10 (3%増)



## ◇法人後見事業

国において、成年後見制度を利用する環境が整えられる中、成年後見制度の需要は今後さらに増大することが見込まれています。そのため、弁護士などの専門職による後見人がその役割を担うだけでなく、専門職後見人以外の市民を含めた後見人を中心とした支援体制を構築する取り組みが全国で進められています。

国が市民後見人の活動を推進する背景には、社会貢献意欲の高い市民が後見人として活躍することで、地域における市民同士の互助・共助の意識が高まることへの期待があり、本市においても、倫理観の高い市民が後見人として個人で活動できるための仕組みづくりを、市や専門職、家庭裁判所と協議しています。

一方で、本会が平成 21 年度より取り組んでいる法人後見事業では、社会貢献型市民後見人養成研修の修了生である「支援員」が、後見担当専門員等と協議しながら、市民の視点で、対象者に寄り添った後見活動を行っており、平成 30 年 3 月末現在の受任件数は 47 件（成年被後見人 32 人、被保佐人 11 人、被補助人 4 人）となっています。

また、市民を活用した本会のこの取り組みは、全国的にも注目されており、他県・市からの視察を受入れたほか、他県・市で開催される講演会等へ講師を派遣しました。

### 1 事業運営の適正化

- (1) 運用委員会の開催 (10 回) 【再掲】
- (2) 会計監査の実施 (1 回) 【再掲】 (対象者 50 人)

### 2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) 北九州成年後見センター理事会への参加 (12 回) 【再掲】
- (2) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加 (6 回) 【再掲】
- (3) 家事関係機関との連絡協議会への参加 (福岡家庭裁判所小倉支部・1 回)
- (4) 市民後見人の個人受任に向けた検討会 (13 回)

### 3 職員の資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催 (2 回) 【再掲】

### 4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」(20 回 参加者 748 人) 【再掲】
- (2) 他都市が開催する研修会等への講師派遣 (1 回 研修参加者 42 人)
- (3) らいとホームページの活用 (更新 3 回) 【再掲】
- (4) 視察の受け入れ (1 回 視察者 19 人)

### 5 法人後見事業の受任状況

- (1) 年度末受任状況 (47 件：後見 32 件、保佐 11 件、補助 4 件)

## (2) 月別新規受任状況

(単位:人)

		認知症	障害者			その	計			認知症	障害者			その	計
		高齢者	知的	精神	身体	他				高齢者	知的	精神	身体	他	
4月	後見	0	0	0	0	0	0	10月	後見	1	0	0	0	0	1
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
5月	後見	0	0	0	0	0	0	11月	後見	0	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
6月	後見	0	0	0	0	0	0	12月	後見	1	0	0	0	0	1
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
7月	後見	0	0	0	0	0	0	1月	後見	0	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
8月	後見	0	0	0	0	0	0	2月	後見	0	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
9月	後見	0	0	0	0	0	0	3月	後見	0	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
								計	後見	2	0	0	0	0	2
							保佐		0	0	0	0	0	0	
							補助		0	0	0	0	0	0	
							計		2	0	0	0	0	2	

## (3) 新規受任ケースの申立状況

(単位:人)

	後見			保佐			補助			合計
	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	
本人申立	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
親族申立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市長申立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

## (4) 年間活動回数 (1,363回)

## (5) 後見報酬請求状況

請求人数	51人 (後見36人、保佐11人、補助4人)
金額	10,230,000円

# ◇社会貢献型市民後見人養成事業

認知症や障害により判断能力が不十分な人を法的に保護する「成年後見制度」の普及に伴い、後見人不足、とりわけ専門職後見人の不足が懸念されています。そのため、地域福祉の担い手として、本人に寄り添い支援する「市民後見人」の育成とその活動の支援が全国的に進められています。

北九州市では、平成19年度より、毎年、社会貢献型「市民後見人」養成研修を開催し、これまでに7期生までの116名が全課程を修了しています。しかし、家庭裁判所が、重い責任を伴う成年後見人等として専門職でない市民を選任するためには、市民後見人の活動をサポートするしくみが不可欠で、そのしくみが整備されていない本市では、未だ個人で受任する市民後見人は誕生していません。そこで、本年度より、本会が市民後見監督人に就任し、その活動をサポートしていく社会貢献型市民後見人養成及び支援事業を開始することになりました。

そうした中、今年度は第8期社会貢献型市民後見人養成基礎研修を開催した他、第1～7期養成研修の修了生を対象としたフォローアップ研修を開催しました。

なお、修了生116名のうち49名は、個人で市民後見人として活動を行うことを希望しており、「北九州市市民後見人候補者名簿」へ登録される予定です。(平成30年4月1日登録)

## 1 社会貢献型市民後見人養成業務

### (1) 市民が担う成年後見制度～市民後見人を目指す人の講演会～

実施日	人員・会場	内容
H29. 11. 12	一般市民 62人 支援員 15人 ウエルとばた	第一部 ①講演会 「成年後見制度を考える～市民後見人への期待～」 (講師) 北九州市立大学 准教授 深谷 裕 ②活動事例発表・まとめ 権利擁護・市民後見センター 支援員 2名 第二部 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業オリエンテーション

### (2) 第8期 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業基礎研修

実施日	人員・会場	内容
H30. 1. 13	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 8人 ウエルとばた	①オリエンテーション ②高齢者を取りまく状況 (北九州市の高齢者施策) 保健福祉局長寿社会対策課 企画調整係長 村上 奈津美 ③高齢者施策 保健福祉局長寿社会対策課 在宅高齢者支援係 古木 真純 ④高齢者の理解 たつのおとしごクリニック 院長 小野 隆生

		<p>⑤認知症の理解 たつのおとしごクリニック 院長 小野 隆生</p> <p>⑥認知症への対応 北九州市認知症サポーター キャラバンメイト 野村 美代子</p>
H30. 1. 27	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 8人 ウェルとばた	<p>①介護保険制度 保健福祉局介護保険課 企画管理係長 福田 浩司</p> <p>②生活保護制度 保健福祉局保護課 保護係長 野口 英之</p> <p>③成年後見制度概論 福岡家庭裁判所 小倉支部 主任書記官 井本 久美子</p> <p>④年金と医療保険 栗原社会保険労務士事務所 社会保険労務士 栗原 徳</p>
H30. 2. 10	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 8人 ウェルとばた	<p>①市民後見概論（1） 西南女学院大学 保健福祉学部 准教授 今村 浩司</p> <p>②後見実施機関の実務（1） 北九州成年後見センター センター長 白柿 美千代</p> <p>③成年後見制度各論 清和法律事務所 弁護士 窪田 弥生</p> <p>④地域福祉・権利擁護の理念 清和法律事務所 弁護士 窪田 弥生</p> <p>⑤後見実施機関の実務（2） 権利擁護・市民後見センター 次長 南里 佳代子</p>
H30. 2. 24	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 8人 ウェルとばた	<p>①障害者を取りまく状況（北九州市の障害者施策） 保健福祉局障害福祉企画課 企画調整係長 廣渡 実和</p> <p>②障害者施策 保健福祉局障害者支援課 障害者相談支援係長 木村 智久</p> <p>③知的障害者の理解 保健福祉局地域リハビリテーション推進課 宮成 祐輔</p> <p>④知的障害者への支援 北九州市障害者基幹相談支援センター 副センター長 西坂 七恵</p> <p>⑤消費者保護について 消費生活センター消費生活係 宮前 聖香</p>

H30. 3. 10	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 8人 ウエルとばた	①精神障害者の理解 相談支援事業所「すてら」 事業所長 佐藤 みずほ
		②精神障害者への支援 相談支援事業所「すてら」 事業所長 佐藤 みずほ
		③民法の基礎（1） 平和通り法律事務所 弁護士 小鉢 由美
		④民法の基礎（2） 平和通り法律事務所 弁護士 小鉢 由美
		⑤市民後見概論（2） 権利擁護・市民後見センター 所長 河原 一雅

(3) 北九州市市民後見候補人フォローアップ研修

実施日	人員・会場	内容
H30. 2. 18	北九州市市民後見人養成研修修了者 54人 ウエルとばた	①講義 「発達障害のある人の理解と支援」 (講師) 北九州市発達障害者支援センターつばさ 相談員 金光 律子 ②講義 「障害者差別解消条例の制定について」 (講師) 北九州市障害者差別解消相談コーナー 差別解消法担当係長 秦 勝彦 ③「北九州市市民後見候補人」登録更新説明会

## 2 市民後見人管理業務

市民後見人が後見人等を務める案件の選定並びに市民後見人候補者の選定を以下のとおり業務を行った。

履行期間 平成29年10月13日～平成30年3月31日

- ア 北九州市市民後見人候補者名簿の管理（登録期間の更新、再登録または取消）
- イ 市民後見人が後見等を務めるに適する案件を選定すること。
- ウ 北九州市市民後見人候補者名簿から、イで選定した案件について後見人等を務めるに適した者を選定すること。
- エ その他関連資料の作成事務

## 3 市民後見人支援業務

実績なし（市民後見人が選任された事案が無かったため）



# ◇ボランティア振興事業

## 1 福祉教育事業

児童・生徒が将来、ボランティア・市民活動に積極的に参加する意識啓発の契機として、ボランティア活動を体験できる機会を提供するため、夏ボランティア体験学習事業を実施しています。夏ボランティア体験学習では、青少年ボランティアステーションとの協働のもと、社会福祉施設やイベント等のさまざまな形でボランティア活動を体験することで福祉の心を育んでいます。

### (1) 2017 夏ボランティア体験学習事前研修会

実施日	人員・会場	内容
H29. 7. 15 ・ H29. 7. 16	439 人 ウェルとばた	(15日・16日 各 10:00・14:00～) 「社会福祉施設での活動について」 講師：養護老人ホーム 徳寿園 園長 宮崎 浩

### (2) 2017 夏ボランティア体験学習

実施日	人員・会場	内容
H29. 7. 25 ～ H29. 8. 19	1,338 人 市内各施設および 各イベント会場	3 日間の体験学習 ・社会福祉施設体験 (434 人) ・イベント参加等、その他の活動 (904 人)
H29. 7. 29	52 人 ウェルとばた	・親子点字教室 (25 組 52 名)

### 過去 5 年実績

年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
参加人数	2,088	2,317	2,342	1,713	1,338 人

## 2 ボランティアネットワーク事業

中間支援組織間の定期的な連絡会を開催し、ボランティア・市民活動の推進役として、情報を共有するとともに、それぞれの専門性や特色を理解し、役割分担と連携を図りながら活動の幅を拡げています。また、当年度は合同研修会を実施するなど、コーディネーターのスキルアップにも取り組みました。

災害ボランティアセンターの運営に際しては、的確な被災者ニーズの把握や、ボランティアによる迅速な支援が求められているため、平成 26 年度の市域を対象とした設置・運営訓練を受け、平成 27 年度からはより被災地に近い区域での開催に取り組んでいます。

平成 29 年 7 月九州北部豪雨においては、被災直後から被災地支援活動や保険等に関する様々な相談が寄せられ、臨時開所や被災地支援のためのボランティアバスの運行などの対応にあたりました。

(1) 市域に及ぶボランティア・市民活動団体ネットワークの構築  
ア 中間支援組織連絡会の開催

実施日	人員・会場	内容
H29. 4. 26	10人 コムシティ	・各団体の紹介 ・平成29年度研修スケジュールの情報交換・情報共有
H29. 6. 28	10人 ウェルとばた	・各団体情報交換
H29. 8. 23	8人 ウェルとばた	・各団体情報交換
H29. 10. 25	6人 コムシティ	・各団体情報交換 ・障害者差別解消条例について
H29. 12. 27	7人 ウェルとばた	・各団体情報交換 ・今年のお感・来年度の抱負について
H30. 2. 28	9人 コムシティ	・各団体情報交換 ・来年度の連絡会について（方針）

イ 中間支援組織連絡会合同研修会

実施日	人員・会場	内容
H29. 11. 17	30人 コムシティ	「いま求められるコーディネーションとは」 講師：九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行

(2) 災害時の被災者支援に向けた取り組み  
ア 災害時相互協力協定にかかる連絡会議

実施日	人員・会場	機関・団体	内容
H29. 10. 31	17人 ウェルとばた	北九州市危機管理室・保健福祉局、日本労働組合総連合会・福岡県連合会北九州地域協議会、福岡県北九州地域労働者福祉協議会、エフコープ生活協同組合	・出席者紹介 報告 ・北九州市地域防災計画における関係団体の役割について ・平成29年7月九州北部豪雨にかかる被災地支援活動について協議 ・平成29年度災害ボランティアセンター設置・運営訓練について ・平成29年度北九州市総合防災訓練について ・その他

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	人員・会場	内容
H29. 11. 25	90 人 (うち職員 38 人) 小倉南生涯学習 センター	①開講挨拶・オリエンテーション ②講演「災害ボランティアセンターの機能と役割」 ③災害ボランティアセンター運営に向けて（設置訓練） ④演習説明 ⑤災害ボランティアセンター運営訓練（前半） ⑥災害ボランティアセンター運営訓練 後半に向けた申し送り ⑦災害ボランティアセンター運営訓練（後半） ⑧まとめ・質疑応答・閉講 開講挨拶：小倉南区社会福祉協議会会長 築別 邦博 (講師) 一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児

過去 5 年実績

年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
回数	1	4	2	1	1
延べ参加者数	15	173	144	52	52

ウ 北九州市総合防災訓練への参画

(ア) 説明会及び連絡会

実施日	会場	内容
H29. 7. 24	消防局訓練研修センター	平成 29 年度北九州市総合防災訓練連絡会設置に伴う事前説明会
H29. 8. 24		平成 29 年度北九州市総合防災訓練第 1 回連絡会
H29. 10. 17	A I Mビル	平成 29 年度北九州市総合防災訓練第 2 回連絡会
H29. 12. 8	消防局訓練研修センター	平成 29 年度北九州市総合防災訓練第 3 回連絡会
H30. 1. 11	(公社)福岡県トラック協会 北九州物資輸送センター	平成 29 年度北九州市総合防災訓練第 4 回連絡会

(イ) 北九州市総合防災訓練

実施日	人員・会場	内容
H30. 1. 20	ボランティア 31人 北九州市緊急 物資集配センター (西日本総合 展示場・新館)	平成 29 年度北九州市総合防災訓練 (1) 備蓄物資搬出訓練(福岡県トラック協会 北九 州緊急物資輸送センター) (2) 海上輸送連携訓練(浅野 1 号耐震強化岸壁)

エ 平成 29 年 7 月九州北部豪雨における取り組み

(ア) ボランティアバスの運行

実施日	人員	場所	内容
H29. 7. 22	21 人	朝倉市災害ボランティア センター杷木サテライト (福岡県朝倉市)	浸水による泥の撤 去、がれき等の撤 去、家屋内のかた づけ、家財道具の 搬出等
H29. 7. 23	25 人		
H29. 7. 29	29 人		
H29. 7. 30	27 人		
H29. 8. 5	30 人		
H29. 8. 6	悪天候のため中止		
H29. 8. 11	33 人		
H29. 8. 12	29 人		

### 3 在宅高齢者サービス事業

外出・移動手段の不便や困難を解決するシルバーひまわりサービス事業や、簡単な大工仕事や家電品の修理を中心とした自力では対応が困難な困りごとを解決する腕自慢おまかせサービス事業などボランティアによる在宅高齢者サービスを実施しています。

(1) シルバーひまわりサービス事業

事業開始後 20 年を経過し活動者の高齢化が進んでおり、運転ボランティアの確保が課題となっています。企業・団体への働きかけなど、新規活動者の掘り起こしに努めています。

ア ボランティア実働人員

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
労働組合員	11	18	22	11	17	11	19	14	23	12	18	13	189
行政職員	17	20	29	20	23	22	26	34	26	22	29	18	286
企業・市民	198	209	215	212	202	207	209	214	223	201	194	196	2,480
社協職員	7	3	5	12	8	6	7	6	5	9	3	9	80
合計	233	250	271	255	250	246	261	268	277	244	244	236	3,035

過去5年実績

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実働人員	2,791	3,227	3,164	3,069	3,035

イ ボランティア実働回数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
労働組合員	13	21	23	12	21	13	21	16	25	14	21	16	216
行政職員	20	21	35	25	30	26	33	40	36	29	37	26	358
企業・市民	584	577	628	548	584	578	596	589	614	536	523	613	6,970
社協職員	9	3	6	17	9	7	8	9	5	9	3	13	98
合計	626	622	692	602	644	624	658	654	680	588	584	668	7,642

過去5年実績

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実働回数	7,014	8,487	7,733	7,793	7,642

ウ 目的別利用件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通院・お見舞い	216	233	259	222	228	234	253	245	240	220	230	239	2,819
福祉施設入所及び利用	1	5	3	2	2	5	0	2	1	0	1	1	23
買物・食事	103	115	138	110	116	115	118	126	118	89	100	112	1,360
理髪・入浴	10	5	6	6	12	3	7	7	9	7	3	7	82
観光・公共施設利用	43	33	46	33	56	42	52	47	58	41	52	60	563
合計	373	391	452	373	414	399	430	427	426	357	386	419	4,847

過去5年実績

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
目的別利用件数	5,451	4,894	4,762	4,691	4,847

エ 利用述べ人数

年度	計	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	本部
H27	4,056	224	573	959	677	541	653	318	111
H28	4,108	299	499	983	719	535	695	302	76
H29	3,987	422	539	922	690	430	654	251	79

※本部では土・日（午前のみ）の送迎を担当

オ 連絡調整会議

実施日	人員・会場	内容
H29. 6. 7	5人 連合福岡・北九州地域協議会	・平成28年度実施状況について ・成果及び課題について

(2) 腕自慢おまかせサービス事業

この事業は、企業、個人等の協力により、市民のニーズに対応しています。今後、活動者を全市的に確保し、各区においてコーディネートする等、地域に密着した事業への発展を目指しています。

ア 活動内容別実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大工(棚製作等)	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
窓、戸等の修繕	0	1	3	2	0	2	0	1	1	0	0	0	10
家具の移動等	1	0	3	4	0	0	4	1	1	0	0	0	14
包丁、鋏とぎ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
除草、庭木剪定	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
清掃	0	11	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	14
電気系統修理	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
水道系統修理	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5
計	1	17	8	7	1	4	5	6	2	1	0	0	52

過去5年実績

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実施件数	83	66	70	48	52

4 地域福祉活動支援事業

市民が安心してボランティア活動ができるよう「ボランティア活動保険」への助成を年間を通じ行っています。地域福祉研修活動助成についても、ホームページを通して広く情報提供するとともに、研修参加費を助成することによって全国レベルでの研修会の参加機会を提供することができました。

また、ホームページ等を通じて助成金などの情報を広く提供しています。

(1) ボランティア活動保険加入掛金助成事業

取扱件数			加入者数	助成金額 (円)
団体加入		個人加入		
グループ数	人員	人員		
782	23,789	887	24,676	2,423,430

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
加入者数	22,926	22,380	22,722	24,556	24,676

(2) 地域福祉研修活動助成

1	研修名	ボランティア全国フォーラム 2017
	実施日・会場	平成 29 年 11 月 18 日 (土)・19 日 (日) 福山ニューキャッスルホテル
	参加者	応募なし
2	研修名	全国ボランティアコーディネーター研究集会 2018 信州
	実施日・会場	平成 30 年 3 月 3 日 (土)～3 月 4 日 (日) JA 長野県ビル・アクティーホール他
	参加者	応募なし

過去 5 年実績

区分		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
国内 研修	対象者数	3	1	2	1	0
	助成金額	125,000	50,000	100,000	50,000	0

5 介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援し、これにより自身の健康増進や生きがいづくりにつなげ、地域と施設等との交流を通して施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的として平成 25 年度から実施しています。

65 歳以上の北九州市民（介護保険第 1 号被保険者）が介護保険施設等においてボランティア活動を行った場合に、その活動実績をポイント化し、貯まったポイントは換金または北九州市地域福祉振興基金（ひまわり基金）に寄付することができます。

平成 30 年 3 月末現在のボランティア登録数は 1,913 人、受入施設数は 372 施設に及び、活動者の生きがいづくりに留まらず、新たなボランティアの掘り起こしにつながっています。また、ボランティア活動の内容も多岐にわたり延べ回数は 17,868 回に上っています。

(1) 受入施設登録状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

ア 登録施設 372 施設

イ 施設の種類の種類（併設を含む）

施設の種類の種類	施設数	施設の種類の種類	施設数
介護老人福祉施設	46	通所リハビリテーション	20
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	11	認知症対応型通所介護	21
介護老人保健施設	22	短期入所生活介護	39
介護療養型医療施設	2	看護小規模多機能型居宅介護	1
特定施設入居者生活介護	36	地域密着型通所介護	18
認知症対応型共同生活介護	75	北九州市予防給付型通所サービス	14
小規模多機能型居宅介護	35	北九州市生活支援型通所サービス	6
通所介護	173	合計	519

## (2) ボランティア登録状況(平成30年3月31日現在) (人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	合計
男	58	110	134	67	23	392
女	309	504	438	205	65	1,521
合計	367	614	572	272	88	1,913

## (3) ボランティア活動者・受入施設の登録数

年 月	ボランティア活動者			受入施設		
	新規登録	退会	変更	新規登録	退会	変更
H29. 4	4	2	0	16	0	3
H29. 5	43	4	3	12	0	75
H29. 6	22	7	5	6	1	5
H29. 7	19	1	2	3	0	0
H29. 8	13	3	0	5	0	0
H29. 9	10	1	9	2	0	0
H29.10	8	2	0	2	0	2
H29.11	15	1	0	1	0	1
H29.12	3	3	1	0	0	2
H30. 1	52	20	20	3	3	3
H30. 2	23	16	8	1	0	4
H30. 3	6	14	5	0	0	0
合計	218	74	53	51	4	95

## (4) 換金・寄付申請状況(対象者:平成29年12月31日現在の登録ボランティア)

	換金	寄付 (ひまわり基金)	換金・寄付 (ひまわり基金)	合計
人数	590	174	50	814
金額	2,023,600	371,200	換金 158,400 寄付 59,200	2,612,400

※ボランティア活動実施者数(1回以上の活動者数) 834人(平成29年1～12月)  
 ボランティア活動延活動回数 19,288回(平成29年1～12月)



(5) 内容別ボランティア活動状況（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

活動の種類	延べ回数
①レクリエーション（趣味活動）等の補助	4,770 回
②芸能等の披露	2,404 回
③話し相手	2,094 回
④行事の手伝い	589 回
⑤食事介助の補助（お茶出し・配膳・下膳等）	978 回
⑥掃除・衣類整理の補助	2,225 回
⑦散歩・館内移動・送迎の補助	203 回
⑧その他施設職員と共に行う補助的な活動	4,605 回
合計	17,868 回

6 市民ふれあいフェスティバル事業

全市的なボランティアの集いのイベントとして、各区社協との共催のもと、実行委員会形式によりテーマを決定し、委員の企画・進行により開催しています。

前年度に引き続き「がんばろう九州！あなたとわたしのやさしい絆」をテーマとし、日頃のボランティア・市民活動を紹介・支援する「パネル展示」「活動紹介」「活動支援バザー」等の催しの他、ボランティア週間では「古切手等の収集」「フードドライブ」に取り組み、誰もが参加できるボランティア活動として紹介しました。

開催当日は台風の影響により屋外での「福祉車両展示」はやむなく中止しましたが、42 団体のボランティアグループ・市民活動団体・企業・学校が出展し、延 3,321 名の方にご来場いただきました。

(1) 実行委員会

実施日	人員・会場	内容
H29. 6. 1	17 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正・副委員長の選任について</li> <li>・実行委員会の取り組みについて</li> <li>・平成 29 年度の開催要項（案）について</li> </ul>
H29. 7. 21	18 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマについて</li> <li>・イベント等の経過報告について</li> <li>・役割分担について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
H29. 10. 6	16 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等の経過報告について</li> <li>・役割分担について</li> </ul>
H29. 11. 28	13 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告について</li> <li>・次年度の検討課題について</li> </ul>

(2) 催事内容

実施日	人員・会場	内容
H29. 10. 22	3,321人 ウェルとばた および周辺	1 ボランティア・市民活動を紹介・支援するイベント ・活動紹介、パネル展示、活動支援バザー、ステージでのボランティアグループ・市民活動団体による演舞等の発表会 2 福祉のこころを育むイベント ・福祉車両体験、福祉疑似体験、赤い羽根共同募金、運営ボランティア向け福祉教育 3 「ボランティア週間」(10月17日～10月22日)のイベント ①パネル展示 ②みんなで歩こう北九州 in とばた 2017 ③おもちゃの修理 ④車椅子寄贈式(10月20日) ⑤古切手・書き損じはがきの収集および切手の縁取りカット体験 ⑥食品を集める運動「フードドライブ」 4 スタンプラリー

(3) 過年度の実施内容及び推移

年度	内容	場所	参加人数
H25年度	・全体会、分科会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,773
H26年度	・全体会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,648
H27年度	・全体会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,955
H28年度	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー、ボランティア週間・被災地支援イベント	戸畑	4,702
H29年度	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験コーナー、ボランティア週間	戸畑	3,321

7 ボランティア育成・啓発事業

市民に、ボランティア活動をはじめのきっかけを提供し、またより深い理解をしてもらうため、さまざまな啓発資料を作成するとともに、出前講演にも取り組んでいます。併せて、北九州市社協だよりを活用し「企業の社会貢献活動」の紹介を行っています。

また、ボランティアコーディネーター間の情報交換や共有、スキルアップ等のため、ボランティアコーディネーター連絡会議を実施しています。

(1) 啓発資料の作成

発行時期	資料名	発行部数
H29. 9	ボランティアというカタチ	1,500部
H30. 2	2016 ボランティアグループ等実態調査	1,000部
H30. 3	ボランティアグループ名簿 2017 年度	500部

## (2) 出前講演

実施回数	人員
19回	703人

## 8 ボランティア活動支援

市民や施設等からのボランティア相談を来所または電話で相談を受け付け、双方のニーズに見合うボランティアコーディネートを行っています。市社協ボランティアセンターでは、土曜日と日曜日午前の開所も行い、平日の来所が難しい人へも対応しています。

### (1) ボランティア活動に関する相談件数

項目	活動依頼		活動者依頼		活動先紹介		講座等紹介		他機関・制度紹介		資料提供		会議室・機材貸出		保険		保険請求	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	32	22	14	31	14	9	10	2	6	3	10	5	167	79	337	251	12	16
	54		45		23		12		9		15		246		588		28	

項目	送迎申込		コーディネート 送迎相談		腕自慢		収集・ リサイクル		養成講座 体験学習・		ボランティア 介護支援		その他		合計	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	3	123	0	304	1	65	40	6	82	207	60	488	29	80	817	1,691
	126		304		66		46		289		548		109		2,508	

### (2) ボランティアコーディネーション

項目	外出支援	行事支援	文化・伝承 演劇等活動	施設活動	腕自慢	送迎	託児	その他	合計
件数	4	22	3	14	34	94	0	58	229
人員	7	97	9	27	35	187	0	79	441

## ◇社会福祉ボランティア大学校事業

研修課では、「北九州市地域福祉計画」や「北九州市地域福祉活動第五次計画～住民ふくしの元気プラン～」を効果的に推進させるため、民生委員児童委員協議会や社会福祉施設等と連携しながら、高齢者、生活困窮者、認知症のある人、引きこもり等の課題を抱えた人たちを支援するために、地域コミュニティに福祉の視点で取り組む人材の養成・育成を目指し、研修の充実を図りました。

今年度より拡大し、重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、各校(地)地区主導の基に地域の人材発掘や地域の課題発見、解決を進めていき、地域住民による「地域単位での生活支援力」を高めていきました。

昨年度に引き続き、重点的に取り組んだ「社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」では、法人の社会貢献担当者等に社会福祉法人が地域の一員として貢献活動することの意義・重要性等を学ぶ中で、法人制度改革に対応した熱意・決意を感じさせる研修を実施することができました。

さらに、今年度より「企業の社会貢献活動セミナー」を単独で開催し、地域の一員としての企業のあり方や必要性を示すために、実際に取り組む実践報告やグループワークを基に企業の社会貢献活動に対する意識向上に務めました。

また、頻発する自然災害により、市民の防災に対する関心が高まるなか実施した「災害ボランティア・フォローアップ研修」では、平成29年7月九州北部豪雨の際に設置した朝倉市災害ボランティアセンター等の組織についての講義やボランティアセンターの各班の役割について学ぶことで災害時に備えた体制づくりを視野に、研修を実施しました。

研修全般では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、ボランティア活動の推進や地域福祉の向上に務めながら、関係機関・団体との連携のもと、延べ2,900人に対し研修を実施することができました。

### 1 研修体系の区分別研修実施状況一覧

#### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	5	5	163	5～7
ふくしのまちづくり講座	校区住民	11 ※12校(地区)	3～4	34	1,045	7～3
計		12	—	39	1,208	—

## (2) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の人材育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新任者	新任福祉協力員等研修	新任福祉協力員等	8	1	8	407	6~8
現任者	現任福祉協力員研修	現任福祉協力員等	7	1	7	357	9~12
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社会福祉協議会の実務者	1	1	1	118	12
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社会福祉協議会役員	1	1	1	175	2
	校(地)区社会福祉協議会新任役員研修	校(地)区社会福祉協議会新任役員	1	1	1	79	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社会福祉協議会・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	3	3	49	9~11
計			19	—	21	1,185	—

## (3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体で運転協力者を希望する者	3	2	6	61	6~3
	傾聴ボランティア養成講座	市民	1	2	2	70	8
	私にもできる災害ボランティア入門講座	市民	1	1	1	33	8
活動者	送迎ボランティア・フォローアップ研修(実技)	送迎ボランティア	1	1	1	19	10
	送迎ボランティア・フォローアップ研修(座学)	送迎ボランティア	2	1	2	58	9~10
	傾聴ボランティア・フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	38	5
	災害ボランティア・フォローアップ研修	災害ボランティア入門講座受講者等	1	1	1	26	9
リーダー	ボランティア・リーダー研修	リーダー次期リーダー	2	1	2	35	10
計			12	—	16	340	—

## (4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業の社会貢献活動セミナー	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	25	3
社会福祉法人の社会貢献活動セミナー	社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	44	3
計		2	—	2	69	—

## (5) ボランティア・市民活動支援者の育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
実務者 ボランティア・コーディネーター研修	施設・団体等でボランティアコーディネーションに関わる職員	1	1	1	32	6

## (6) その他（福岡県との共同事業） ※臨時開催

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
災害ボランティア講座	市民	1	1	1	66	8

## 2 資料作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『北九州市社協だより』掲載)	172,000部	平成29年5月1日・8月1日 11月1日・平成30年1月15日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500部	平成29年6月1日
平成28年度事業報告書	H P 掲載	平成29年6月1日

### 3 過年度の参加者推移

#### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
H25 年度	8	26	1,097
H26 年度	8	26	1,078
H27 年度	8	26	998
H28 年度	8	26	886
H29 年度	12	39	1,208

#### (2) 小地域福祉活動者 (地縁型ボランティア) の人材育成

年度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
H25 年度	27	31	1,729
H26 年度	19	23	1,754
H27 年度	19	23	1,953
H28 年度	19	23	1,217
H29 年度	19	21	1,185

#### (3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
H25 年度	10	17	352
H26 年度	9	14	305
H27 年度	9	14	306
H28 年度	9	14	263
H29 年度	12	16	340

#### (4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

年度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
H25 年度	4	4	134
H26 年度	1	1	18
H27 年度	1	1	30
H28 年度	1	1	102
H29 年度	2	2	69

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
H25 年度	2	3	92
H26 年度	1	2	47
H27 年度	1	1	32
H28 年度	1	2	38
H29 年度	1	1	32

(6) その他

年度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
H25 年度	0	0	0
H26 年度	0	0	0
H27 年度	1	1	731
H28 年度	0	0	0
H29 年度	1	1	66

(7) 延べ研修参加人数

年度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
H25 年度	51	81	3,404
H26 年度	38	66	3,202
H27 年度	39	66	4,050
H28 年度	38	66	2,506
H29 年度	47	80	2,900



# ◇北九州シニアネットワークアカデミー事業

## 1 周望学舎事業

周望学舎は「宿泊のできる年長者の研修施設」という要望に応えて、高齢者の生きがい対策と生涯学習という二つの性格を併せ持つ、元気な高齢者を対象とした施設として、全国に先駆けて昭和54年8月に設置されました。

発足当初は、老人クラブ指導者養成から趣味活動支援としての実技指導、さらに高齢者の生きがいづくりを主とした研修内容としていましたが、近年は地域活動・地域貢献をめざす活動者の育成にも力を注いでいます。

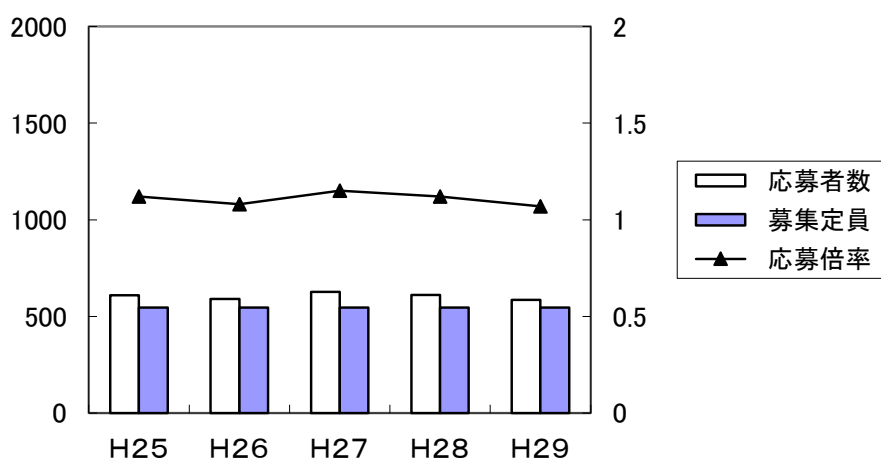
平成29年度の研修では、新しく、全コースのカフェ・オレンジへの訪問や認知症サポーター養成講座等の研修を通じて、認知症に関する知識を深め、身近な居場所づくりの重要性について学びました。

また、コーディネーターを配置し、ボランティア活動のコーディネートを周望学舎でも行うことで、地域活動情報支援センターの機能強化に努めました。

### (1) 応募状況の推移

【応募者数・応募倍率等の推移】

年間コース		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
新人	男	63	40	43	45	41
	女	74	66	68	60	50
経験者	男	215	216	222	221	216
	女	257	268	294	285	278
合計		611	590	627	611	585
定員		546	546	546	546	546
応募倍率		1.12	1.08	1.15	1.12	1.07



## (2) 研修生等(利用者)の推移

### ア 全体的な傾向

年間コース利用者については、研修内容の充実などにより延べ18,861人となりました。また、研究クラブは研修室の空き等を有効に活用し、実技コースでの学びをさらに充実させています。

分類		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
年間コース	コース数	16	15	15	15	15
	研修生数(延べ)	20,941	18,805	19,194	19,352	18,861
研究クラブ	グループ数	3	2	4	4	4
	利用者数(延べ)	2,437	1,421	2,317	2,555	2,319
同好会	グループ数	5	6	5	5	6
	利用者数(延べ)	1,133	1,558	1,670	1,233	1,555

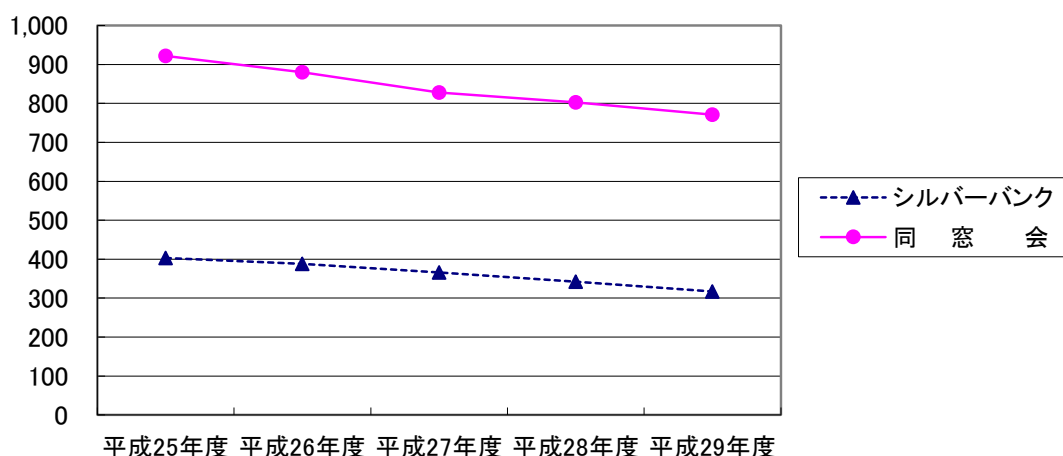
施設年間利用状況	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
利用者数(延べ)	35,067	32,106	33,380	33,367	31,976

### イ 修了生組織の活動状況

周望学舎修了生の組織として、開校の翌年に結成されたボランティア団体「周望学舎シルバーバンク」と平成4年4月に組織された「周望学舎同窓会」があります。

シルバーバンク及び同窓会は、会員の高齢化が進んでいるものの、高齢者の技術等を活かして地域活動や異世代との交流など多彩な活動を続けています。

会員数	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
シルバーバンク	403	388	366	342	317
同窓会	922	880	828	803	771



## (3) 平成29年度研修実施状況

コース名		修了者数	利用者数(延べ)			研修回数			
			男	女	合計	日帰	宿泊	合計	
年間コース	一般	地域ふれあい	31	334	772	1,106	38	2	40
		心と身体の健康	29	484	621	1,105	38	2	40
		健康づくりサポーター	40	707	671	1,378	38	2	40
		国際情報	38	399	1,038	1,437	38	2	40
		アジアを学ぶ	41	729	798	1,527	38	2	40
		ふるさとと文化	42	704	785	1,489	37	2	39
		生活情報	42	738	771	1,509	38	2	40
		歴史に学ぶ	39	538	874	1,412	38	2	40
		暮らしと環境	33	506	757	1,263	38	2	40
		健康管理	42	773	746	1,519	38	2	40
	体力増進	40	748	696	1,444	38	2	40	
	実技	花と野菜づくり	28	403	558	961	38	2	40
		写真入門	26	687	263	950	38	2	40
		陶芸	22	373	420	793	38	2	40
書道入門		26	393	575	968	38	2	40	
小計		519	8,516	10,345	18,861	569	30	599	
委員会・諸会議			346	175	521	21	0	21	
短期講座	パソコン	ワード初級		0	128	128	12	0	12
		ワード中級		18	99	117	6	0	6
		ワード演習		40	81	121	10	0	10
		エクセル初級		72	155	227	12	0	12
		エクセル中級		34	70	104	6	0	6
		パソコンを使いこなそう～ウィンドウズ10～		47	70	117	10	0	10
		インターネット入門①		47	60	107	8	0	8
		インターネット入門②		16	74	90	8	0	8
		メール入門		23	27	50	8	0	8
		ブログ入門		33	44	77	6	0	6
		年賀状		23	51	74	6	0	6
		パソコンで写真加工		85	88	173	8	0	8
		L I N E 入門		45	27	72	4	0	4
	インスタグラム入門		43	36	79	4	0	4	
	小計			526	1,010	1,536	108	0	108
	その他	英会話		30	42	72	6	0	6
		陶芸体験		3	20	23	3	0	3
		年長者と孫の集い		11	24	35	0	1	1
		一日体験講座		4	12	16	1	0	1
小計			48	98	146	10	1	11	
カレッジ	西南女学院		125	293	418	10	0	10	
	東筑紫		75	268	343	10	0	10	
	北九州市立①		27	51	78	5	0	5	
	北九州市立②		14	43	57	5	0	5	
小計			241	655	896	30	0	30	
研究クラブ	写真研究		284	278	562	23	0	23	
	社交ダンス研究		95	378	473	24	0	24	
	書道研究		284	295	579	39	0	39	
	陶芸研究		394	311	705	41	0	41	
小計			1,057	1,262	2,319	127	0	127	

コース名		利用者数（延べ）			研修回数		
		男	女	合計	日帰	宿泊	合計
同 好 会	卓球	185	113	298	27	0	27
	詩吟	97	147	244	17	0	17
	風船バレー	177	162	339	27	0	27
	社交ダンス	24	64	88	15	0	15
	英会話	232	151	383	31	0	31
	バドミントン	121	82	203	22	0	22
小計		836	719	1,555	139	0	139
ボ ラ ン テ ィ ア	シルバーク	1,029	1,846	2,875	363	0	363
	登園芸	348	509	857	39	0	39
	健康	291	202	493	67	0	67
	パソコン	229	97	326	111	0	111
	グリーンボランティア	88	34	122	19	0	19
	小計（登録V○分）	956	842	1,798	236	0	236
同窓会（夢工房含む）		481	632	1,113	222	0	222
穴生学舎		4	7	11	1	0	1
そ の 他 の 利 用	視察・見学	22	38	60	1	0	1
	研修	42	53	95	3	0	3
	実習生	8	47	55	3	0	3
	ボランティア	27	12	39	15	0	15
	その他	75	21	96	15	0	15
小計		174	171	345	37	0	37
総合計		14,214	17,762	31,976	1,863	31	1,894

(4) 周望学舎年間行事等

ア 入学記念講演会

実施日	人員・会場	内容
H29. 4. 7	497人 北九州芸術劇場	記念講演 「学んだことを活かすということ」 放送大学副学長 宮本 みち子

イ スポーツ大会

実施日	人員・会場	内容
H29. 6. 23	512人 総合体育館	入場行進・競技 「仲良しリレー」、「大玉おくり」、「炭坑節」等・閉会式

ウ 大学祭

実施日	人員・会場	内容
H29. 9. 30 ～ H29. 10. 1	研修生延べ 1,374人 一般来場者 73人 周望学舎	開会式・学習成果を生かした展示、体験コーナー、シナプソロジー、研修生による演芸大会、ウォークラリー、シャフルボード大会、バグゴ大会、出店等・閉会式

エ 修学旅行

実施日	人員	内容
H29. 11. 21 ～ H29. 12. 1	研修生延べ 367人 熊本・阿蘇	3便に分かれ1泊2日で実施 水前寺公園散策、熊本城、城彩苑、田原坂西南戦争資料館等

オ 修了記念作品展（実技コース・研究クラブ）

実施日	人員・会場	内容
H30. 2. 7 ～ H30. 2. 13	603人 北九州芸術劇場 市民ギャラリー	陶芸、書道、写真 学習成果発表 合計 140点展示

カ 周望学舎・穴生学舎合同作品展

実施日	人員・会場	内容
H30. 2. 15 ～ H30. 2. 21	76人 ウェルとばた 交流プラザ	周望学舎の写真入門コース・写真研究クラブ、 穴生学舎写真入門コースの作品 合計 99点展示

キ 年長者と孫のつどい

実施日	人員・会場	内容
H29. 8. 3 ～ H29. 8. 4	35人 周望学舎	南小倉児童館児童も参加し、周望学舎シルバークラブによる折り紙、お手玉、竹細工等の昔遊びを通じた異世代交流やニュースポーツ体験等 青少年ボランティアステーションの協力により高校生ボランティアも3人参加

ク シニアカレッジ（大学活用型校外授業）

実施日	人員・会場	内容
H29. 7. 21 ～ H29. 9. 29	49人 西南女学院大	「心の健康～機嫌よく生きるには～」、「歌の力・音楽力～懐かしいうたを歌いながら～」、「私のデジタルライフ：テクノロジーを楽しもう！」等、計10回（延べ418人）
H29. 9. 6 ～ H29. 11. 15	40人 東筑紫学園	「頭皮を健やかにして「脳疲労」解消」、「リセット&プラス～体の中をリセットしてキレイをプラスする～」、「元気に長生きするために」等、計10回（延べ343人）
① H29. 5. 27 ～ H29. 6. 24 ② H29. 10. 14 ～ H29. 11. 18	33人 北九州市立大	「健康セルフチェック」、「脳トレ」、「レクリエーション」等、計10回（延べ135人）

ケ 一日体験入学

実施日	人員・会場	内容
H30. 1. 19	16人 周望学舎	学舎案内および館内見学 講義「ニュースにみる日本の明日」、「正しく歩いて健康に 美しく歩いて心ゆたかに～姿勢と歩き～」

コ 大学との交流事業

実施日	人員・会場	内容
H29. 6. 15	40人 北九州市立大	学生との交流 フォークダンス、卓球等

サ 視察・見学

実施日	人員	団体名
H29. 5. 23	60人	北九州市立南小倉小学校3年生

シ 実習生受け入れ

実施日	人員	団体名
H29. 10. 17 H29. 10. 24	45人	西日本看護専門学校

(5) 資料

資料名	発行部数	発行日
香梅(平成29年度年間コース修了記念アルバム)	490部	平成30年2月6日

(6) 広報

資料名	発行部数	発行回数
研修生の手作り学舎新聞およびかわら版	2,000部	新聞：1回/年
	1,800部	かわら版：3回/年
学舎案内	800部	1回/年

(7) コース委員長会議 (15コース)

実施日	人員・会場	内容
H29. 4. 26	委員26人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副代表選出について</li> <li>・自家用車通学と交通安全ボランティアについて</li> <li>・宿泊研修について</li> <li>・施設賠償責任保険契約及び傷害保険について</li> <li>・平成29年度周望学舎年間コース地域・ボランティア活動予定について</li> <li>・周望学舎三大大行事日程について</li> </ul>

H29. 9. 11	委員23人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車マナーについて</li> <li>・平成 27 年度修了生に関する地域活動・ボランティア活動についてのアンケート結果について</li> <li>・周望学舎運営協力ボランティアグループについて</li> <li>・連絡事項 (1) 大学祭 (2) 修学旅行 (3) 後期授業料納付について (4) 自衛消防訓練について (5) 修了式の日程及び会場</li> </ul>
H30. 1. 25	委員25人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了式について</li> <li>・平成 30 年度研修生募集について</li> <li>・修了記念作品展・合同作品展について</li> <li>・年間コース終了アルバム「香梅」について</li> <li>・年間コース終了アンケート・利用者アンケートについて</li> <li>・短期講座のインターネット申込の開始について</li> </ul>

(8) 各種会議（三大大行事等）（会場：周望学舎）

会議名	人員(延べ)	回数
大学祭実行委員会	研修生・研究クラブ生160人	5回
スポーツ大会実行委員会	研修生 104 人	4回
修学旅行実行委員会	研修生 97 人	4回
新聞編集委員会	研修生 65 人	3回
作品展実行委員会	研修・クラブ生 21 人	2回

(9) バスの運行

研修生送迎の他、全コースの校外授業においてスクールバスを活用し中型バスでの運行は 1, 203 回、1, 410 時間の運行を行いました。

(10) 周望学舎同窓会

ア 会員数 771 人

イ 支部活動

支部名				
門司支部	小倉北支部	小倉南支部	戸畑・若松支部	八幡支部
136 人	219 人	278 人	72 人	66 人
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員相互の親睦(総会、一泊旅行・日帰りバスハイク・新春初詣)</li> <li>・売店活動(支部活動)</li> <li>・支部総会(懇親会)</li> <li>・健康づくり(歩こう会・ボーリング、グラウンドゴルフ大会)</li> <li>・ボランティア活動・同窓会新聞の発行 等</li> </ul>				

ウ 記念講演会

実施日	人員・会場	内容
H29. 4. 22	130 人 ウエルとばた	テーマ「リンパ流して、いきいき健康」 日本メディケアリンパ協会 理事長 丸尾 陽実

エ 広報紙

	発行部数	発行回数
周望同窓会新聞「ふれあい」	800 部／回	2 回／年

(1 1) 周望学舎シルバーク

ア 会員数 17 サークル  
 預託会員 166 人  
 賛助会員 151 人

イ 支部  
 門司支部  
 小倉北支部  
 小倉南支部  
 若戸支部  
 八幡支部



ウ サークル活動

	サークル名	会員数	主な活動の内容	主な活動場所と活動日
伝承グループ	創作折り紙	25	福祉施設、児童館、小学校等での伝承活動及び折り紙研究	周望学舎、福祉施設 折り紙A(研修日 毎月第2・4水曜日) 折り紙B(研修日 毎月第1・3水曜日)
	お手玉	8	お手玉の作り方、遊び方の伝承	福祉施設等 (研修日 毎月第1・3水曜日)
	竹の会	21	竹細工、竹トンボ、竹笛水鉄砲等作り方・遊び方の伝承	市民センター、小学校イベント会場等 (研修日 隔週水曜日)
	読み聞かせ	6	福祉施設等で本の読み聞かせ・紙芝居等	子育てふれあい交流プラザ (毎週木曜日)その他施設等
	昔遊び	10	コマ回し、皿回し等の昔遊びを伝承する	市民センター、小学校イベント会場等(不定期)
友愛グループ	椿会	1	福祉施設での生け花の指導・洗濯物の整理等	シルバーサンホーム (第2・4水曜日午後)
	マジック	1	福祉施設訪問マジック披露	福祉施設、イベント会場 (不定期)
	ハーモニカ	14	福祉施設訪問・ハーモニカ演奏	福祉施設、イベント会場 (研修日 第1・3木曜日)
	遊書会	12	福祉施設に於いて習字指導	北九州シティホーム (毎月第3木曜日)
	シルバーサービス	1	在宅高齢者宅での簡易修理、草刈	各地域(不定期)
	すみれ会	6	福祉施設訪問フラダンス実演	イベント会場、施設等 (研修日 毎週月曜日)
	周和会	10	福祉施設訪問日本舞踊実演	イベント会場、施設等 (研修日 毎週金曜日)
	子育て支援	11	昔遊び伝承託児スタッフ	市民センター、イベント会場等(不定期)
	ひまわりの会	19	福祉施設での介護・雑事支援	福祉施設等
その他	バラの会	15	趣味の手芸で相互の親睦(作品はイベントに提供)	周望学舎(第2・4金曜日)
	収集	22	主にプルタブ及び古紙の収集活動	周望学舎
	編集	9	会報紙(バンクだより)の編集、発行(年1回)	周望学舎、イベント会場(不定期)

※各サークル重複在籍者あり。

エ サークル活動・活動人員

(ア) 友愛・ふれあい活動	延べ	1,634 人
(イ) 調査研究活動	延べ	252 人
(ウ) ボランティア養成研修	延べ	1,602 人
(エ) 伝承活動	延べ	272 人
(オ) その他の活動	延べ	2 人

オ 預託会員研修

実施日	会場	内容
H30. 3. 16	周望学舎 ひびきLNG基地	「北九州の水産業」 ニシラク乳業（株）工場見学

カ 広報

資料名	発行部数	発行回数
会報紙「シルバーバンクだより」	1,084 部	1 回／年

(12) 研究クラブ、同好会活動

ア 会員数	研究クラブ	4 クラブ	92 人
	同好会	6 サークル	89 人

イ 研究クラブ・同好会活動

区分	グループ名	活動の内容	活動場所	活動日
研究クラブ	写真	実技コースで学んだ技術を更にレベルアップする活動	周望学舎	隔週火曜日
	書道			隔週月曜日
	陶芸			隔週木曜日
	花と野菜作り			隔週水曜日
同好会	周望卓球同好会	卓球	周望学舎	概ね毎週金曜日
	周望詩吟同好会	詩吟		第1,3水曜日
	風船バレー同好会	ふうせんバレー		概ね毎週水曜日
	社交ダンス周望会	社交ダンス		概ね毎週木曜日
	英会話同好会	英会話		概ね毎週月曜日
	バドミントン同好会	バドミントン		概ね毎週火曜日

## 2 穴生学舎・穴生ドーム事業

穴生学舎は、高齢者の生きがい対策の一環として増大かつ多様化する高齢者のニーズに応えるため、「周望学舎」に続き平成6年9月に新たな福祉と生涯学習の拠点として設置されました。

穴生学舎では、人口の高齢化に伴い急増する高齢者の「いきがい・健康・ふれあい」づくりと地域活動の推進役としての力量を高めるため、地域ふれあいコースでは、災害ボランティア講座を実施するなど健康や福祉にかかわる幅広い学習や研修・事業を提供しました。

地域活動情報支援センターでは、学舎で学んだ成果が地域社会で活かせるよう、社会参加する機会やボランティアグループを対象とした助成金の情報等様々な情報を提供すると共に、OB会や研究クラブ等の自主活動を支援して社会における役割意識の高揚に努めました。

また、当学舎に併設されている穴生ドームは、健康志向の高い高齢者をはじめ一般市民にニュースポーツの出前講座や健康ウォーキング事業などのさまざまな自主事業を実施し、市民の健康・体力づくりの支援に努めました。

### [穴生学舎]

#### (1) 応募状況の推移

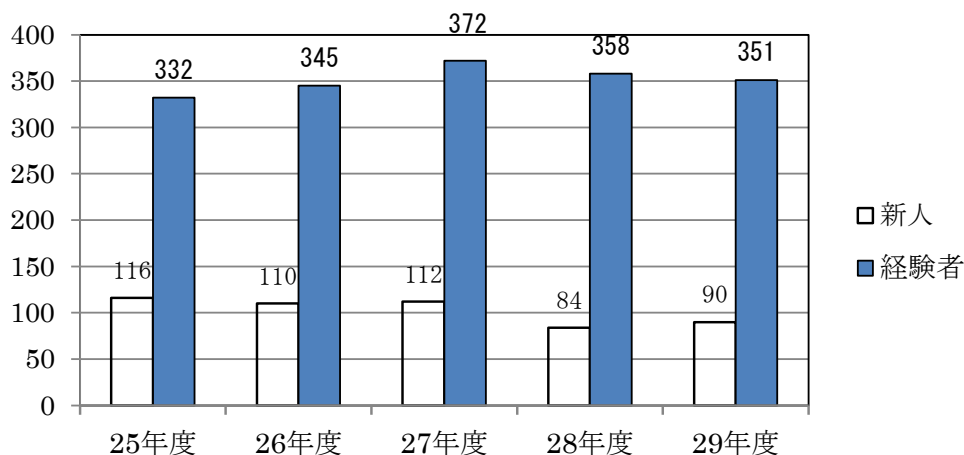
##### 【応募状況の推移】

区分		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
新人	男	52	46	55	35	30
	女	64	64	57	49	60
	計	116	110	112	84	90
経験者	男	169	160	164	177	174
	女	203	185	208	181	177
	計	372	345	372	358	351
合計		488	455	484	442	441

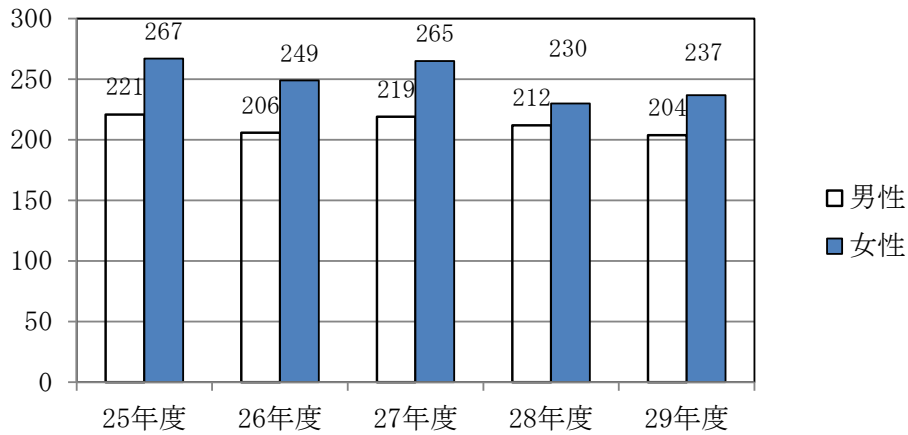
※平成21年度から市社協が第2期「指定管理者」となり管理運営を受託。

※平成26年度から市社協と里山を考える会の共同事業体が第3期「指定管理者」となり管理運営を受託。穴生学舎については、市社協が管理運営を担当。

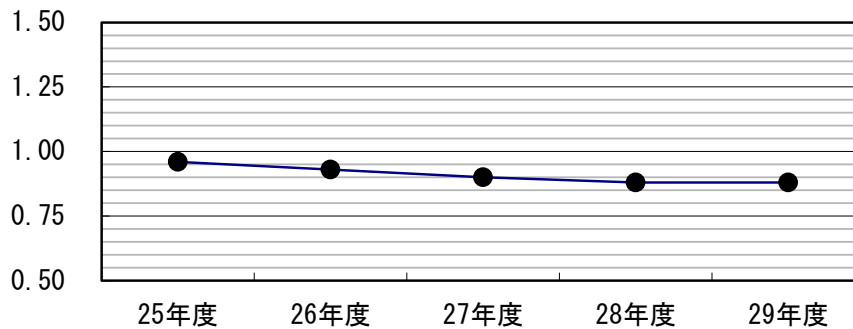
##### 【新人と経験者の推移】



【男女の推移】



【応募倍率の推移】

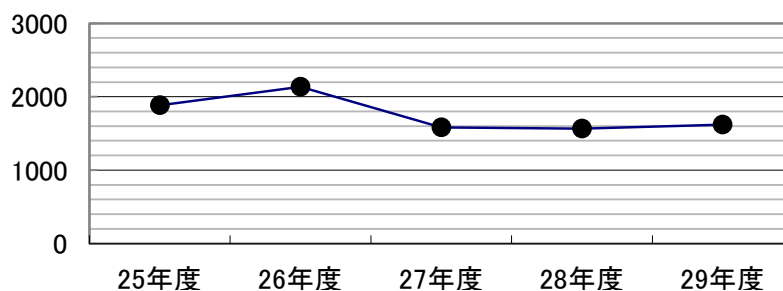


(2) 研修生の推移 (年間コース・研究クラブ・同好会)

分類		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
年間 コース	コース数	16	15	15	15	15
	研修生数(延べ)	14,947	15,344	14,984	15,381	15,321
研究 クラブ	グループ数	6	5	6	7	7
	利用者数(延べ)	2,025	1,548	1,767	2,529	2,653
同好会	グループ数	2	1	0	0	0
	利用者数(延べ)	1,223	822	0	0	0

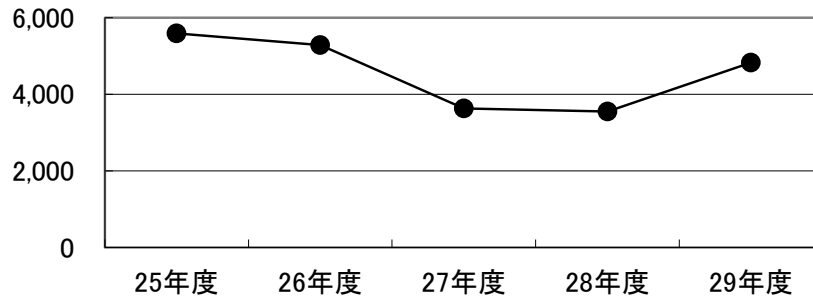
(3) 高齢者支援事業 (ふれあいいきいきサロン) 参加者の推移

穴生学舎クッキングボランティアの会による、一人暮らし等の高齢者に対して健康に良い食事の提供、健康チェック、ふれあい交流を実施しました。



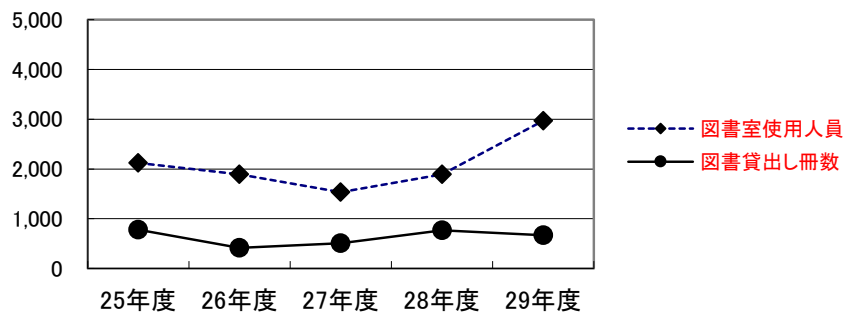
(4) 地域・世代間交流・子育て支援事業参加者の推移

ボランティアグループ・コース研修生による、近隣の幼稚園児や小学校児童との昔遊びの伝承、ニュースポーツ、レクリエーションを通じた交流事業を実施しました。

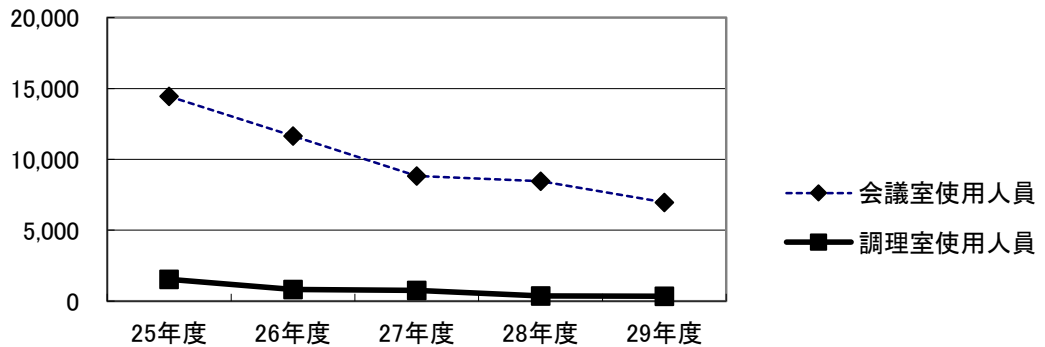


(5) 穴生学舎地域開放事業

【図書室使用人数の推移】



【会議室等使用の推移】



## (6) 研修実施状況

コース名	在籍数	利用者数(延べ)			研修回数				
		男	女	計	宿泊	日帰り	計		
年間コース	地域ふれあい	12	148	289	437	1	40	41	
	健康づくりサポーター	31	733	404	1,137	1	40	41	
	心と身体健康	29	339	675	1,014	1	40	41	
	歴史に学ぶ	34	634	651	1,285	1	40	41	
	アジアを学ぶ	26	531	450	981	1	40	41	
	文化伝承	29	441	566	1,007	1	40	41	
	国際情報	29	773	342	1,115	1	40	41	
	健康管理	36	578	769	1,347	1	40	41	
	生活情報	34	435	802	1,237	1	40	41	
	健康スポーツ	32	602	613	1,215	1	40	41	
	郷土のなりたち	35	656	611	1,267	1	40	41	
	実用書道	22	402	425	827	1	40	41	
	絵画入門	26	533	458	991	1	40	41	
	英会話	22	411	392	803	1	40	41	
	写真入門	18	445	213	658	1	40	41	
小計	415	7,661	7,660	15,321	15	600	615		
短期講座	パソコン系講座	91	318	376	694	0	60	60	
	自主講座	45	41	31	72	0	4	4	
	公開講座	70	43	27	70	0	1	1	
	一日体験講座	29	10	19	29	0	2	2	
	シニアサマーカレッジ	57	276	233	509	0	10	10	
	シニアカレッジ	52	285	140	425	0	10	10	
	小計	344	973	826	1,799	0	87	87	
研究クラブ	書道	15	32	321	353	0	33	33	
	写真	写楽会	14	206	52	258	0	20	20
		彩撮会	26	319	156	475	0	22	22
	絵画	絵画 28	17	146	225	371	0	32	32
		絵描会	12	156	195	351	0	31	31
	英会話	英研 28 会	17	157	307	464	0	42	42
		英研 27	10	178	157	335	0	43	43
小計	103	1,283	1,370	2,653	0	245	245		
ボランティア活動	-	-	-	4,705	0	597	597		
その他の活動 (会議室の利用等)	-	-	-	10,256	0	392	392		
合計	862	9,917	9,856	34,734	15	1,921	1,936		

(7) 年間行事等

ア 入学式記念講演会

実施日	人員・会場	内容
H29. 4. 7	284 人 北九州芸術劇場	テーマ：「学んだことを活かすということ」 講師：放送大学 副学長 宮本 みち子

イ 第 24 回ふれあいスポーツ大会

実施日	人員・会場	内容
H29. 6. 17	679 人 穴生ドーム	パン食い競走、大玉転がし、玉入れ等の紅白チーム対抗戦 他

ウ 第 23 回穴生学舎大学祭&ドームフェスタ

実施日	人員・会場	内容
H29. 10. 14 ～ H29. 10. 15	6,358 人 穴生学舎 穴生ドーム	平成 19 年度から大学祭とドームフェスタを同時開催。 学舎研修生による学習成果発表と地域・世代間交流を目的に、幼児から高齢者までが楽しめる各種ふれあい催事コーナーを実施。

エ 修学旅行

実施日	人員	内容
H29. 11. 9 ～ H29. 11. 17	研修生 268 人	3 便に分かれ 1 泊 2 日で実施 大分県日田市天瀬町他 (明礬湯の里、海の駅べっふ海鮮市場、かまど地獄、湯布院散策、天ヶ瀬温泉、道の駅滋恩の滝くす、いいちこ日田蒸留所、道の駅やまくに、羅漢寺 等)

オ 公開講座

実施日	人員・会場	内容
H30. 2. 3	70 人 穴生学舎	テーマ：湖北の雄・井伊一族興亡史 講師：史学博士 廣崎 篤夫

カ ロビーコンサート

実施日	人員	内容
H29. 4. 27	60 人	ピアノと歌の演奏
H29. 8. 23	43 人	ハンドベルボランティア瑠璃色の会による演奏
H29. 11. 22	60 人	ハーモニカ演奏
H30. 2. 8	73 人	二胡の演奏

キ 修了記念作品展

実施日	人員・会場	内容
H30. 2. 5 ～ H30. 2. 11	418 人 黒崎市民ギャラリー	実用書道・絵画入門・写真入門コースの 学習成果の発表 出点数 計 150 点

ク 周望学舎・穴生学舎合同作品展

実施日	人員・会場	内容
H30. 2. 15 ～ H30. 2. 21	76 人 ウエルとばた 交流プラザ	周望学舎の写真入門コース・写真研究クラブ、 穴生学舎写真入門コースの学習成果の発表 出点数 計 99 点

ケ 高齢者支援事業

実施回数	人員・会場	内容
22 回	延べ 1,620 人 穴生学舎	ボランティアによる地域の一人暮らし高齢者との ふれあい交流活動「ふれあいいいききサロン」 の実施 ・サロン実施回数 : 22 回 (月 2 回実施) ・サロン参加者 : 延べ 1,066 人 ・運営、協力ボランティア : 延べ 554 人

コ 地域、世代間交流・子育て支援事業

会場	人員	内容
穴生学舎及び 穴生ドーム	4,824 人	・文化伝承ボランティアによるこじか幼稚園児、萩 原小学校児童、子どもの館利用者への昔遊びの指導 10 人 ・クッキングボランティアとの穴生児童館児童との ふれあい交流 79 人 ・文化伝承コース研修生による昔遊びやレクリエー ションを通じての世代間交流 24 人 緑ヶ丘第二幼稚園児等 28 人 ・ドームフェスタ及び大学祭における文化伝承ボラ ンティアや研修生による昔遊び、ゲーム、キッズコ ーナーの実施 ドームフェスタ 2,235 人 大学祭 (研修コース催事) 2,448 人



サ 校外授業「シニアサマーカレッジ・シニアカレッジ」

実施回数	会場	入学者数	参加人員(延べ)	内容
10回	九州共立大学	57人	509人	・有酸素運動でメタボ撃退 ～有酸素運動の理論と実際～ ・校外学習「歴史が息づく千年のまち周防防府」等
10回	九州国際大学	52人	425人	・北九州からみた「アジア共同体」の可能性 ・世界を制した日本のアニメ～観光資源としてのアニメは日本を救うか?～

シ 一日体験講座

実施日	人員・会場	内容
H29. 11. 25	17人 穴生学舎	①テーマ：人の一生と心理学 講師：北九州市立大学 名誉教授 中島 俊介 ②テーマ：若松の明治以降の近代化と活躍した人々 講師：旧古河鉱業若松ビル 館長 若宮 幸一
H30. 1. 20	12人 穴生学舎	①テーマ：後藤又兵衛と細川忠興 講師：元行橋市歴史資料館 館長 山中 英彦 ②テーマ：メリ・ハリ・ツッコミ 講談を喰ろう 講師：金印亭 恵紅

ス 視察・見学

実施日	人員	団体名
H29. 10. 18	104人	山口県光市民生委員児童委員協議会
H29. 12. 6	40人	福岡市南区東花畑校区社会福祉協議会

セ 広報紙の発行

名称	発行部数(1回)	発行回数
穴生学舎新聞	2,000部	・A4版8ページ1回発行
穴生学舎新聞	2,000部	・A4版4ページ2回発行

ソ 資料の発行

資料名	発行部数	発行日
学舎案内	700部	平成29年4月7日
入学案内	6,500部	平成30年1月15日
薫風(穴生学舎修了記念文集)	460部	平成30年2月12日

タ 地域開放事業

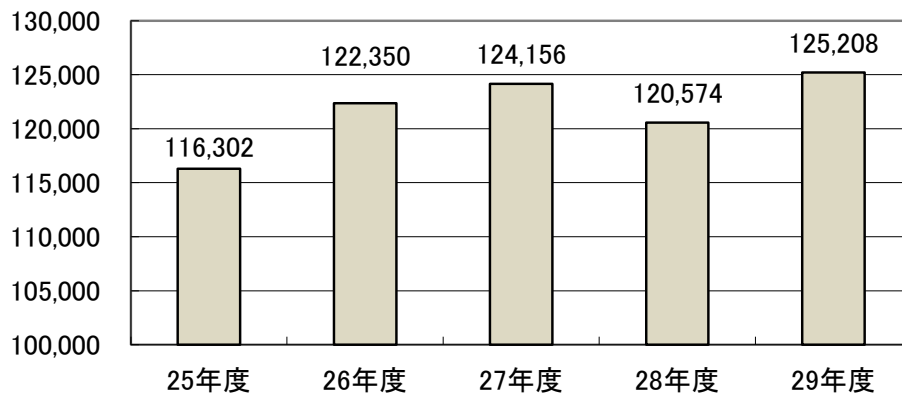
部屋名等	使用回数	使用人員	備考
図書の貸し出し	開館日数 173日 貸出冊数 671冊	貸出人数 521人 図書館利用者 2,970人	・研修生及び一般市民
大会議室	46回	2,248人	・各種委員会 ・八幡西区老人クラブ連合会 ・北九州市グラウンドゴルフ協会 等
A B会議室	72回	2,338人	・ふれあいいいききサロン ・VO・クラブ連絡会議 等
研修室	32回	1,878人	・大学祭学習成果発表準備 ・八幡西区役所保健福祉課 等
調理室	11回	344人	・クッキングボランティア ・周望学舎の年間コース
和室	3回	30人	・クッキングボランティア ・相談援助実習
ボランティアルーム 交流サロン	43回	476人	・夢追塾同窓会 等
その他	14回	245人	・読み語りの会 ・朗読の会
計	394回	10,529人	

チ 各種会議

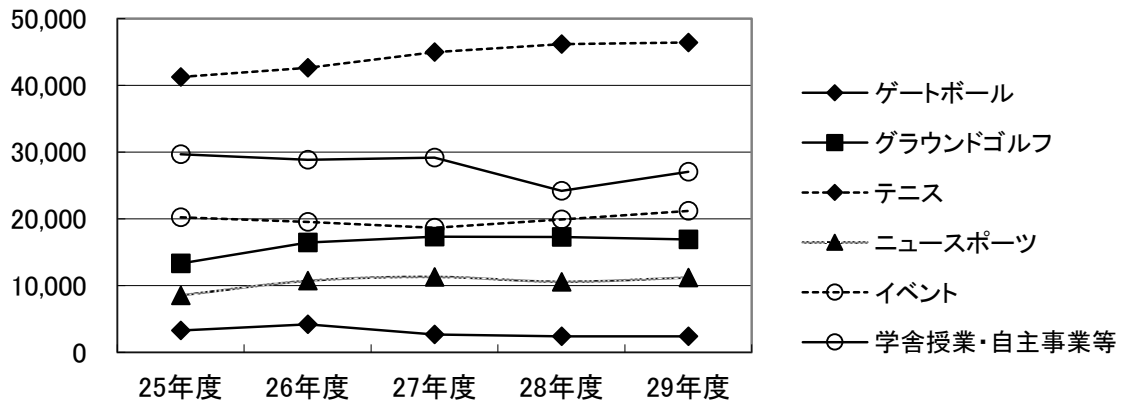
会議名	回数	人員(延べ)	備考
コース委員長会議	3回	70人	—
スポーツ大会実行委員会	5回	122人	—
大学祭実行委員会	5回	131人	—
修学旅行実行委員会	5回	114人	—
新聞編集委員会	7回	100人	—
ボランティア・研究クラブ 連絡会議	4回	91人	行事に関する事務連絡
ボランティアグループ連絡 協議会	2回	41人	ボランティアグループ相互の 意見交換
研究クラブ連絡会議	1回	8人	研究クラブ相互の意見交換

[穴生ドーム]

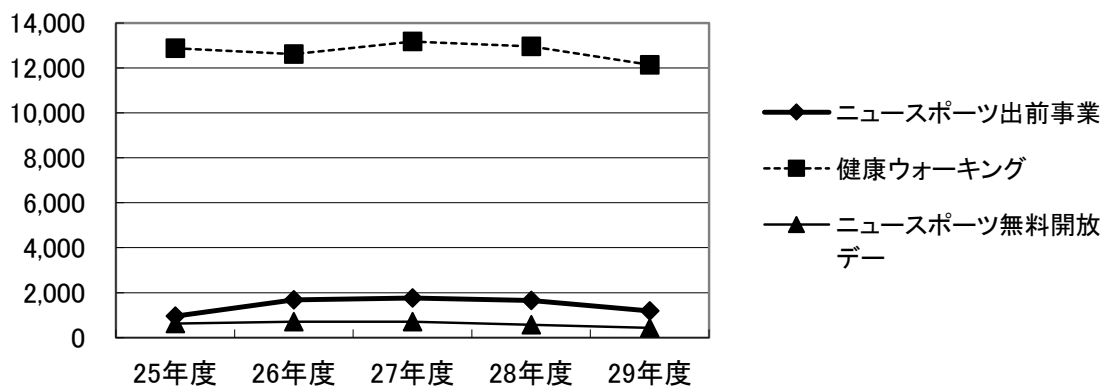
(1) 穴生ドーム年間利用者の推移



(2) 穴生ドーム目的別利用者の推移



(3) 穴生ドーム自主事業参加者の推移



## (4) 穴生ドーム利用状況

区分		年間利用人員(人)	1日平均(人)	比率(%)
早朝利用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	3,534	10	32.1
	テニス	5,908	17	53.6
	ニュースポーツ	1,571	4	14.3
個人利用	ゲートボール	14	0	0.1
	グラウンドゴルフ	1,241	4	6.6
	テニス	17,563	50	93.2
	ニュースポーツ	28	0	0.1
専用利用	ゲートボール	2,374	7	3.5
	グラウンドゴルフ	12,158	34	17.8
	テニス	22,948	65	33.6
	ニュースポーツ	9,612	27	14.1
	イベント	21,186	60	31.0
周望・穴生学舎体育授業		3,306	9	2.6
昼休利用		0	0	0.0
自主事業		10,983	31	8.8
屋外コート		641	2	0.5
ウォーキング		12,141	34	9.7
合計		125,208	355	100.0
開館日数		353		

## \*種目別利用者人員

項目	年間利用人員(人)	一日平均(人)	比率(%)
ゲートボール	2,388	6.8	1.9
グラウンドゴルフ	16,933	48.0	13.5
テニス	46,419	131.5	37.1
ニュースポーツ	11,211	31.8	9.0
イベント	21,186	60.0	16.9
屋外・体育授業・その他	27,071	76.7	21.6

(5) 穴生ドームテニス教室（初級）

回数	人員	内容
10	309 人	ラケットに慣れる、ボールのバウンドに慣れる、フットワークを覚える、打点の位置を覚える等

(6) 穴生ドームテニス教室（中級）

回数	人員	内容
6	192 人	ゲームの流れ、マナーについて、ゲームの動き、ダブルスで試合を行う

(7) 穴生ドーム高齢者の健康づくり事業

ア 穴生ドーム主催イベント及び大会

回数	人員	内容
4	8,013 人	穴生ドーム杯グラウンドゴルフ交歓大会、テニス交歓大会、穴生ドームフェスタ、ビーチボール交歓大会

イ ニューススポーツの振興に伴う高齢者のスポーツ大会

回数	人員	内容
2	396 人	第 32・33 回クラブ間交流スポーツ大会

ウ 郊外ウォーキング

回数	人員	内容
1	17 人	二島駅からグリーンパークまでをウォーキング

エ ニューススポーツ出前体験

回数	人員	内容
56	1,191 人	出前講演方式によりニューススポーツを体験していただき、健康づくりを勧める。

オ 健康ウォーキング

回数	人員	内容
335	12,141 人	ドームの 2 階通路を無料開放し、安全かつ自分のペースで気軽に取り組める運動であるウォーキングを行う機会を提供。生活習慣病の予防に取り組んでいただく。

カ ニューススポーツ無料開放デー

回数	人員	内容
12	436 人	ドームを無料開放し、市民の方々に気軽に身体を動かせる機会を提供し、ニューススポーツの体験を通じて、健康・体力づくりや多世代間交流・仲間づくりに取り組む。

### 3 地域活動情報支援センター

#### (1) ボランティアグループ活動報告

	周望				穴生			
	活動者数 (延べ)	男	女	活動回数	活動者数 (延べ)	男	女	活動回数
4月	179	97	82	22	497	126	371	130
5月	175	96	79	26	525	136	389	139
6月	196	109	87	26	525	136	389	154
7月	152	75	77	22	618	196	422	162
8月	131	76	55	22	451	142	309	127
9月	179	90	89	19	592	192	400	156
10月	180	89	91	24	650	192	458	154
11月	201	111	90	25	560	196	364	147
12月	164	78	86	20	603	184	419	148
1月	142	78	64	20	454	121	333	120
2月	240	136	104	26	526	157	369	145
3月	40	25	15	2	328	111	217	104
年間合計	1,979	1,060	919	254	6,329	1,889	4,440	1,686

#### (2) 地域活動情報支援センター コーディネート状況

コーディネート内容	件数		備考
	周望	穴生	
ボランティア活動体験受け入れ先に関すること	17	0	北九州シティホーム、シルバーサンホーム、パレス三萩野等
関係機関との相談・依頼	6	3	市ボランティア・市民活動センター、各区ボランティア・市民活動センター
外部施設・団体からのボランティア相談	4	1	市民センター、学童保育クラブ、まちづくり協議会、子どもの館
ボランティアグループへの活動依頼	8	20	市内高齢者施設、病院等
ボランティアグループからの活動相談	13	9	助成金、体験教室、会員募集
ボランティアグループ以外からの依頼	1	29	クラブのボランティア活動の日程調整等
研修生・修了生・OB会からの相談	25	14	グループ入会、活動先の相談
一般の方からの相談	0	4	ボランティアグループの相談、見学

ボランティア活動や打ち合わせに同行	5	10	ボランティア活動体験、ボランティア活動への同行・引率・当日調整・現状把握
その他	4	19	研修コース講義、コーディネーター会議出席、クラブ・ボランティア合同会議
合計件数	83	109	

(3) 年間行事等

ア シニアと孫の夏休み in 穴生学舎

実施日	人員・会場	内容
H29. 8. 8	13組・28人 穴生学舎	クッキング（昼食作り）、ニュースポーツ

イ 楽しいマジック入門講座

実施回数	会場	受講者数	参加人員 (延べ)	内容
3回	穴生学舎	17人	44人	・皿回し ・ロープマジック 等

ウ 穴生学舎ボランティアグループふれあい交流会

実施日	人員・会場	内容
H29. 11. 17	65人 穴生学舎	①講演 テーマ：ぴんぴんコロリとあなたの未来 講師：権藤クリニック 院長 権頭 聖 ②懇親会

## ◇常設委員会

1 生活福祉資金調査委員会：申請 0 件のため開催なし

### 2 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会

実施日	人員・会場	内容
H29. 12. 21	9 人 ウェルとばた	1 委員長の選任について 2 平成 28 年度事業報告 3 平成 30 年度事業計画（案）

### 3 ボランティア・市民活動センター運営委員会

実施日	人員・会場	内容
H29. 5. 26	17 人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員紹介</li> <li>・正副委員長の選任について</li> <li>・平成 29 年度運営委員会の取り組みについて</li> <li>・平成 28 年度ボランティア・市民活動センター事業報告について</li> <li>・平成 29 年度地域福祉活動支援事業について</li> <li>・その他（事務局からの情報提供）</li> </ul> 2016 夏ボランティア体験学習の報告と今年度の現況について
H30. 1. 5	15 人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度地域福祉活動支援事業について</li> <li>・当センターにおける今年度の主要事業について</li> <li>・平成 30 年度ボランティア・市民活動センター事業計画(案)について</li> <li>・その他（委員からの情報提供）</li> </ul> 北九州NPO研究交流会 第 159 回定例会について ケアニン(映画自主上映会)のお知らせ

### 4 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会

実施日	人員・会場	内容
H29. 8. 29	18 人 周望学舎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 北九州シニアネットワークアカデミーについて</li> <li>2 年長者研修大学校等の現況</li> <li>3 平成 29 年度の取組み状況</li> <li>4 次期指定管理に向けて</li> <li>5 その他</li> </ol>
H30. 2. 8	16 人 戸畑生涯学習センター	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 30 年度の取り組みについて</li> <li>2 指定管理者の応募について</li> <li>3 平成 30 年度年長者研修大学校研修生募集案内について</li> <li>4 その他</li> </ol>



## 5 総合企画委員会

回	実施日	人員・会場	内容
第1回	H29. 7. 13	15人 ウエルとばた	1 正副委員長の選任について 2 平成29年度総合企画委員会の取り組みについて 3 北九州市地域福祉活動第五次計画に基づく平成28年度(初年度)事業の点検・評価について
第2回	H30. 2. 27	13人 ウエルとばた	1 北九州市地域福祉活動第五次計画に基づく平成30年度(3年次)の取り組み(案)について

## 6 権利擁護・市民後見センター 運用委員会

実施日	人員・会場	内容
H29. 4. 19	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副委員長の選任について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業の契約状況について</li> <li>・法人後見事業の受任状況について</li> <li>・今後の日程について</li> <li>・「運用委員会」及び「監視委員会」について</li> </ul>
H29. 5. 17	4人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度の事業実施状況について</li> <li>・運用委員会の拡充・監視委員会の廃止について</li> <li>・会計監査、事業監査について</li> </ul>
H29. 6. 21	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用委員会の拡充・監視委員会の廃止について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> </ul>
H29. 7. 19	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 会計監査について</li> <li>・監視委員会と運用委員会の機能統合について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> </ul>
H29. 9. 20	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人支援事業について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> </ul>
H29. 10. 4	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中津市社会福祉協議会 先進地研修の受け入れについて</li> <li>・法人後見事業受任検討について 1人</li> </ul>
H29. 12. 6	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県運営適正化委員会運営監視小委員会現地調査報告について</li> <li>・法人後見事業受任検討について 1人</li> <li>・法人後見事業辞任検討について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> </ul>

H29. 12. 20	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人支援事業 家庭裁判所との協議の進捗状況について</li> <li>・法人後見事業受任状況及び地域福祉権利擁護事業契約状況について</li> </ul>
H30. 2. 21	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人支援事業 家庭裁判所との協議の進捗状況について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> </ul>
H30. 3. 19	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度事業計画について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> </ul>
計 10 回		法人後見受任審査人数 2人 内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者 2人（後見 2人、保佐 0人、補助 0人）</li> <li>・知的障害者 0人（後見 0人、保佐 0人、補助 0人）</li> <li>・精神障害者 0人（後見 0人、保佐 0人、補助 0人）</li> </ul>

## 7 表彰審査委員会

実施日	人員・会場	内容
H29. 8. 18	5人 ウエルとばた	1 平成 29 年度北九州市社会福祉大会記念式典について 2 被表彰候補者の審査・答申について

## 8 北九州市福祉人材バンク運営委員会

実施日	人員・会場	内容
H29. 6. 27	7人 ウエルとばた	1 平成 28 年度事業報告 2 平成 29 年度事業計画

